LP-800S

取扱説明書

4010436-01

安全にお使いいただくために

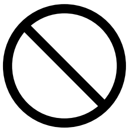
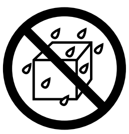
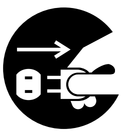
本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。

本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠ 警告　**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

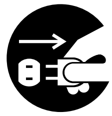
⚠ 注意　**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

	**この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。**
	**この記号は、分解禁止を示しています。**
	**この記号は、濡れた手で製品に触ることの禁止を示しています。**
	**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
	**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**

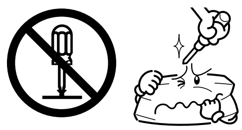
安全上のご注意

⚠警告

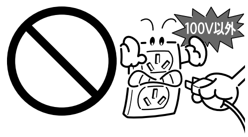
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



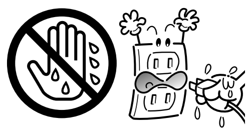
（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。



表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



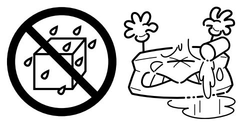
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



通風口など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。



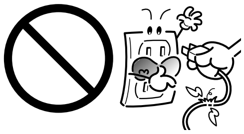
⚠警告

破損した電源コードを使用しないでください。

感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

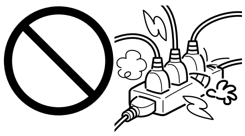
- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら､販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。

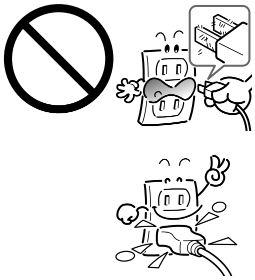
発熱し火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。



電源プラグの取り扱いには注意してください。

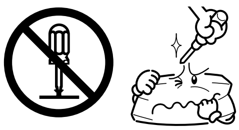
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



取扱説明書で指示されている以外の分解は行わないでください。

安全装置が損傷し、レーザー光漏れ･定着器の異常加熱･高圧部での感電などの事故のおそれがあります。



⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



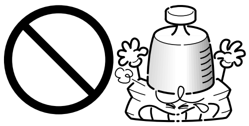
不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。



本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをする危険があります。

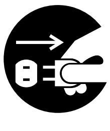


本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
次のような場所には設置しないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から20cm以上のすき間をあけてください。



連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

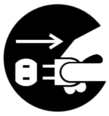


各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。



⚠注意

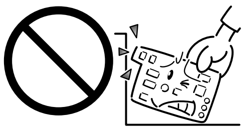
本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。



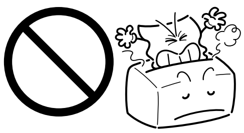
他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。



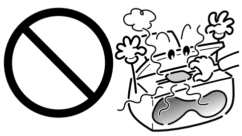
オプション類を装着するときは、表裏や前後をまちがえないでください。
まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



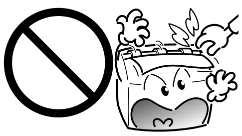
紙詰まりの状態で放置しないでください。
定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。



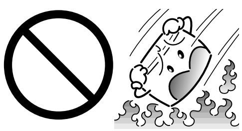
使用中に、プリンタカバーを開けたときは定着器部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。



電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。



使用済みの ET カートリッジを、火の中に入れないでください。
トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。使用済みの ET カートリッジは回収しておりますのでご協力をお願いします。



本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows95/98/NT4.0 をお使いの方のみお読みください。 Win

Macintosh をお使いの方のみお読みください。 Mac

もくじ

付録

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。

それぞれのマークにはつぎのような意味があります。

注 意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。**

ポイント	**お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。**

用語[*1]　用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0 と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT4.0」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

第1章

本機の紹介

LP-800S

Introduction

本機の特長、各部の名称と働きについて説明しています。

本機の特長

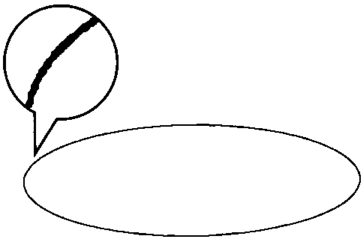
本プリンタは双方向通信が可能なコンピュータに接続して使用してください。以下のページを参照して必要な接続ケーブルを別途ご用意ください。
☞「コンピュータとの接続」14 ページ

本プリンタは以下の特長を備えています。

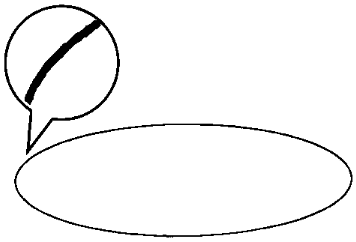
●高品位な印刷

EPSON独自のRIT*1（Resolution Improvement Technology）機能により、ギザギザの少ない美しい印刷結果が得られます。RIT機能をオンにした場合とオフにした場合の拡大図は次のイラストのようになります。

*1 RIT：走査線方向の解像度を2400DPI、紙送り方向を600DPIの超高精度でコントロールし、1200DPI相当の高解像度印刷を実現するEPSON独自の機能



RIT オフ



RIT オン

●階調性豊かな表現

EPSON独自のPGI*2（Photo and Graphics Improvement）機能により、写真やグラデーションなど、無段階に階調が変化する画像を、より階調性豊かに表現できます（Windows用プリンタドライバおよびMacintosh用プリンタドライバ使用時）。解像度を600DPI（きれい）に設定することでさらに美しい出力結果が得られます。

*2 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能

ただし、PGI機能を使用して600DPI（きれい）で出力するには、扱うデータによってはメモリの増設が必要です。



300DPI, PGI 無効
（ハーフトーン処理を有効）



600DPI, PGI 有効

●地球環境に配慮した低オゾン設計

オゾンの発生が非常に少なく抑えられているため、地球環境の保全に貢献します。また、作業環境を快適に保つことができます。

●トナーカートリッジ(ETカートリッジ)と感光体ユニットの分割化

トナーカートリッジと感光体ユニットを分割しました。これにより、消耗品を無駄なく最後までお使いいただけます。

●EPSONバーコードフォント(Windows)に対応

必要な文字のみを入力するだけで、簡単に各種バーコードを作成・印刷できるEPSONバーコードフォントに対応しています。

●さらに機能が充実したプリンタドライバ(Windows)

拡大／縮小、割り付け印刷はもちろんのこと、節電機能の設定やトナー残量のカウンタリセットなどもプリンタドライバ上から実行できます。

●トナーセーブモードの採用

試し印刷などの印字品質を問わない出力に使用すると、トナー消費量を従来に比べ大幅に削減することができます。

●国際エネルギースタープログラムに対応した省電力設計

節電機能を使用すると、印刷終了後一定時間内に節電状態（消費電力15W以下）になり、消費電力を節約できます。

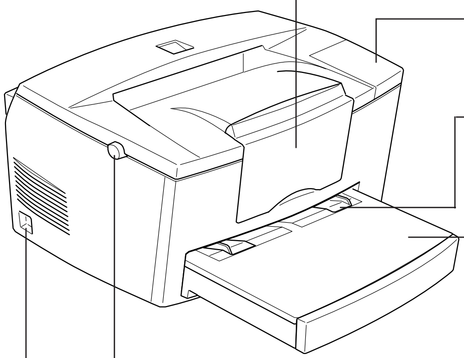
ご購入時の本機は、印刷終了後30分で節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。

●インターフェイス自動切り替え機能

2台のコンピュータをプリンタに同時に接続できます。データを受信したインターフェイスをプリンタが自動的に判断して、使用するインターフェイスを切り替えます。

各部の名称と働き

前面



排紙用延長トレイ
排出された用紙を保持します。
印刷する際に開いて使用します。

パネルランプ
プリンタの状態を表示します。

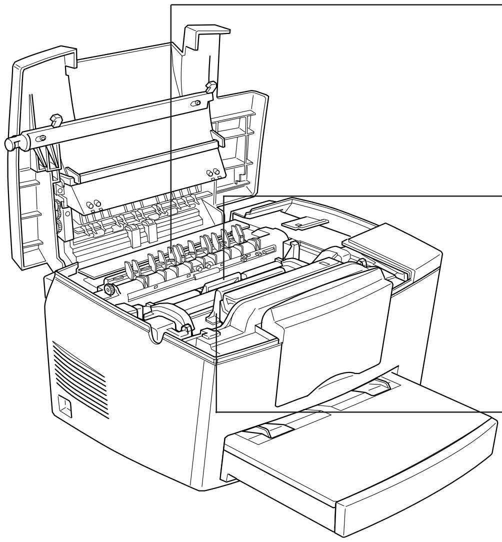
手差しガイド
用紙トレイカバーから給紙する場合に、セットした用紙に合わせます。

用紙トレイ
標準の給紙装置です。A4、B5などの定型用紙だけでなく、官製ハガキやOHPシートなどの特殊用紙、あるいは不定型用紙に印刷するときもここから給紙します。

ラッチ
トナー交換などで上カバーを開けるときに、ここを押します。

電源スイッチ

内部



定着器
用紙にトナーを固着させる装置です。

高温になりますので絶対に手を触れないでください。火傷の原因になります。

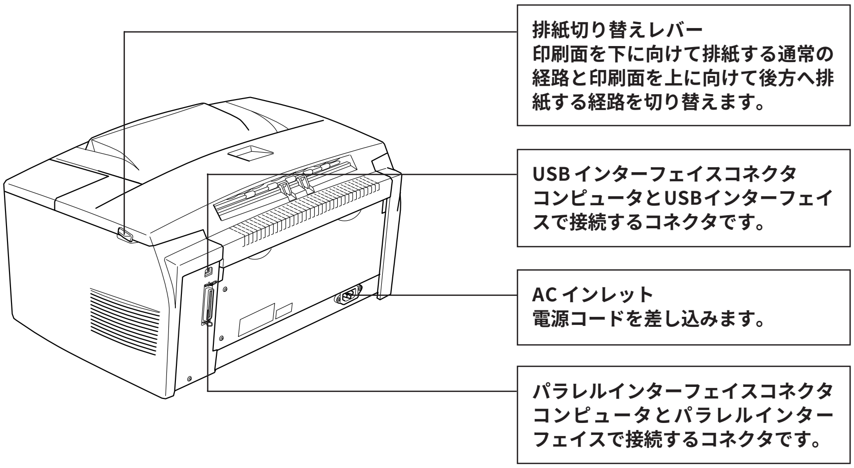
感光体ユニット
ドラムの感光部分（緑色の部分）にトナーを付着させ、印刷情報を形成する装置です。

印刷品質が低下しますのでドラム部分には手を触れないでください。

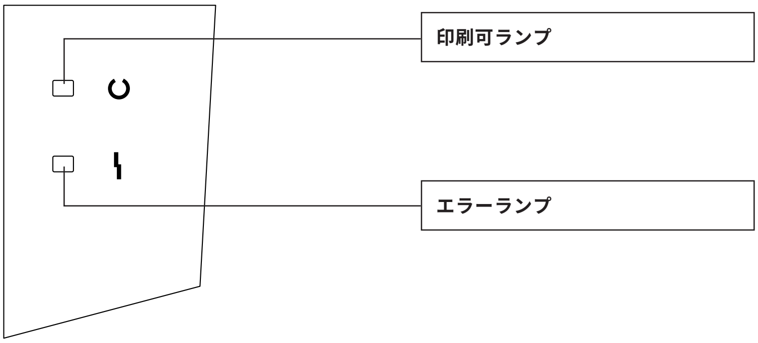
ET カートリッジ
印刷用トナーの入ったカートリッジです。

印刷品質が低下しますので、内部ローラ部分には手を触れないでください。

背面



パネルランプ



印刷可ランプ（緑）	エラーランプ（赤）	プリンタの状態
消灯	消灯	電源オフ
点灯	消灯	印刷可能
点滅	消灯	ウォームアップまたはデータ受信中
消灯	点滅	復帰可能なエラー（用紙なしなど、エラー状態を解除して正常な状態に復帰させることができます。）
消灯	点灯	サービスコールエラー（電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。正常な状態に復帰できない場合は、エプソンフィールドセンターまで連絡ください。）

第2章

プリンタの準備

LP-800S

Setting up your printer

同梱品を取り付け、プリンタを使える状態にします。

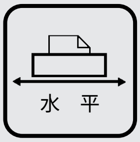
プリンタの設置

設置上のご注意

注意

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

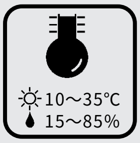
水平で安定した場所



風通しの良い場所



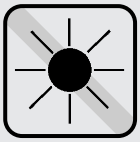
次の気温と湿度の場所



注意

本プリンタは精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

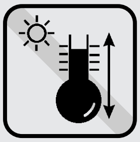
直射日光の当たる場所



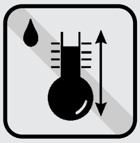
ほこりや塵の多い場所



温度変化の激しい場所



湿度変化の激しい場所



火気のある場所



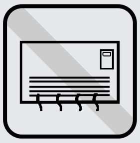
水に濡れやすい場所



揮発性物質のある場所



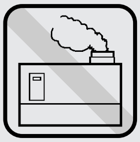
冷暖房機具に近い場所



震動のある場所



加湿器に近い場所



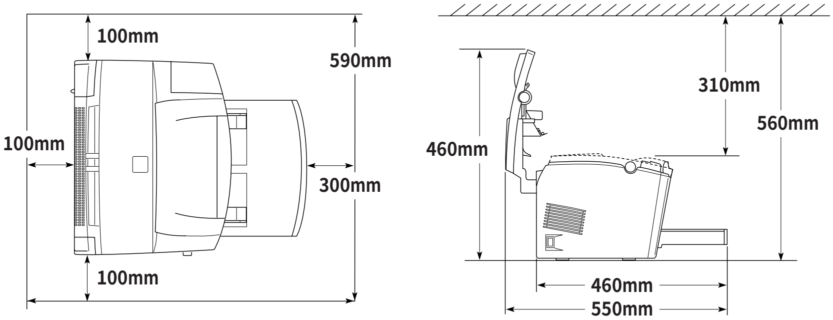
注意

- **テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。**
- **静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。**

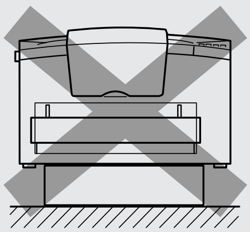


設置スペース

用紙やETカートリッジが交換しやすいよう、下図のスペースを確保してください。



本機を「プリンタ底面より小さい台」の上には設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上に、プリンタ底面の脚が確実に載るように設置してください。



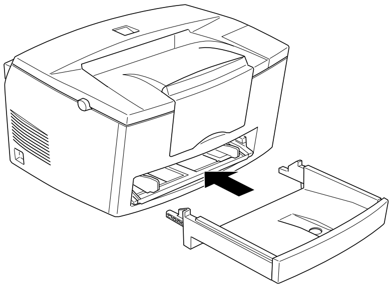
用紙トレイへの用紙のセット

ここでは、標準装備の用紙トレイへの用紙のセット方法を説明します。手差しガイドへの用紙のセット方法は、以下のページを参照してください。
☞「手差しガイドへの用紙のセット」48 ページ

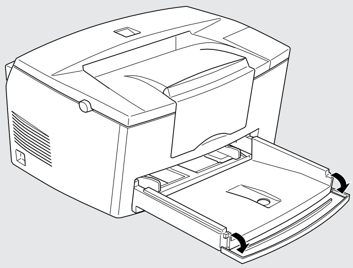
また、オプションのロアーカセットへのセット方法は、ロアーカセットの取扱説明書を参照してください。

> ポイント
> **印刷できる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。**
> **☞「用紙について」43 ページ**

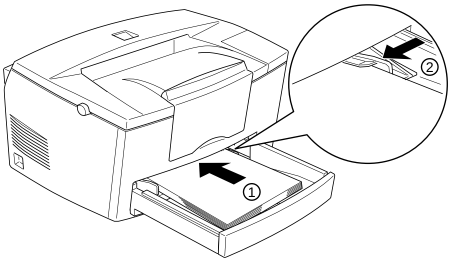
1 **用紙トレイをプリンタにセットします。**
確実に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



> ポイント
> **A4を超えるサイズの用紙（Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、F4）をセットする場合は手前のカバーを開けてください。**

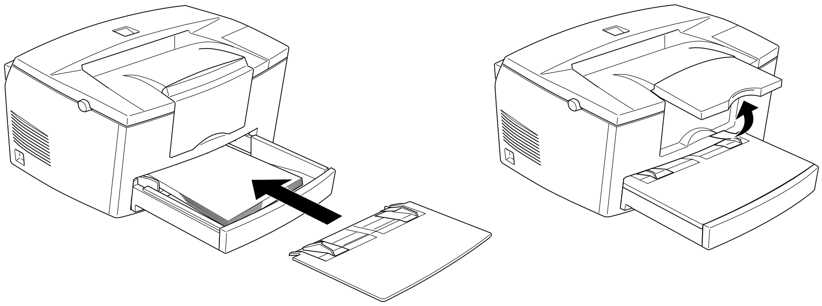


2 **用紙を縦方向にセットして、用紙ガイドを合わせます。**
用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。



ポイント
用紙ガイドには、用紙の枚数の目安となるシールが貼ってあります。シールの目盛りの上限を超えないように用紙をセットしてください。最大 150 枚（普通紙 75g/m²）セットできます。

3 **用紙トレイカバーを取り付け、排紙延長トレイを開きます。**
排紙延長トレイはカチッと音がするまで持ち上げて、確実に固定させてください。

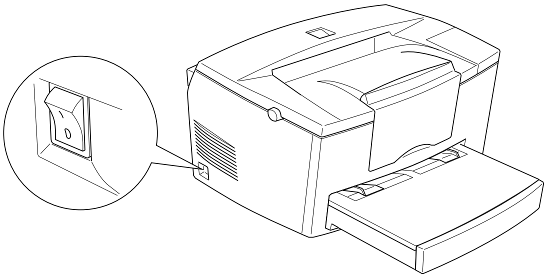


ポイント
用紙トレイにセットした用紙サイズをプリンタドライバで設定します。
☞ Windows 「[基本設定]」57 ページ
Macintosh 「[用紙設定] ダイアログ」115 ページ

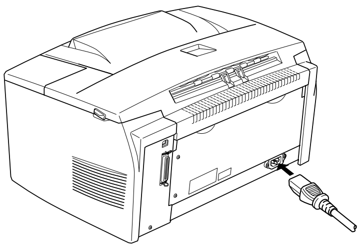
電源ケーブルの接続

> **⚠注意**
> - 「安全にお使いいただくために」（(1) ページ）を参照の上、正しくお取り扱いください。
> - 長い間プリンタを使用しない場合は、コンセントからプラグを抜いておいてください。
> - AC100V 以外の電源には、絶対に接続しないでください。
> - コンピュータなどの裏側にある補助電源には接続しないでください。必ず壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。

1. 電源 スイッチがオフ（○）になっていることを確認します。



2. 電源ケーブルをプリンタ背面の AC インレットに差し込みます。



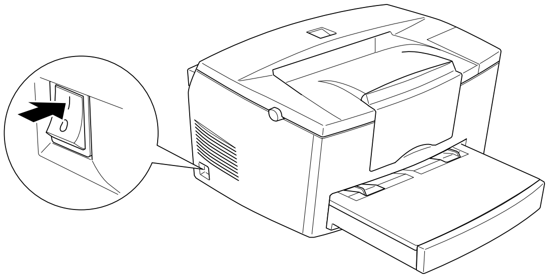
3. 電源ケーブルのプラグをＡＣ100Vのコンセントに正しく差し込みます。

電源のオン／オフ

付属品の取り付けと、電源への接続が終わったら、プリンタに異常がないかを確認するために、電源のオン／オフを行ってください。

電源のオン

プリンタ左側面にある 電源 スイッチのオン（｜）側を押します。



電源をオンにすると、プリンタの操作パネル上の印刷可ランプ（緑）が点滅してから点灯します。

電源のオフ

電源 スイッチのオフ（○）側を押します。

ポイント

次の場合は、電源スイッチをオフにしないでください。

- **操作パネルの印刷可ランプが点滅中**
- **印刷中**

⚠注意

プリンタの電源をオフにした場合、30秒以上経過するまで再び電源をオンにしないでください。電源を続けてオフ／オンすると故障の原因となります。

ポイント

プリンタが正常に動作するかを確認するために、ステータスシートの印刷をお薦めします。

☞ Windows　「ステータスシートの印刷」34 ページ
Macintosh 「ステータスシートの印刷」42 ページ

ステータスシートの印刷は、プリンタの現在の状態や設定を用紙に印刷するものです。ステータスシートがきれいに印刷されれば、プリンタの印刷機構は正常に動作しています。ステータスシートの印刷は、電源オンのたびに行う必要はありません。

コンピュータとの接続

プリンタとコンピュータを接続するためのケーブル（別売）を用意します。接続ケーブルには種類がありますので、使用するインターフェイスに応じたケーブルを用意してください。

本機はWindows95/98/NT4.0、Macintoshに対応しています。使用可能なシステム条件につきましては、以下のページを参照してください。

☞ Windows 「システム条件の確認」22 ページ
Macintosh 「システム条件の確認」35 ページ

> **ポイント**
> **プリンタのパラレルインターフェイスコネクタとMacintoshのシリアルインターフェイスコネクタを接続するには、オプションのシリアル/パラレル交換アダプタ EPSON Link3（ELINK3）が必要です。オプションを使用しての接続方法と、必要なインターフェイスケーブルなどについては、オプションの取扱説明書とお使いのMacintoshの取扱説明書を参照してください。**

パラレルインターフェイスケーブル

'99 年 3 月 2 日現在

メーカー	機種	接続ケーブル
EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N
IBM、富士通、東芝、他各社		
NEC	PC-98NX シリーズ	
	PC9821 シリーズ *	PRCB5N

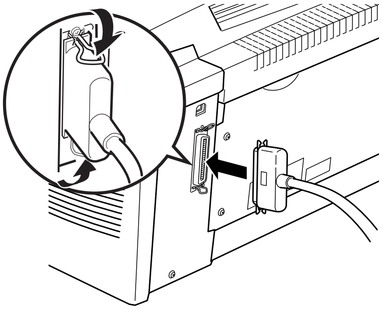
* 双方向通信機能を搭載した機種のみ。ただし、WindowsNT4.0 ではお使いいただけません。

> **ポイント**
> - **双方向通信機能のないNEC PC98およびその互換機とは接続できません。**
> - **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**

1 **コンピュータとプリンタの電源がオフになっていることを確認します。**

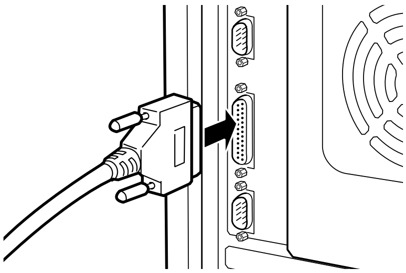
2 **プリンタにパラレルインターフェイスケーブルを接続します。**

- 上下の固定金具でコネクタを固定します。
- FG 線（グランド線）が付いているときは、FG 線取り付けネジで固定します。



3 **ケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータに接続します。**

コンピュータへのケーブルの接続方法については、コンピュータの取扱説明書をお読みください。



次はソフトウェアのインストールです。以下のページへ進んでください。

☞「インストール方法のご案内」20 ページ

USBインターフェイスケーブル

USBインターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のケーブルを使用してください。
EPSON USB ケーブル（型番：USBCB1）

USB ハブを使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお薦めします。

OSおよびコンピュータの条件

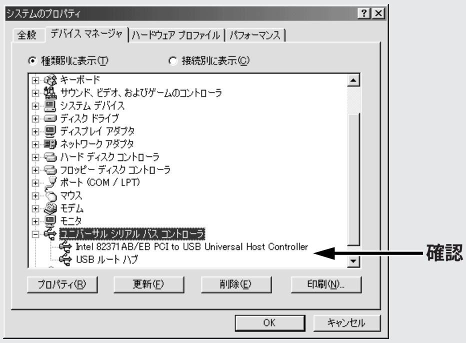
本機を USB ケーブルで接続するための条件は、以下の通りです。

Windows

以下の 3 つの条件をすべて満たしている必要があります。

- Windows98 がプレインストールされているコンピュータ
（購入時、すでに Windows98 がインストールされているコンピュータ）
- USB に対応したコンピュータ
- コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ

USB に対応したコンピュータであるか確認するには
1.［マイコンピュータ］を右マウスボタンでクリックし、［プロパティ］を開きます。
2.［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
3.［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下に、USB のホストコントローラと［USB ルートハブ］が表示されていることを確認します。
表示されていれば、USB に対応したコンピュータです。



> ポイント
> - Windows95/NT4.0ではご使用になれません。
> - コンピュータのUSBポートに関しては、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
> - パラレルインターフェイスの機能であるEPSONプリンタポートおよびDMA転送は、USBケーブル接続時はご利用いただけません。
> - パラレルインターフェイスケーブルからUSBケーブルに接続ケーブルを交換したい場合は、以下のページを参照して設定してください。
> ☞「インターフェイスケーブルを交換しましたか？」176ページ

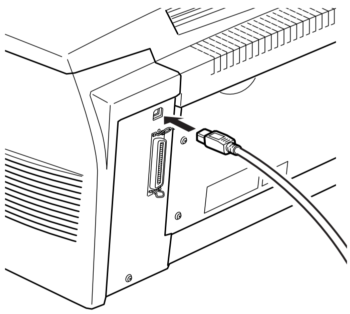
Macintosh

Apple社によりUSBポートの動作が保証されているコンピュータとOSの組み合わせによるシステム。

USBケーブルの接続

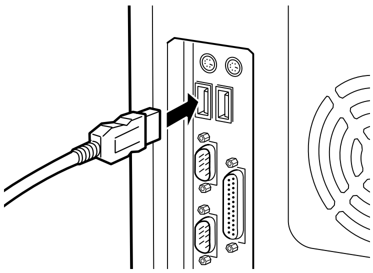
1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタにUSBケーブルを接続します。



3 ケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのUSBコネクタに差し込みます。

コンピュータへのケーブルの接続については、コンピュータの取扱説明書をお読みください。



次はソフトウェアのインストールです。以下のページへ進んでください。
☞「インストール方法のご案内」20ページ

第3章

プリンタドライバのインストール

LP-800S

Installation

ここでは、プリンタドライバのインストール方法について説明しています。

インストール方法のご案内

プリンタドライバのインストール方法を説明します。お使いのオペレーティングシステムやプリンタとコンピュータの接続方法を考慮して、プリンタドライバを正しくインストールしてください。

Windows95/98/NT4.0 の場合

- Windows95/98/NT4.0 環境のコンピュータとプリンタをパラレルインターフェイスケーブルで接続した場合は、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているインストーラ（SETUP.EXE）を実行してプリンタドライバをインストールします。
  ☞「システム条件の確認」22 ページ
  「プリンタドライバのインストール（USB 接続時を除く）」23 ページ

- Windows98 環境のコンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続した場合は、Windows98のプラグアンドプレイ[*1]機能を利用してプリンタドライバをインストールします。
  ☞「システム条件の確認」22 ページ
  「USB ケーブル接続でのインストール」25 ページ

*1 プラグアンドプレイ：Windows95/98 のハードウェア検出機能。新しいハードウェアをコンピュータに接続して Windows95/98 を起動すると、Windows95/98はそのハードウェアを検出して、自動的にセットアップ画面を表示します。ユーザーは画面の指示に従って、ハードウェアのドライバをインストールします。

ポイント

USB ケーブルでプリンタと Windows98 環境のコンピュータを接続した場合は、必ずプラグアンドプレイ機能でプリンタドライバをインストールしてください。

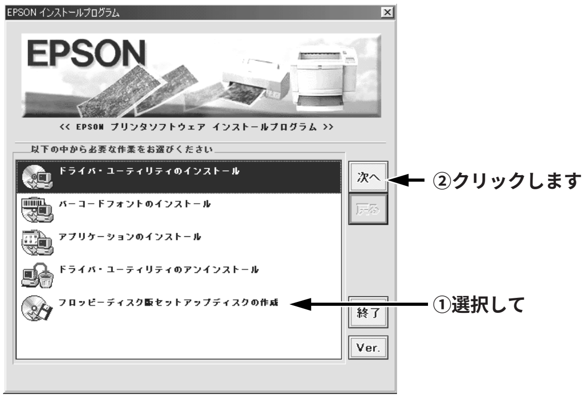
Macintoshの場合

Macintosh とプリンタを USB ケーブルまたはオプションの EPSON Link3 で接続した場合は、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているインストーラを実行してプリンタドライバをインストールします。
☞「Macintosh でのインストール」35 ページ

インストールを始める前に

本製品のプリンタドライバはCD-ROMにて提供しています。フロッピーディスクからプリンタドライバをインストールする場合は､次のどちらかの方法でフロッピーディスクをご用意ください。

- Windowsをご利用の場合、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMからセットアップディスクを作成します。EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットし、以下のような画面が表示されたら［フロッピーディスク版セットアップディスクの作成］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。以降は、表示されるメッセージに従ってセットアップディスクを作成してください。



> **上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］をダブルクリックしてCD-ROMアイコンをダブルクリックします。**

- 有償にてお求めいただけます。
  下記を参照いただき､セットアップ用のフロッピーディスクをお申し込みください。有償にて送付いたします。
  ☞「フロッピーディスクをご希望のお客様へ」194ページ

Windowsでのインストール

Win

システム条件の確認

使用するハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。

Windows95またはWindows98

オペレーティングシステム	：Windows95 または Windows98 日本語版
CPU	：Pentium®（推奨 133MHz 以上）
主記憶メモリ	：推奨 32MByte 以上
ディスプレイ	：VGA（640 × 480）以上の解像度

ポイント

プリンタのUSBポートを使用する場合のシステム条件については、以下のページを参照してください。

☞「OS およびコンピュータの条件」16 ページ

WindowsNT4.0

オペレーティングシステム	：WindowsNT4.0 日本語版
CPU	：Pentium®（推奨 133MHz 以上）
主記憶メモリ	：推奨 32MByte 以上
ディスプレイ	：VGA（640 × 480）以上の解像度

プリンタドライバのインストール（USB接続時を除く）

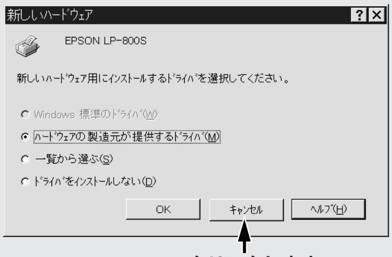
ポイント **Windows98 をご利用で USB ケーブル接続された方は、以下の手順ではインストールできません。次のページを参照してインストール作業を行ってください。**
☞「USB ケーブル接続でのインストール」25 ページ

プリンタドライバのインストールにはいくつかの方法がありますが､本書ではインストーラ（SETUP.EXE）を実行してインストールする方法について説明します。

1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

Windowsの起動時に次のような画面が表示された場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

＜例 1 ＞ Windows95



クリックします

＜例 2 ＞ Windows98

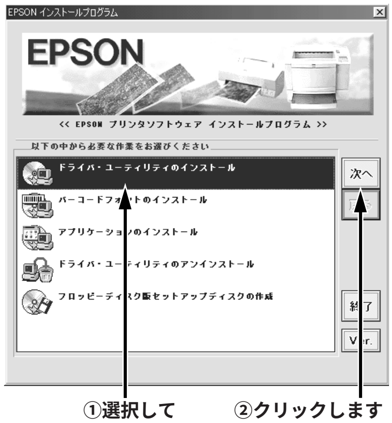


クリックします

2 EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

Win

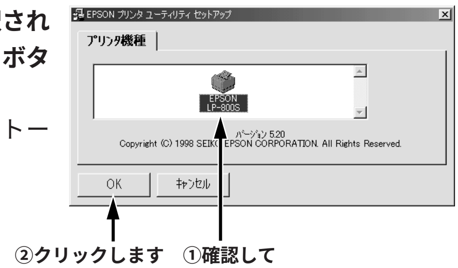
3 以下の画面が表示されたら ドライバ・ユーティリティのインストール を選択して 次へ ボタンをクリックします。



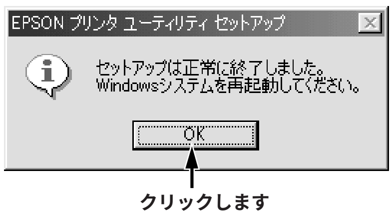
上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］をダブルクリックしてCD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 ［LP-800S］アイコンが選択されていることを確認して、OK ボタンをクリックします。

プリンタドライバのインストールが始まります。



5 OK ボタンをクリックします。



以上でプリンタドライバのインストールは終了です。

USBケーブル接続でのインストール

USBケーブル以外で接続された方は、次のページを参照してインストール作業を行ってください。
ポイント
☞「プリンタドライバのインストール（USB接続時を除く）」23ページ

ここでは、USB ケーブルで接続した場合のソフトウェアのインストール方法を説明します。まず、USBインターフェイスを使用するために、「デバイスドライバ[*1]」をインストールし、続いてプリンタを使用するために「プリンタドライバ」をインストールします。必ず本書の手順に従ってインストールしてください。本書以外の手順ではインストールできません。

*1 デバイスドライバ：デバイスとは、コンピュータシステムを機能させるための、独立した個々の装置（ハードウェア）です。そのデバイスを動作させるためのソフトウェアを、デバイスドライバと呼びます。

また、本機をUSB ケーブルで接続するためには、以下のページに記載されている条件をすべて満たしている必要があります。必ずシステム条件を確認してください。
☞「OS およびコンピュータの条件」16 ページ

USBデバイスドライバをインストールする

まず、USBインターフェイスを使用するためのUSBデバイスドライバをインストールします。

USBデバイスドライバをインストールしてからプリンタドライバをインストールしないと、プリンタは使用可能になりません。
ポイント

1 **プリンタの電源をオンにします。**
プリンタとコンピュータの接続を確かめてから、プリンタの電源を先にオンします。

USBケーブルで接続した場合は、必ず最初にプリンタの電源をオンにしてください。
ポイント

2 **コンピュータの電源をオンにして、Windows を起動します。**

USBデバイスドライバがすでにインストールされている場合は、以下のページへ進んでください。
ポイント
☞「プリンタドライバをインストールする」27 ページ

Win

3 画面が表示されたら、次へ をクリックします。



ポイント この画面が表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、ケーブルが接続されているかを確認してください。

4 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、次へ をクリックします。

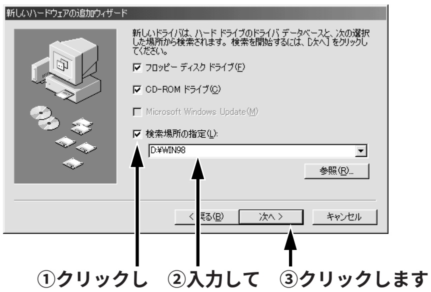


5 EPSONプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。

6 USBデバイスドライバを指定して、次へ をクリックします。

① ［検索場所の指定］を選択します。
② ディスクをセットしたドライブ名とディレクトリ名「WIN98」を半角で入力します。
③ 次へ をクリックします。

＜例＞ドライブ名が D の場合
D:\WIN98



＊セットしたドライブ名は、ご利用の環境によって異なります。

7 **次へ をクリックします。**
USB デバイスドライバのインストールが始まります。



クリックします

8 **完了 をクリックします。**
USB デバイスドライバのインストールが終了しました。



クリックします

続いてプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバをインストールする

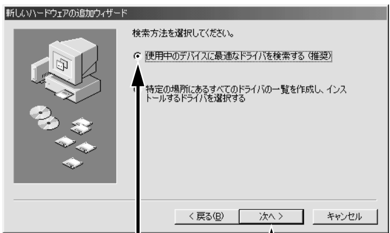
プリンタを使用するためにプリンタドライバをインストールします。

1 **次へ をクリックします。**



クリックします

2 **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、次へ をクリックします。**



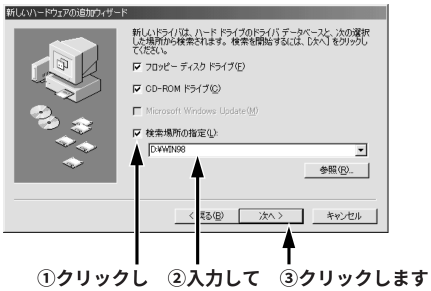
①クリックして　②クリックします

Win

3 **プリンタドライバを指定して、次へ をクリックします。**

① ［検索場所の指定］を選択します。
② ディスクをセットしたドライブ名とディレクトリ名「WIN98」を半角で入力します。
③ 次へ をクリックします。

＜例＞ドライブ名が D の場合
D: \ WIN98



＊セットしたドライブ名は、ご利用の環境によって異なります。

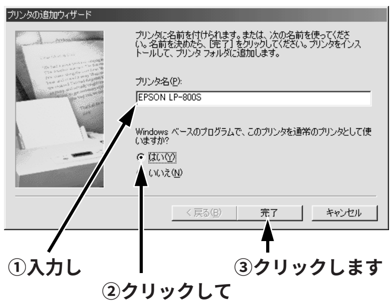
4 **次へ をクリックします。**

プリンタドライバのインストールが始まります。



5 **プリンタ名を入力し、通常のプリンタとして使うかどうかを選択してから、完了 をクリックします。**

通常使うプリンタとして設定する場合は、［はい］をクリックします。



Win

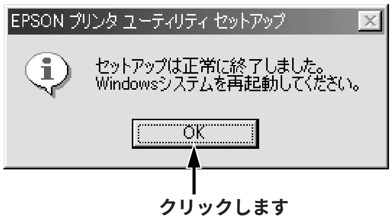
6 完了 をクリックします。

プリンタドライバのインストールが終了しました。



7 OK をクリックします。

プラグアンドプレイでの操作をすべて終了します。



8 Windows を再起動します。

Win

プリンタ接続先の設定（Windows95/98）

*1 ポート：プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

プリンタを接続しているコンピュータ側のポート*1の設定を、必要に応じて変更します。通常は設定を変更する必要はありません。ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

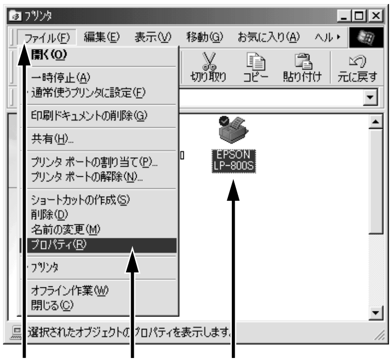
Windows98 をご利用の場合、USB ケーブルとパラレルインターフェイスケーブルでは印刷先のポートが異なります。接続ケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。

ポイント

- **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。**
- **ここで設定した内容が、アプリケーションソフトなどからプリンタドライバの設定画面を開いた場合の初期設定値になります。**

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

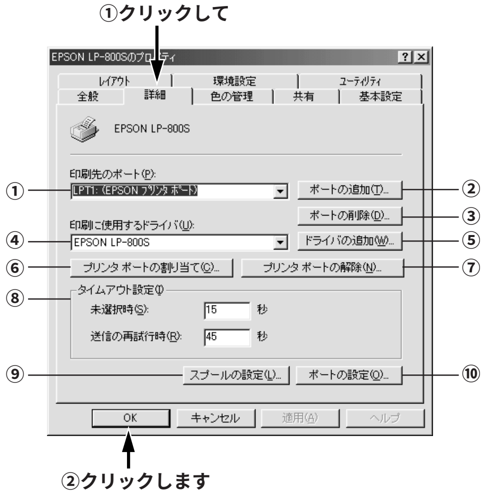
2 **EPSON LP-800Sをクリックして選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**



②クリックして　③クリックします　①クリックし

3 **［詳細］タブをクリックし、設定を変更して、 OK ボタンをクリックします。**

これで接続先の設定は終了です。



① 印刷先のポート

プリンタを接続したポート(インターフェイス)を選択します。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのプリンタポートに接続した場合は、LPT1 のままでお使いください。

PRN	：	本機では接続できません。
LPT	：	プリンタポートです。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。
EPUSB	：	Windows98 をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。
COM	：	本機では接続できません。
EPT	：	EPSON プリンタでは使用しません。
FILE	：	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

② ポートの追加

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

③ ポートの削除

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

④印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

⑤ ドライバの追加

プリンタドライバを追加するときにクリックします。

⑥ プリンタポートの割り当て

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

⑦ プリンタポートの解除

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

⑧タイムアウト設定

タイムアウトの［未選択時］、［送信の再試行時］の時間を設定します。

未選択時：

プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時：

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

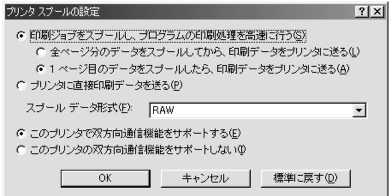
ポイント

- **ポートによっては、タイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合などに、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

⑨ スプールの設定

*1 スプール：データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータは別の作業をすることができる。

印刷データのスプール[*1]方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。



印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
印刷データのスプール方法には、2つの方法がありますが、どちらを選択しても印刷速度変わりません。

プリンタに直接印刷データを送る：
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように設定します。本機を使用する場合は必ずこの設定にしてください。

このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように設定します。本機を使用する場合は設定しないでください。

⑩ ポートの設定

通常は変更する必要はありません。

MS-DOSの印刷ジョブをスプール：
MS-DOSアプリケーションの印刷データをWindowsでスプールします。ただし、本機はMS-DOSに対応していません。

印刷前にポートの状態をチェック：
印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェックします。

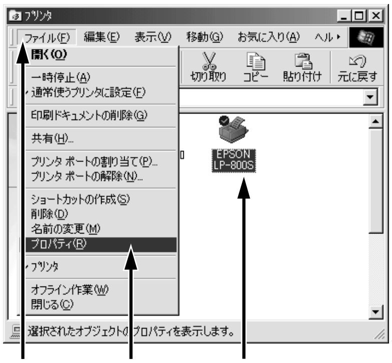
ステータスシートの印刷

プリンタの状態を記載したステータスシートを印刷してみましょう。

1 **プリンタとコンピュータの電源がオンになっていること、プリンタにA4またはB5サイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［プリンタ］をクリックします。**

3 **EPSON LP-800Sを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］（WindowsNT4.0の場合は［ドキュメントの設定値］）をクリックします。**



②クリックして　③クリックします　①選択して

4 **［基本設定］タブをクリックし、セットした用紙のサイズに［用紙サイズ］の設定が合っていることを確認します。**

> ポイント
> **［用紙サイズ］の設定がセットした用紙のサイズと異なっている場合は、［用紙サイズ］の設定をセットした用紙のサイズに変更し、 OK ボタンをクリックして一旦プロパティを閉じます。その後、手順3の作業からやり直してください。**

5 **［環境設定］タブをクリックし、 ステータスシートの印刷 ボタンをクリックします。**
プリンタの状態を記載したステータスシートが印刷されます。



①クリックして　②クリックします

6 **ステータスシートの内容を確認します。**
オプションを装着している場合はオプション情報が正しく取得されているか等、プリンタの設定状況を確認してください。

Macintoshでのインストール

システム条件の確認

ご使用の Macintosh のシステムを確認してください。条件に合わない場合、付属のプリンタドライバが使用できないことがあります（1999年3月現在）。

動作可能コンピュータ

本製品は、次の Macintosh で使用できます。

- USB ケーブル接続の場合
  iMac、USB インターフェイスコネクタ搭載の Power Macintosh® G3

- EPSON Link3（オプション）接続の場合
  68040 以上または Power PC CPU 搭載機種

> ポイント
> **EPSON Link3にプリンタドライバが同梱されている場合がありますが、プリンタ本体に添付しているプリンタドライバをインストールしてお使いください。**

動作可能環境

システム	：USB ケーブル接続の場合 Mac OS 8.1 以降 ：EPSON Link3（オプション）接続の場合 漢字Talk7.5.1またはMac OS 7.6以降のシステム （ただし、漢字Talk7.5以降のQuickDraw GXには対応していません）*
メモリ（RAM）容量	：8MByte 以上（12MByte 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	：6MByte 以上

> ポイント
> *** 漢字 Talk7.5 以降でご使用の場合、QuickDrawGX で本製品を使用することはできません。**
> **以下の手順で Quick DrawGX を使用停止にしてください。**
> **① caps lock キーを解除しておきます。**
> **② スペースバーを押したままにして Macintosh を起動します。**
> **（機能拡張マネージャが開きます。）**
> **③ QuickDrawGX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします。**
> **（チェック印のない状態になります。）**
> **④ 機能拡張マネージャを閉じます。**

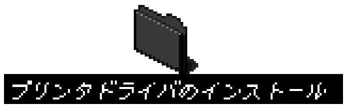
Mac

プリンタドライバのインストール

1 **Macintoshの電源をオンにして起動します。**

2 **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。**

3 **[プリンタドライバのインストール]フォルダをダブルクリックして開きます。**



ダブルクリックします

> **ポイント**
> **フォルダ内の[はじめにお読みください]アイコンをダブルクリックして、内容をお読みください。プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。**

4 **[LP-800Sインストーラ]アイコンをダブルクリックします。**



ダブルクリックします

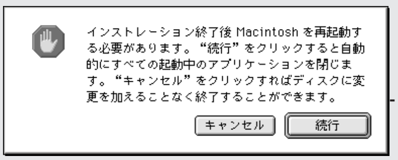
5 **インストール ボタンをクリックします。**

プリンタドライバのインストールが始まります。

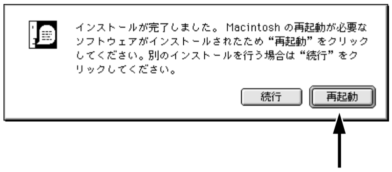


クリックします

> **ポイント**
> - **以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して 続行 ボタンをクリックします。**
> - **アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、キャンセル ボタンをクリックしてインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタドライバをインストールしてください。**



6 **再起動 ボタンをクリックします。**
Macintosh が再起動し、インストールしたプリンタドライバが使用できるようになります。



> **ポイント**
> **アップルメニューに［EPSONプリンタウィンドウ!3］のエイリアスが作成されます。**
> **☞「EPSON プリンタウィンドウ!3」129 ページ**

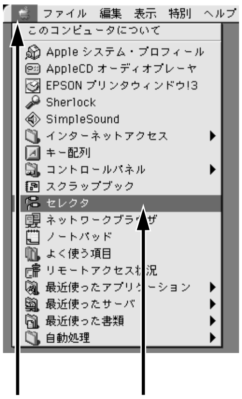
プリンタドライバの選択と設定

プリンタドライバをインストールした後は､次の手順でプリンタドライバを選択します｡プリンタドライバを選択しないとアプリケーションソフトから印刷できません｡

プリンタドライバを選択する

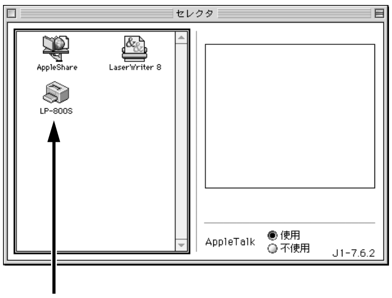
1 **プリンタの電源をオンにします。**
プリンタとコンピュータの接続を確かめてから、プリンタの電源を先にオンします。

2 **Macintoshを起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**



①クリックして　②クリックする

3 **プリンタドライバ[LP-800S]のアイコンをクリックします。**



クリックします

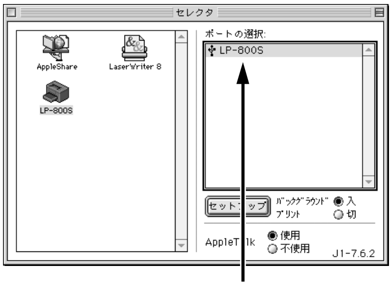
> ポイント
> **漢字Talk7.5以降のQuickDraw GXは使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GXを使用停止にしてください。**
> ☞「動作可能環境」35ページ

4 **プリンタ名またはプリンタを接続したポートを選択します。**

USB ケーブル接続の場合　：接続したプリンタ名をクリックします。同機種のプリンタが複数接続されている場合は、[LP-800S(1)]、[LP-800S(2)]などと表示します。使用するプリンタ名を選択します。

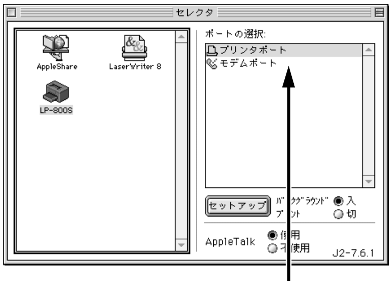
EPSON Link3 接続の場合　：プリンタを接続した［プリンタポート］または［モデムポート］を選択します。

USB ケーブル接続の場合



選択します

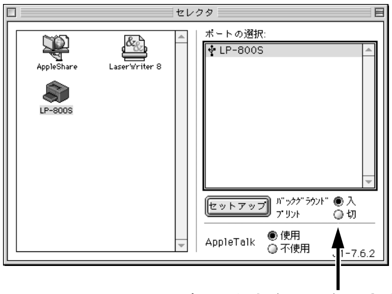
EPSON Link3 接続の場合



選択します

> **ポイント**
> - **機種名が表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源スイッチがオンになっているかを確認してください。**
> - **「AppleTalk の使用を中止する」内容のメッセージが表示された場合は、AppleTalk を［不使用］に設定してください。**

5 **バックグラウンドプリントを設定します。**



どちらかをクリックします

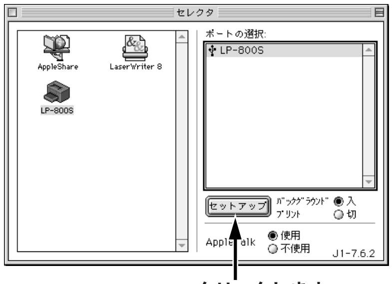
画面は USB ケーブル接続した場合です

> **バックグラウンドプリントを［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。**

Mac

6 **必要に応じ、セットアップ ボタンをクリックして、[プリンタセットアップ] ダイアログを開き、機能を設定します。**

詳しくは、次の「[プリンタセットアップ] ダイアログの設定」の項を参照してください。



クリックします

画面は USB ケーブル接続した場合です

7 **ダイアログ左上のクローズボックスをクリックして設定を終了します。**

[プリンタセットアップ]ダイアログの設定

［プリンタセットアップ］ダイアログでは以下の項目を設定できます。



①最大解像度

プリンタが対応している解像度を、アプリケーションソフト側に伝えます。

標準：

本機の解像度を 300DPI としてアプリケーションソフト側に伝えます。

高解像度：

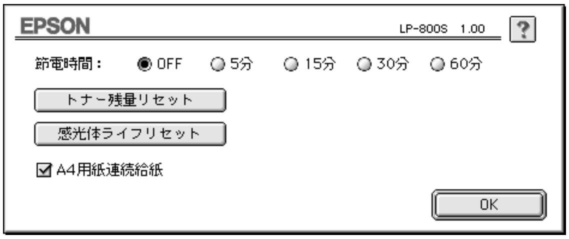
本機の解像度を 600DPI としてアプリケーションソフト側に伝えます。

ポイント

- **この項目は、印刷時の解像度を決定する設定ではありません。印刷解像度は［印刷設定］ダイアログの［モード設定］で設定します。**
- **［印刷設定］ダイアログで［モード設定］を［きれい］（600DPI）に設定して印刷すると、エラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。**

② プリンタ設定

プリンタ設定 ボタンをクリックすると、さらにダイアログが表示されます。設定を変更したら、OK ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。



Mac

節電時間 ：

節電状態に入るまでの待機時間を設定します。節電機能を使用しない場合は、［OFF］を選択します。

トナー残量リセット：

新しいETカートリッジを取り付けた場合、トナー残量リセット ボタンをクリックします。トナー残量を示すカウンタがリセットされます。

感光体ライフリセット：

新しい感光体ユニットを取り付けた場合、感光体ライフリセット ボタンをクリックします。感光体ユニットの寿命（ライフ）を示すカウンタがリセットされます。

> ポイント
> **購入時に取り付けられている ET カートリッジと感光体ユニットについては、リセットする必要はありません。次回交換時にリセットしてください。**

A4 用紙連続給紙：

オプションのロアーカセットと用紙トレイにA4用紙をセットし、連続給紙して印刷する場合にチェックします。チェックした場合、用紙トレイに A4 以外の用紙がセットされていてもエラーが表示されずに、異なる用紙サイズの用紙に印刷をする場合があります。ロアーカセット未装着時には表示されません。

③ ステータスシート

ステータスシート ボタンをクリックすると、さらにダイアログが表示されてプリンタの状態を表示します。ステータスシート印刷 ボタンをクリックすると、プリンタの状態を記載したステータスシートを印刷します。

ステータスシートの印刷

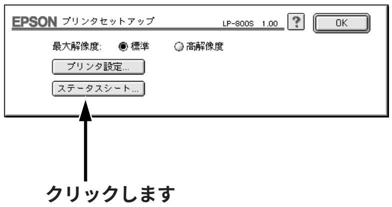
前項の説明に従い、プリンタの状態を記載したステータスシートを印刷してみましょう。ステータスシートを印刷する［プリンタセットアップ］ダイアログの開き方について、詳しくは以下のページを参照してください。
☞「プリンタドライバの選択と設定」38 ページ

1 **アップルメニューから［セレクタ］をクリックしプリンタドライバ（LP-800S）を選択します。**

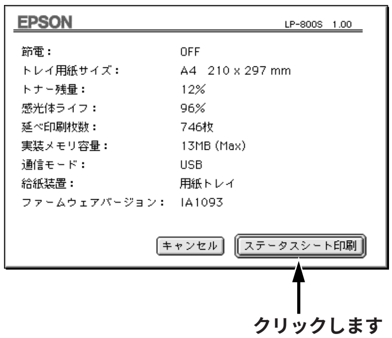
2 **USB接続をしている場合はプリンタ名を選択します。EPSON Link3接続をしている場合はポートを選択します。**

3 **セットアップ ボタンをクリックします。**
［プリンタセットアップ］ダイアログが開きます。

4 **ステータスシート ボタンをクリックします。**
ダイアログが開いて、プリンタの状態を表示します。



5 **ステータスシート印刷 ボタンをクリックします。**
プリンタの状態を記載したステータスシートが印刷されます。



6 **ステータスシートの内容を確認します。**
オプションを装着している場合はオプション情報が正しく取得されているか等、プリンタの設定状況を確認してください。

第4章

用紙について

Paper

LP-800S

ここでは、印刷できる用紙や印刷する際の諸注意等について説明しています。

用紙について

印刷可能な用紙

本プリンタは、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

普通紙		複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙[*1]です。紙厚は60～90g／m^2の範囲内のものをお使いください。
特殊紙[*3]	官製ハガキ[*2]	往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものを使用してください。
	封筒	紙厚は60～105g/m^2の範囲内のものをお使いください。
	厚紙	紙厚は90～157g/m^2の範囲内のものをお使いください。
	不定形紙	用紙サイズ90×148mm～216×356mm、紙厚60～157g/m^2の範囲内のものをお使いください。
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用をお使いください。
	OHPシート	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用をお使いください。

*1 ：再生紙は、紙種、使用環境によって、印刷品質が低下したり、紙詰まり等の不具合が発生することがありますのでご注意ください。

*2 ：絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し、給紙できなくなる場合がありますのでご注意ください。万一給紙できなくなった場合は給紙ローラをクリーニングしてください。

☞「給紙ローラのクリーニング」158ページ

*3 ：特殊紙は用紙トレイから給紙してください。オプションのロアーカセットからは給紙できません。

ポイント

- **特殊紙への印刷の際は、各用紙ごとご注意いただく事項が異なりますので必ず以下の項目を参照してください。**
  ☞「特殊紙への印刷」50ページ
- **用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。**

注意

以下の用紙は、本機では使用しないでください。印刷不良、紙詰まり、またプリンタの故障などの原因になります。

- **カラーレーザープリンタ、モノクロレーザープリンタで印刷した後の用紙**
- **カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙**
- **熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙**
- **薄すぎる用紙、厚すぎる用紙（上表参照）**
- **濡れている（湿っている）用紙**
- **表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙**
- **表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙、表と裏で粗さが大きく異なる用紙**
- **バインダ用の穴やミシン目のある用紙**
- **折り目、カール、波うち、破れのある用紙**
- **形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙**
- **簡単にはがれてしまうラベル紙**
- **糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙**
- **インクジェットプリンタ用特殊用紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）**

用紙と給紙方法

給紙装置		使用できる用紙	用紙トレイ容量	用紙サイズ （ ）内は、ステータスシートやプリンタドライバでの表記です。
標準	用紙トレイ 手差しガイド*2	普通紙	150 枚*1	A4、A5、B5、 Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、GovermentLegal（GLG）、GovermentLetter（GLT）、F4、不定形紙（90 ×148mm ～ 216 × 356mm）
		厚紙 ラベル紙 OHP シート	10 枚	
		封筒*3	10 枚	Monarch（MON）、 Commercial-10（C10）、DL、C5
	用紙トレイ	官製ハガキ	50 枚	100mm × 148mm （往復ハガキ 200mm × 148mm）
オプション	ロアーカセット*4 （LPA4LC3）	普通紙	500 枚*1	A4

*1 ： 75g/m^2 の場合です。
*2 ： 手差しガイドの容量はすべての用紙について１枚です。
*3 ： 定形サイズ以外の封筒は、ユーザ定義サイズで設定してご使用ください。
*4 ： ロアーカセットからは、A4 サイズの普通紙以外の用紙は給紙できません。

ポイント

- **用紙トレイにセットした用紙サイズは、必ずプリンタドライバで設定してください。**
  ☞ Windows　「[基本設定]」57 ページ
  Macintosh　「[用紙設定] ダイアログ」115 ページ
- **オプションのロアーカセットに用紙がセットされていれば、用紙サイズを常にA4と認識します。A4以外の用紙をセットした場合は、1ページ印刷した段階で用紙サイズエラーとなります。A4 サイズの用紙をセットして、最初から印刷し直してください。**

用紙サイズのチェックについて

用紙トレイとオプションのロアーカセットにセットされた用紙サイズのチェックを、印刷前と印刷後に行い、用紙サイズが一致していない場合にはエラー表示をします。エラーが表示された場合は、設定または用紙をチェックし、まちがいがないことを確認してから印刷を実行してください。

ただし、本機の特性により、用紙トレイから給紙をする場合は以下の点を理解していただいて、本機をお使いいただきますようお願いいたします。

- 本機では、用紙トレイに用紙がセットされていない状態では用紙のサイズを「不明」と認識し、1枚目を通紙することによってセットされている用紙サイズを認識します。そのため、アプリケーションソフトやプリンタドライバの設定と用紙トレイにセットした用紙サイズが一致している場合は問題なく印刷が行われますが、不一致の場合は1枚目通紙後にエラーとなります（印刷前チェックがされない）。

- また、プリンタの電源オフの状態で、電源オフにする前に使用していた用紙サイズと異なるサイズの用紙をセットした場合、次回電源オンにしたときにプリンタ側で認識している用紙サイズは電源オフにする前に使用していた用紙サイズとなります。そのため、セットした用紙サイズとアプリケーションソフトやプリンタドライバの設定が一致していても印刷前チェックでエラーとなります。この場合、[続行] ボタンをクリックして印刷を続行してください。1枚目通紙後にセットされている用紙サイズが正しく認識され、以降は正常に印刷を行います。

ポイント
用紙トレイの用紙サイズを「不明」と認識するタイミングは、用紙トレイの用紙がなくなったときです。ただし、印刷の途中で「用紙なし」となった場合は、用紙サイズを「不明」とせず、印刷していた用紙サイズのままとなります。

給紙装置の優先順位

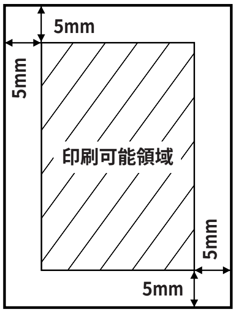
給紙装置の優先順位は次の通りです。印刷データの用紙サイズが A4 の場合、すべての給紙装置に用紙をセットし、プリンタドライバで［A4 用紙連続給紙］の指定をした場合には、最大で 650 枚の連続給紙が可能です。

☞ Windows 「［拡張設定］ダイアログ」69 ページ
Macintosh 「［プリンタセットアップ］ダイアログの設定」40 ページ

ロアーカセット（オプション）の用紙カセット	⇨	用紙トレイ（ただし、手差しガイドに用紙がセットされている場合は、手差しガイドの用紙が給紙されます。）

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。



ポイント **アプリケーションソフトウェアによっては、印刷可能領域が、上記より小さくなる場合があります。**

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

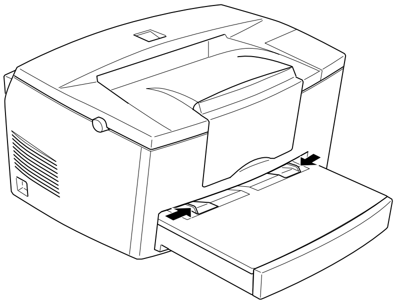
- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

手差しガイドへの用紙のセット

ここでは、手差しガイドへの用紙のセット方法を説明します。

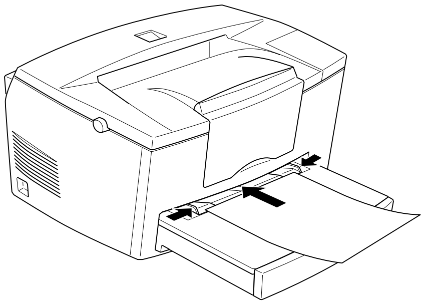
- **用紙トレイへのセット方法は以下のページを参照してください。**
  ☞「用紙トレイへの用紙のセット」10 ページ
- **オプションのロアーカセットへのセット方法は、ロアーカセットの取扱説明書を参照してください。**

1 ガイドをセットする用紙の幅に合わせます。



2 用紙を縦長の状態でセットし、ガイドを合わせます。

手差しガイドには、用紙を 1 枚ずつセットします。印刷する面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。



ポイント

プリンタドライバの給紙装置設定は [用紙トレイ] を選択してください。手差しガイドに用紙がセットされているときは、手差しガイドの用紙を優先して給紙します。

注意

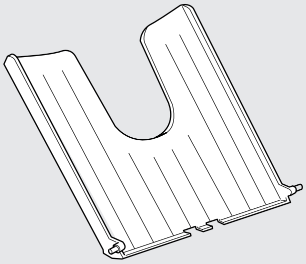
エラーが発生した場合は、コンピュータのモニタに表示された指示に従って操作してください。

排紙経路の切り替え

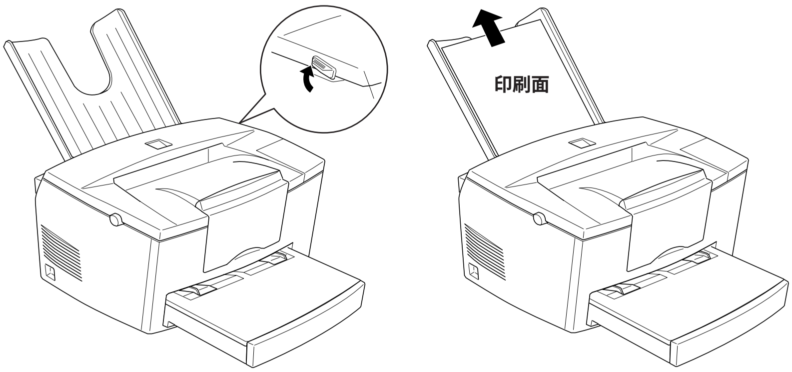
本機は、通常ご使用いただくプリンタ上面の排紙経路の他に、用紙のカールを防ぐための排紙経路がプリンタ上面後方に設けられています。ハガキや封筒など厚手の紙に印刷する場合にご使用ください。

ポイント

後部排紙経路をご使用いただく場合は、オプションのフェイスアップトレイ（LPA4FUT1）をお求めください。後部排紙経路からの用紙を20枚まで保持することができます。



プリンタ側面の排紙切り替えレバーを上に向けます。印刷を実行すると印刷面を上に向けて排紙します。



特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど、特殊紙への印刷方法について説明します。

ハガキへの印刷

注意

以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
- **私製ハガキ**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ**
- **絵ハガキなどの厚い（157g/m² 以上）ハガキ**
- **熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ**
- **大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）**

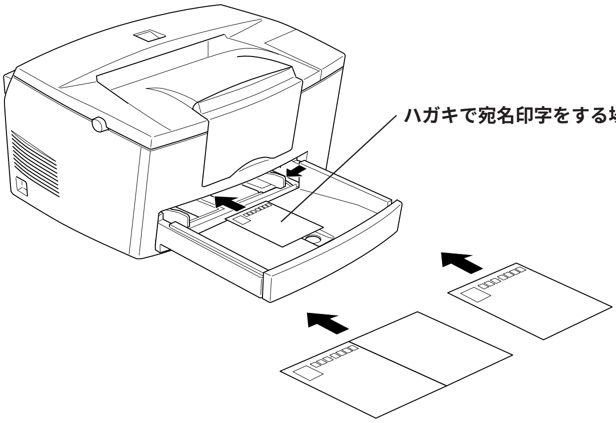
絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し、給紙できなくなる場合があります。
☞「給紙ローラのクリーニング」158 ページ

給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／ 50 枚	
プリンタドライバの設定（官製ハガキ）	Windows	
	［基本設定］	［用紙サイズ］→［ハガキ 100 × 148mm］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］
	Macintosh	
	［用紙設定］	［用紙サイズ］→［ハガキ 100 × 148mm］
	［プリント］	［給紙装置］→［用紙トレイ］
プリンタドライバの設定（往復ハガキ）	Windows	
	［基本設定］	［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］
	［環境設定］	［拡張設定］－［紙種］→［厚紙（小）］
	Macintosh	
	［用紙設定］	［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］
	［プリント］	［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［詳細設定］－［紙種］→［厚紙（小）］

ポイント

- **ハガキに印刷する前に、ハガキサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷の向きを確認してから、実際にハガキへ印刷してください。**
- **奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。**
- **往復ハガキは折り目がないものを使用してください。**
- **往復ハガキへ印刷する場合は、アプリケーションソフトウェアで用紙サイズを、200mm × 148mm に設定してください。アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを設定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。**
- **印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **用紙トレイから給紙してください（オプションのロアーカセットからの給紙はできません）。**

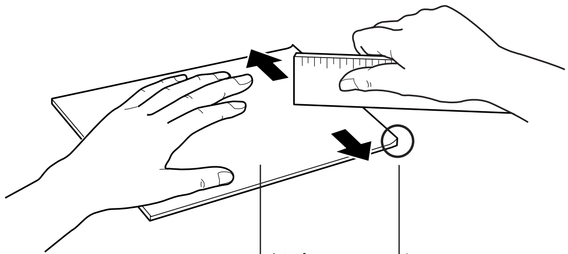
給紙のしかた



ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平なところに置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に１～２回こすり、「バリ」を除去します。



注意

- 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。
- ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなる おそれがあります。万一、用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。
  ☞「給紙ローラのクリーニング」158 ページ

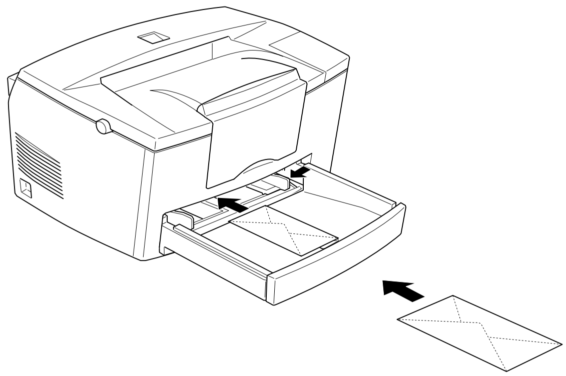
封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の封筒を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注意

以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- **封の部分に糊付け加工が施されている封筒**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒**
- **リボン、フックなどが付いている封筒**
- **熱転写およびインクジェットプリンタで一度印刷した封筒**



給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／10 枚　手差しガイド／1 枚
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［MON］［C10］［DL］［C5］ 　　　　　　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［環境設定］　［拡張設定］－［紙種］→［厚紙（小）］
	Macintosh ［用紙設定］　［印刷サイズ］→［Monarch］ 　　　　　　　［Commercial 10］［DL］［C5］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ 　　　　　　［詳細設定］－［紙種］→［厚紙（小）］

ポイント

- **封筒の定型サイズは、Monarch（MON）,Commercial-10（C10）, DL, C5の4つ（洋形封筒のみ）です。定形サイズ以外の封筒を使用する場合は、ユーザー定義サイズで、使用する封筒のサイズを設定してお使いください。**
- **封を確実に折り畳み、封の付いている辺を左に向けてセットしてください。**
- **印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **複数枚の封筒を同時にセットしても給紙されなかった場合は、手差しガイドから1枚ずつ給紙してください。**

ラベル紙への印刷

> 注意
> **以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。**
> - **簡単にはがれてしまうラベル紙**
> - **一部がはがれているラベル紙**
> - **糊がはみ出しているラベル紙**

給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／ 10 枚　手差しガイド／ 1 枚
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 　［給紙装置］→［用紙トレイ］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］

> ポイント
> - **ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。**
> - **レーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。**
> - **複数枚のラベル紙を同時にセットしても給紙されなかった場合は、手差しガイドから 1 枚ずつ給紙してください。**

OHPシートへの印刷

給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／ 10 枚　手差しガイド／ 1 枚
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［環境設定］　［拡張設定］－［紙種］→［OHP シート］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ 　［詳細設定］－［紙種］→［OHP シート］

> ポイント
> - **モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のものを使用してください。**
> - **OHPシートに付属している説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。**
> - **OHPシートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHPシートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になることがあります。**
> - **印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。**
> - **複数枚のOHPシートを同時にセットしても給紙されなかった場合は、手差しガイドから 1 枚ずつ給紙してください。**

厚紙への印刷

給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／10 枚　手差しガイド／1 枚
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［環境設定］　［拡張設定］－［紙種］→［厚紙（小）］ 　［厚紙（大）］*
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ 　［詳細設定］－［紙種］→［厚紙（小）］ 　［厚紙（大）］*

*　用紙の横幅が 188mm（A4、レター）以上の場合は、［厚紙（大）］を選択します。

ポイント

- **印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **157g/m² 以下のものを使用してください。**
- **複数枚の厚紙を同時にセットしても給紙されなかった場合は、手差しガイドから 1 枚ずつ給紙してください。**

不定形紙への印刷

給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／150 枚　手差しガイド／1 枚
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ 　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［環境設定］　［拡張設定］－［紙種］*→プリンタにセットした紙種を設定 Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ 　［詳細設定］－［紙種］*→プリンタにセットした紙種を設定

*　用紙の横幅が 188mm 以上の厚紙（A4、レター）の場合は「厚紙（大）」、用紙の横幅が 188mm 未満の厚紙（A5、B5、HLT、EXE、封筒、往復ハガキなど）の場合は「厚紙（小）」を選択してください。

ポイント

- **アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを設定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**
- **印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **紙が厚い（90g/m²～157g/m²）場合は、紙種を「厚紙」に設定してください。**
- **複数枚の不定形紙を同時にセットしても給紙されなかった場合は、手差しガイドから 1 枚ずつ給紙してください。**

第5章

Windowsからの印刷

LP-800S
Printing on Windows

ここでは、Windows95/98/NT4.0からの印刷方法について説明します。

印刷の設定と実行

Win

ここでは、Windows95/98/NT4.0アプリケーションでの、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳細は各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

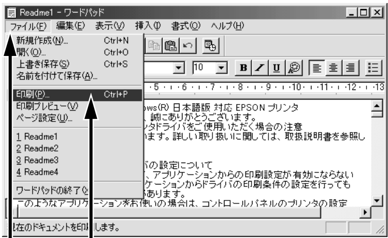
ポイント
プリンタドライバはインストールされていますか？インストールしていない場合は、以下のページを参照してプリンタドライバをインストールしてください。
☞「Windows でのインストール」22 ページ

ここでは、Windows95/98/NT4.0に添付のワードパッドを例に説明します。

ポイント
Windows95/98/NT4.0 「ワードパッド」の起動方法：
画面左下の スタート ボタンをクリックし、[プログラム] にカーソルを合わせ、さらに [アクセサリ] にカーソルを合わせ、[ワードパッド] をクリックします。

1 **ワードパッドを起動し、印刷データを作成します。**

2 **[ファイル] メニューをクリックし、[印刷] をクリックします。**



3 **お使いのプリンタが選択されていることを確認し、各項目を設定します。**

- プロパティ ボタンをクリックするとプリンタドライバの［基本設定］ダイアログが開きます。
- OK ボタンをクリックすると、印刷を実行します。



ポイント
プリンタドライバの詳細については、以下のページを参照してください。
☞「プリンタドライバの設定」57 ページ

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの各設定項目について説明します。

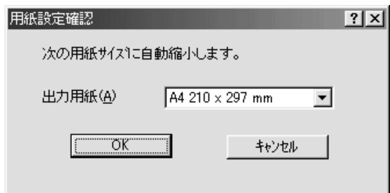
［基本設定］



①用紙サイズ

作成する印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印▲▼をクリックして表示させてください。

自動縮小印刷　：B、B4、A3、A3 ノビ、A2、A3W（ノビ）を選択した場合は、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。



ユーザー定義サイズ　：任意の用紙サイズを設定するには、［ユーザー定義サイズ］を選択します。開いた［用紙サイズ定義］ダイアログで、設定の単位を選択してから、用紙幅と用紙の長さを設定します。



> **ポイント**
> **作成した印刷データの用紙サイズと［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトウェアによっては、まちがったサイズで印刷することがあります。**

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、[縦]・[横] のいずれかをクリックして選択します。

③給紙装置

オプションの給紙装置を装着した場合のみ、[用紙トレイ]、[用紙カセット]、[自動選択」の中から給紙装置を選択します。[用紙カセット] は、オプションの給紙装置（ロアーカセット）をプリンタに装着した場合に表示されます。

- **手差しガイドから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択してください。手差しガイドに用紙をセットした場合、手差しガイドからの給紙を優先します。**
- **[自動選択] を選択すると、同じ [基本設定] ダイアログの [用紙サイズ] で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置が選択され、拡大／縮小印刷時は [レイアウト] の [出力用紙] で設定したサイズの用紙が給紙されます。**

④印刷品質

印刷品質（解像度）は、[はやい]（300DPI）または [きれい]（600DPI）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（DPI）で表し、解像度を上げればきれいに印刷できます。

ポイント
- **[きれい] を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。**
- **印刷できなかったり、メモリ関連のエラーが発生する場合は、[はやい] に変更してください。**

⑤ 詳細設定 ボタン

グラフィックの印刷方法、トナーセーブ、RIT（輪郭補正機能）を設定するには、詳細設定 ボタンをクリックして、[詳細設定] ダイアログを開きます。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「[詳細設定] ダイアログ」59 ページ

⑥印刷部数

印刷する部数（1 〜 999）を設定します。

⑦部単位印刷

[部単位印刷] をクリックしてチェックマークを付けると、複数ページを何部も印刷する場合に 1 部ずつまとめて印刷します。

⑧逆順印刷

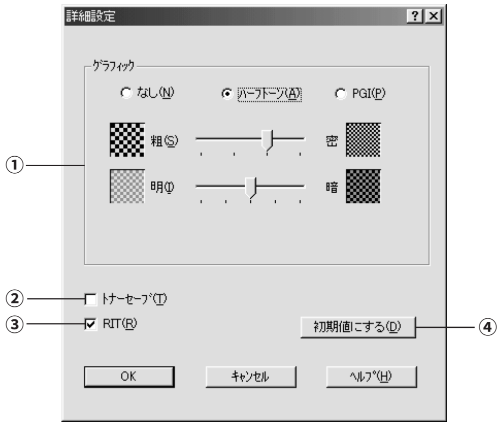
[逆順印刷] をクリックしてチェックマークを付けると、最後のページから逆に印刷します。

⑨ バージョン情報 ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

[詳細設定]ダイアログ

[基本設定] プロパティで 詳細設定 ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが開きます。以下の機能を設定できます。



①グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

なし：ビットイメージ以外のハーフトーン処理は行いません。グレイスケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。

ハーフトーン：ボタンをクリックすると、グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

PGI：ボタンをクリックすると、PGI[*1](Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGI を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

ポイント

- **プリンタのメモリが少ないと、PGI で印刷できない場合があります。PGI 処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300DPI) に設定してください。**
- **アプリケーションソフトウェアで独自のハーフトーン処理を行っている場合、PGI を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は PGI 以外の設定にして印刷してください。**

粗密　：ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷粗密度を、スライドバーで調整できます。[密] 側にスライドするより細かく、[粗] 側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

> ポイント
> **[密]にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれ真っ黒になります。コピーをとる場合は、[密] にしないで印刷することをお薦めします。**

明暗　：ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明] 側にスライドさせるとより明るく、[暗] 側にスライドさせるとより暗くグラフィックが印刷されます。

② トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

③ RIT

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

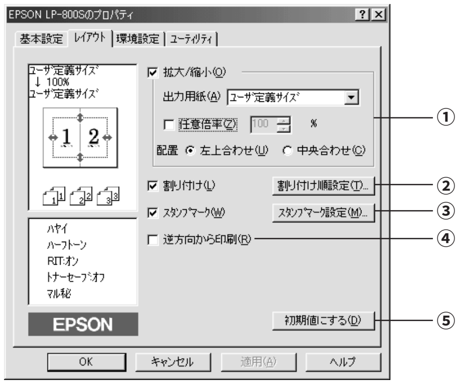
クリックしてチェックマークをつけると、RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

> ポイント
> **RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。**

④ 初期値にする ボタン

[詳細設定] ダイアログの設定を初期値に戻すには、初期値にする ボタンをクリックします。

［レイアウト］



①拡大/縮小

拡大または縮小して印刷することができます。チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、拡大縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

出力用紙　：プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。縮小拡大率をその下のボックスに表示します。

任意倍率　：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50%～200%までの任意の倍率を1%単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

配 置　：フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを［左上合わせ］または［中央合わせ］のどちらかで選択できます。

②割り付け

2ページまたは4ページ分の連続したデータを、1ページに割り付けて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。用紙サイズに合わせて自動的に縮小印刷します。

割り付けるページ数と順序を設定するには、割り付け順設定ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞「［割り付け順設定］ダイアログ」62 ページ

③スタンプマーク

印刷データに ㊙ などのイメージを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷するスタンプマークを設定するには、スタンプマーク設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「[スタンプマーク] ダイアログ」63 ページ

④逆方向から印刷

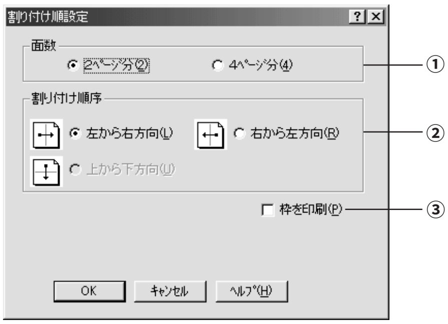
印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。長形封筒などに印刷する場合に、封を折り畳まずにプリンタにセットできます。

⑤ 初期値にする ボタン

[レイアウト]ダイアログの設定を初期値に戻すには、初期値にする ボタンをクリックします。

[割り付け順設定]ダイアログ

[レイアウト] プロパティで 割り付け順設定 ボタンをクリックすると、[割り付け順設定]ダイアログが開きます。



①面数

1 枚の用紙に割り付ける面数(ページ数)を選択します。

② 割り付け順序

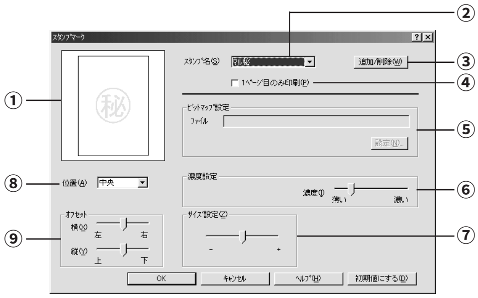
割り付けた面（ページ）を、どのような順番で配置するのか選択します。面数、用紙の向き（縦・横）によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

③枠を印刷

割り付けた面（ページ）の周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

[スタンプマーク]ダイアログ

[レイアウト]プロパティで スタンプマーク設定 ボタンをクリックすると、[スタンプマーク］ダイアログが開きます。



①プレビュー部

選択しているスタンプマークのイメージが表示されます。

②スタンプ名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。すでにいくつかのスタンプマークを用意しています。

③ 追加/削除 ボタン

オリジナルのスタンプマークを登録したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックして［ユーザー設定］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

☞「オリジナルのスタンプマークを登録 / 削除するには」64 ページ

④1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の1ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

⑤ビットマップ設定

追加 / 削除 ボタンをクリックし、［ユーザー設定］ダイアログでスタンプマークの名前を登録すると、スタンプマークのファイルを選択できるようになります。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、BMP[*1] 形式で保存しておきます。

*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式の1つ。

ファイル	：設定 ボタンをクリックして BMP ファイルを指定すると、ファイル名とディレクトリ名が表示されます。
設定	：ファイルを新しいスタンプマークとして登録する場合にクリックします。

⑥濃度設定

スタンプマークの印刷濃度を調整します。[濃度] スライドバーを [薄い] 側に移動するとより薄く、[濃い] 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑦サイズ設定

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを [−] 側に移動するとより小さく、[+] 側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑧位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑨オフセット

[位置] で選択した印刷位置からのオフセット量を調節します。

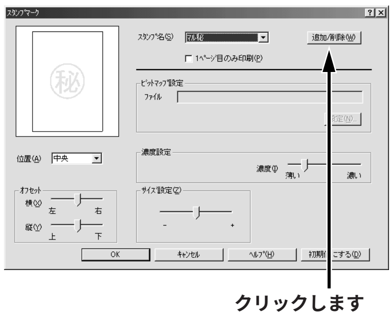
横	：横方向のオフセット量を調節します。スライドバーを [左] 側に移動するとより左に、[右] 側に移動するとより右にスタンプマークが印刷されます。
縦	：縦方向のオフセット量を調節します。スライドバーを [上] 側に移動するとより上に、[下] 側に移動するとより下にスタンプマークが印刷されます。

ポイント **[サイズ設定]、[位置]、[オフセット] を設定する場合、スタンプマークが印刷可能範囲を越えないように注意してください。**

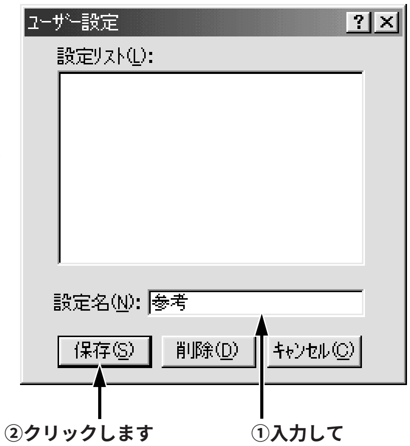
オリジナルのスタンプマークを登録/削除するには

1 **アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP形式で保存します。**

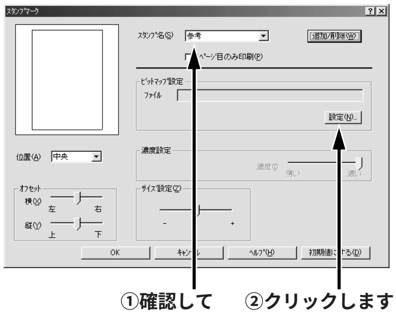
2 **[スタンプマーク] ダイアログを開いて、追加 / 削除 ボタンをクリックします。**



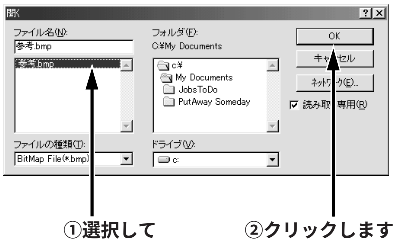
3 **［設定名］に任意の名称を入力して保存ボタンをクリックします。**
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［設定リスト］から選んで削除ボタンをクリックします。



4 **設定ボタンをクリックします。**
スタンプ名のボックスに選択したスタンプ名が表示されていることを確認してください。



5 **手順１で保存したファイルを選択し、OKボタンをクリックします。**
これで［スタンプ名］のリストにオリジナルスタンプマークが登録されました。



6 **［スタンプマーク］ダイアログでOKボタンをクリックします。**
画面左側のプレビュー部に登録したスタンプマークのイメージが表示されていることを確認してください。

Win

［環境設定］

［環境設定］画面は、開いた状況によって表示される項目や選択できる項目が異なります。

コントロールパネルからプロパティを開いた場合

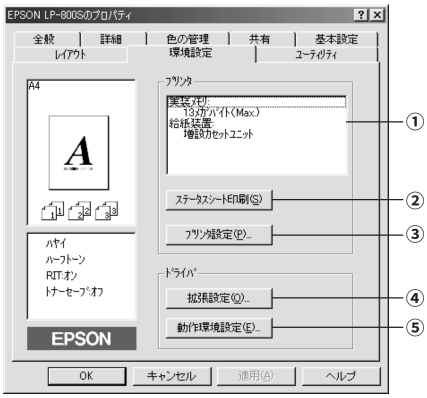
	Win95/98	NT4.0 管理者 (Administrator)	NT4.0 管理者以外	NT4.0 管理者 (Administrator)	NT4.0 管理者以外
		ドキュメントの規定値		プロパティ	
ステータスシートの印刷	○	○	○	○	○
プリンタの設定	○	○	×	○	×
拡張設定	○	○	○	−	−
動作環境設定	○	○	×	○	×

○：選択可　×：選択不可（グレー表示）　−：表示しない

アプリケーションからプロパティを開いた場合

	Win95/98	NT4.0 管理者 (Administrator)	NT4.0 管理者以外
ステータスシートの印刷	×	○	○
プリンタの設定	×	○	○
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	×	○	○

○：選択可　×：選択不可（グレー表示）



<例> Windows98 のコントロールパネルから開いた場合

①プリンタオプション情報

プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量と取り付けたオプションのロアーカセットを表示します。

② ステータスシート印刷 ボタン

プリンタの状態を記載したステータスシートを印刷するには、ステータスシート印刷 ボタンをクリックします。

③ プリンタ設定 ボタン

節電機能を設定したり、トナー残量や感光体ライフのカウントをリセットするには、プリンタ設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「[プリンタ設定] ダイアログ」67 ページ

④ 拡張設定 ボタン

印刷位置を調整するオフセット値、用紙の種類、印刷濃度、白紙節約機能、ページエラー回避、A4用紙連続給紙の設定を行うには、拡張設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「[拡張設定] ダイアログ」69 ページ

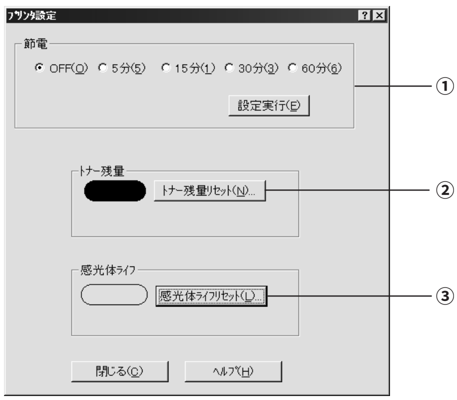
⑤ 動作環境設定 ボタン

印刷を高速化したり、印刷データを一時的に保存するフォルダを指定するには、動作環境設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「[動作環境設定] ダイアログ」71 ページ

[プリンタ設定] ダイアログ

Windowsのコントロールパネルからプリンタプロパティを開いてください。[環境設定] プロパティに プリンタ設定 ボタンがあります。このボタンをクリックすると、[プリンタ設定] ダイアログが開きます。



注意

印刷中は、設定を変更しないでください。プリンタがリセットされるため用紙詰まりが発生し、印刷データがクリアされます。

Win

①節電

電源オンでも印刷待機状態のまま消費電力を低く抑えることができます。プリンタが最後の印刷を行ってから節電状態になるまでの時間は、［5分］、［15分］、［30分］、［60分］のいずれかをクリックして選択します。節電機能を無効にするには［OFF］をクリックします。次に、設定実行ボタンをクリックして、設定をプリンタに記憶させます。

ポイント
［節電］の設定を有効にするには必ず設定実行ボタンをクリックしてください。設定実行ボタンをクリックせずに［プリンタ設定］ダイアログを閉じても、プリンタ側の設定は有効になりません。

②トナー残量

ETカートリッジのトナー残量を表示します。新しいETカートリッジに交換した場合は、トナー残量リセットボタンをクリックします。リセット確認のダイアログが表示されたら、OKボタンをクリックしてトナー残量カウンタをリセットします。

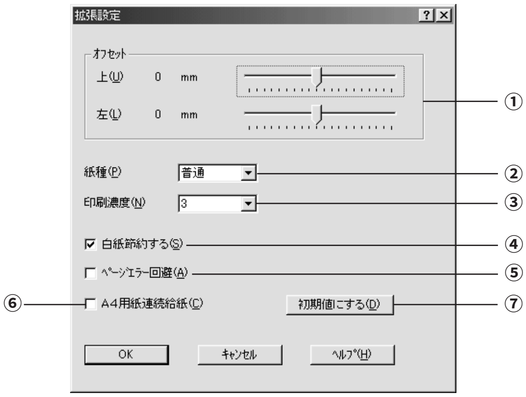
③感光体ライフ

感光体ユニットの残り寿命（ライフ）を表示します。新しい感光体ユニットに交換した場合は、感光体ライフリセットボタンをクリックします。リセット確認のダイアログが表示されたら、OKボタンをクリックして感光体ライフカウンタをリセットします。

ポイント
- **トナー残量や感光体ライフのカウンタは、新しいETカートリッジや感光体ユニットを取り付けた場合にだけリセットしてください。それ以外の場合にカウンタをリセットすると、残量や寿命を正しく表示できません。**
- **トナーがなくなると、EPSONプリンタウィンドウ!3が交換を促すメッセージを表示します。そのときETカートリッジを交換したら、EPSONプリンタウィンドウ!3から直接カウンタをリセットできます。この［プリンタ設定］ダイアログでリセットする必要はありません。どちらか一方でリセットしてください。**

[拡張設定]ダイアログ

[環境設定] プロパティで 拡張設定 ボタンをクリックすると、[拡張設定]ダイアログが開きます。



①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。スライドバーをドラッグすると、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）	：-8mm（上方向）～ 8mm（下方向）
左（水平位置）	：-8mm（左方向）～ 8mm（右方向）

②紙種

厚紙や OHP シートなど用紙の種類を設定します。通常は［普通］を選択してください。

普通	：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。
厚紙（大）	：用紙の横幅が 188mm 以上の厚紙（A4、レター）を使用する場合に選択します。
厚紙（小）	：用紙の横幅が 188mm 未満の厚紙（A5、B5、HLT、EXE、封筒、往復ハガキなど）を使用する場合に選択します。
OHP シート	：OHP シートを使用する場合に選択します。

ポイント
［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

③印刷濃度

印刷濃度を調整できます。[1] に設定すると最も薄く、[5] に設定すると最も濃く印刷します。

④白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑤ページエラー回避

印刷データの受信に問題が発生した場合に [ページエラー回避] をチェックしてください。

クリックしてチェックマークを付けると、1ページ分の印刷データをすべて処理できてから確実にそのページの印刷を開始します。ページエラーを回避できます。

チェックマークを外すと、ある程度印刷データが準備された段階で（1ページ分の印刷データ処理を待たずに）早めにそのページの印刷を開始します。データを処理できずエラーが発生すると、印刷できません。

⑥A4用紙連続給紙

オプションのロアーカセットと用紙トレイにA4用紙をセットし、連続給紙して印刷する場合にチェックします。チェックした場合、用紙トレイにA4以外の用紙がセットされていてもエラーが表示されずに、異なる用紙サイズの用紙に印刷をする場合があります。ロアーカセット未装着時には表示されません。

⑦ 初期値にする ボタン

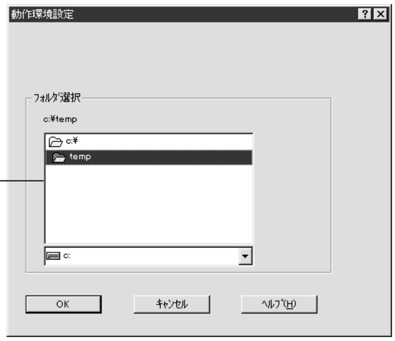
[拡張設定] ダイアログの設定を初期値に戻すには、初期値にする ボタンをクリックします。

[動作環境設定]ダイアログ

Windowsのコントロールパネルから［環境設定］プロパティを開くと、動作環境設定 ボタンがあります。このボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。



＜例＞ Windows98 の場合



＜例＞ WindowsNT4.0 の場合

① EPSONプリンタポート使用

EPSONプリンタドライバを使用して、印刷を高速化します。通常は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けてください。

WindowsNT4.0 の場合は表示されません。

② DMA転送で印刷します。

印刷を高速化する DMA 転送が有効な場合、［DMA 転送で印刷します。］と表示されます。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「印刷を高速化するには」84 ページ

WindowsNT4.0 の場合は表示されません。

③ フォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定できます。通常は、設定の必要はありません。

ポイント

- **Windows95/98 でハードディスクドライブが 1 台のみの場合は、表示されません。**
- **印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。**

［ユーティリティ］



①プリンタをモニタする

クリックしてチェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

WindowsNT4.0 のプロパティから開いた場合は表示されません。

②EPSONプリンタウィンドウ!3

プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「EPSON プリンタウィンドウ!3」73 ページ

③ モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［モニタ設定］ダイアログを開いてモニタ設定をします。

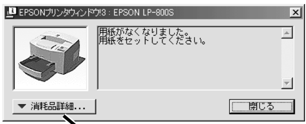
☞「モニタの設定」77 ページ

EPSONプリンタウィンドウ!3

EPSONプリンタウィンドウ!3とは

Win

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開きエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタのプロパティやWindowsのタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。



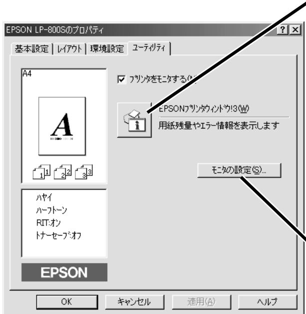
ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法 ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。



[プリンタ詳細] ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

プリンタのプロパティからEPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

タスクバーの呼び出しアイコンからEPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。





タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。



[モニタの設定] ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSONプリンタウィンドウ!3を設定することができます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、3 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

☞「［プリンタ詳細］ウィンドウ」75 ページ

［方法 1］

モニタの設定で呼び出しアイコンを設定した場合、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

☞「モニタの設定」77 ページ



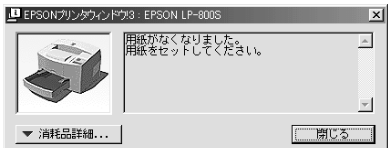
［方法 2］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］のEPSONプリンタウィンドウ!3アイコンをクリックします。



［方法 3］

アプリケーションソフトウェアから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたら、消耗品詳細ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞「対処が必要な場合は」76 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに 閉じる ボタンをクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置（ロアーカセット）が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についても情報を表示します。

⑤トナー残量

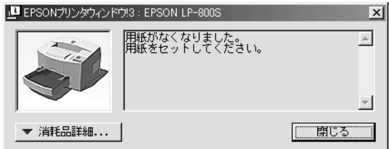
ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているか目安を表示します。

⑥感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

対処が必要な場合は

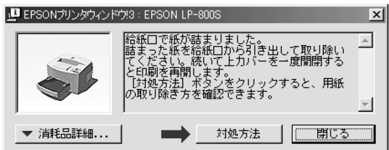
セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。



ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。消耗品詳細ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。閉じるボタンをクリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

☞「［プリンタ詳細］ウィンドウ」75 ページ

対処方法ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。プリンタの状態に応じて、印刷を続行したり中止するためのボタンも表示されます。メッセージに従って必要なボタン操作を行い、問題を解決してください。



モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定することができます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定できます。

［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2通りあります。

［方法1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の モニタの設定 ボタンをクリックします。

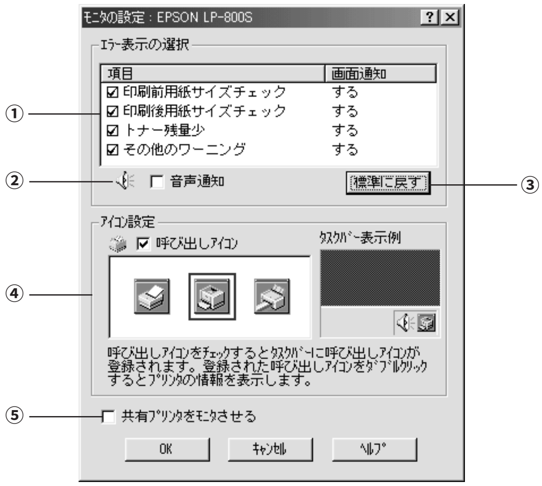


［方法2］

上記［方法1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windowsのタスクバーにある EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］を選択します。



[モニタの設定]ダイアログ



①エラー表示の選択

プリンタがエラー状態に陥った場合、ポップアップウィンドウを表示して対処方法を説明します。どのようなエラー状態で画面通知するかを選択できます。画面通知が必要な項目は、クリックしてチェックマークを付けます。

印刷前用紙サイズチェック　：印刷を開始する段階で用紙サイズをチェックし、誤りがあればエラーを表示します。

印刷後用紙サイズチェック　：印刷が終了した段階で用紙サイズに誤りがあれば、エラーを表示します。

トナー残量少　：トナーが残り少なくなると、エラーを表示します。

その他のワーニング　：ワーニングエラーが発生した場合にワーニング表示します。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

> ポイント
> **お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。**

③ 標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、標準に戻す ボタンをクリックします。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くこともできます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞「プリンタを共有するには」91 ページ

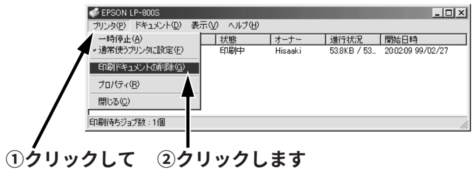
印刷の中止方法

コンピュータ上の印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

1 **Windows タスクバー上のプリンタアイコン（グレー）をダブルクリックします。**



2 **［プリンタ］メニューの［印刷ジョブのクリア］または［印刷ドキュメントの削除］をクリックします。**



印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

ドライバの削除

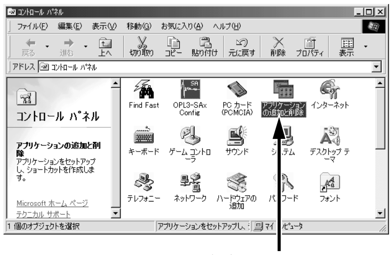
ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているドライバをまず削除（アンインストール）する必要があります。ここでは、Windowsの標準的な方法でドライバを削除します。

削除するドライバの選択

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windowsの［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。**

3 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

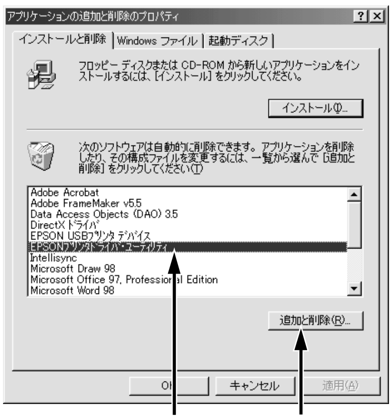


ダブルクリックします

4 **削除するドライバを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

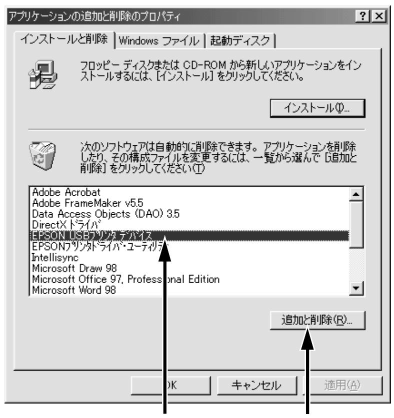
- プリンタドライバを削除する場合
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。
  ☞「プリンタドライバの削除」82 ページ
- USB デバイスドライバを削除する場合
  ［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックして、以下のページへ進みます。
  ☞「USB デバイスドライバの削除」83 ページ

プリンタドライバを削除する場合



①選択して　②クリックします

USB デバイスドライバを削除する場合



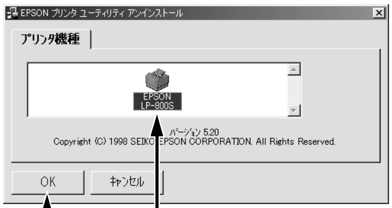
①選択して　②クリックします

［EPSON USBプリンタデバイス］は、Windows98でUSB接続をご利用の場合にのみ表示されます。

プリンタドライバの削除

EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

5 **[EPSON LP-800S] アイコンを選択して、OKボタンをクリックします。**



6 **削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

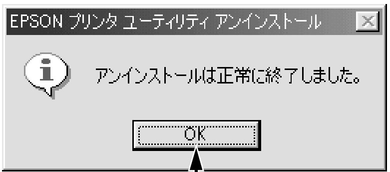


ポイント

- **関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。**
- **削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**

7 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**

これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。



8 **［アプリケーションの追加と削除のプロパティ］を閉じるために、OKボタンをクリックします。**

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

Win

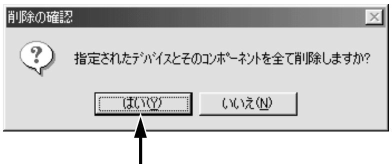
USBデバイスドライバの削除

Windows98 で USB 接続をご利用の場合のみ必要なドライバです。

> ポイント
> **USBデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。**

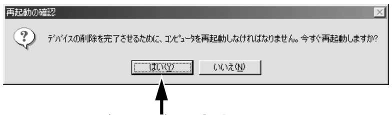
81 ページの手順 4 に続いて、以下の作業を行ってください。

5 **[はい] をクリックします。**
USB デバイスドライバの削除が始まります。



クリックします

6 **[はい] をクリックします。**
コンピュータが再起動します。



クリックします

これで USB デバイスドライバの削除は終了です。

印刷を高速化するには

Win

本機をパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合､印刷データの転送方法としてDMA転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA転送とは

通常、印刷データはコンピュータの CPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時に幾つもの処理をこなしているため、この方法では CPU に負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP[*1] コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで､CPUを経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP：(Extended Capability Port) パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか､コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか､コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- BIOS[*2] セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき､BIOSを設定してください。この BIOS の設定は、一旦 LP-800S プリンタドライバを削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタドライバをインストールしてください。

*2 BIOS：(Basic Input/Output System)パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

> ポイント
> **お使いのコンピュータの機種によっては､BIOS設定時にプリンタの電源がオンになっていると設定後にエラー（エラーランプ点灯）となるものがあります。この場合は、プリンタの電源を再投入することによりエラーを解除することができます。**

- エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？

以上の確認と設定が済みましたら、次に進んでください。

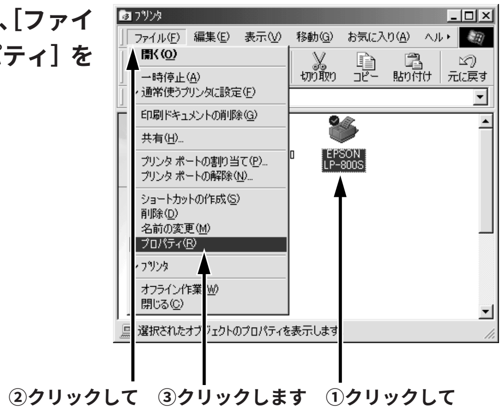
DMA転送の設定（Windows95/98）

現在の設定状態の確認

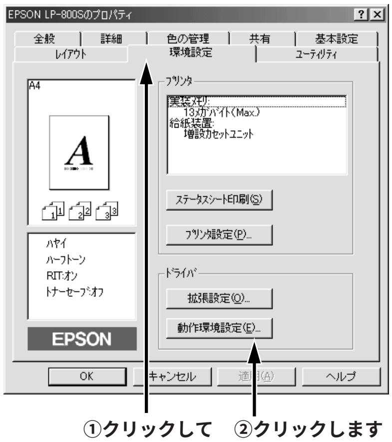
まず以下の手順で現在の設定状態を確認します。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］のカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-800Sをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**



3 **［環境設定］タブをクリックし、動作環境設定 ボタンをクリックします。**



4 DMA転送に関するメッセージを確認します。



確認します

5 表示されたメッセージ別に以下の対応をしてください。

メッセージ	対応方法
DMA 転送で印字します。	すでにDMA転送が設定されています。OKボタンをクリックして終了してください。
DMA 転送の設定を行うと、より高速な出力が可能になります。	次の手順 6 へ進みます。 OKボタンをクリックして一旦終了してください。
ー（DMA 転送表示なし）	DMA 転送できない状態です。 • このステップで何も表示されない場合、コンピュータのBIOS設定でパラレルポートを［ECP］または［ENHANCED］に設定すると、DMA転送が可能になる場合があります。各コンピュータメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせの上、BIOS のパラレルポート設定を行ってください。 • BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前にLP-800Sのプリンタドライバを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタドライバをインストールして最初のステップから設定をやり直してください。

DMA転送の設定

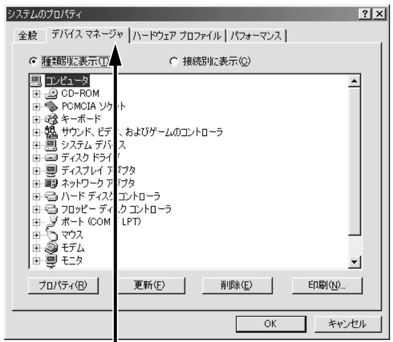
現在の設定状態の確認で「DMA転送の設定を行うと、より高速な出力が可能になります。」というメッセージが表示された場合は、以下の手順でDMA転送の設定を行ってください。

6 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

7 **［システム］アイコンをダブルクリックします。**



8 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**



9 **［ポート（COM/LPT)］をダブルクリックして開き、LP-800Sが接続されているポートをダブルクリックします。**

パラレルインターフェイスケーブルで接続してプリンタの接続先を変更していない場合は［EPSONプリンタポート（LPT1)］を選択します。



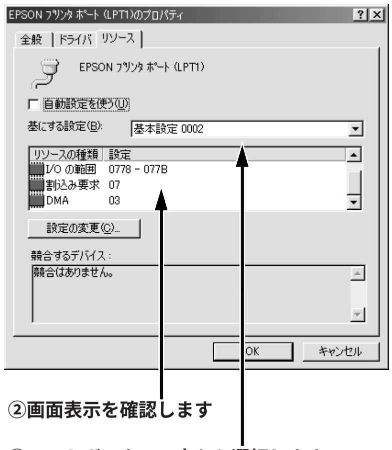
10 **［リソース］タブをクリックし、［自動設定を使う］のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。**



①クリックします　②控えてください

> **ポイント** **このとき、自動設定時に使用していたI/Oポートアドレスをメモ用紙に控えて覚えておいてください。次のステップで必要になります。**

11 **［基にする設定］または［設定の登録名］リストで、前のステップでメモに控えたI/Oポートアドレスと［DMA］、［IRQ」（割込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。**



②画面表示を確認します

①リストボックスの中から選択します

12 **OK ボタンをクリックします。**

これで、データの転送方法がDMA転送に変更されました。

> **ポイント** **一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせください。**

13 **DMA転送の設定が正しく設定されたことを確認します。**

以下のページを参照して、DMA転送に関するメッセージが「DMA転送で印字します。」になっていることを確認してください。

☞「現在の設定状態の確認」85ページ

DMA転送の設定（WindowsNT4.0）

WindowsNT4.0をご利用の場合は、BIOSのパラレルポート設定をECPモードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。

ポイント

- **BIOS の設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。**
- **BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に LP-800S のプリンタドライバを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタドライバをインストールしてください。**

DMA転送の設定で印刷が正常にできない場合は、以下の手順で設定を解除してください。

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-800S アイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**



Win

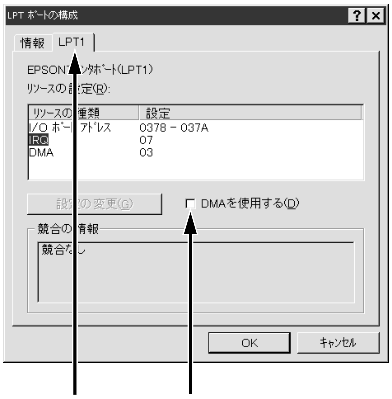
3 **［ポート］のタブをクリックし、ポートの構成 ボタンをクリックします。**



①クリックして　②クリックします

4 **LP-800Sが接続されているポートのタブをクリック、［DMA を使用する］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。**

コンピュータの LPT1 ポートにプリンタを接続している場合は、［LPT1］を選択します。



①クリックして　②クリックします

ポイント

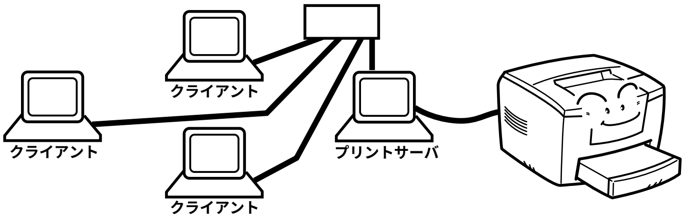
コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- **LPT2 や LPT3 の構成情報には、拡張ボードで設定されている I/O アドレスが表示されます。**
- **IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、設定の変更 ボタンをクリックして設定してください。**

プリンタを共有するには

Windowsの標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows95/98/NT4.0のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。



プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバーを経由してプリンタを共有することになります。

ポイント

- **以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。**
- **画面は Microsoft ネットワークの場合です。**

ここでは、プリンタ共有の設定方法を、プリントサーバとクライアントに分けて説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

☞「プリントサーバ側の設定（Windows95/98)」92 ページ
「プリントサーバ側の設定（WindowsNT4.0)」95 ページ
「クライアント側の設定（Windows95/98)」96 ページ
「クライアント側の設定（WindowsNT4.0)」98 ページ

Win

プリントサーバ側の設定（Windows95/98）

Windows95/98でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

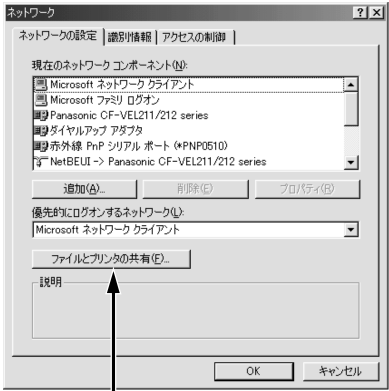
1 **Windowsの スタート ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**



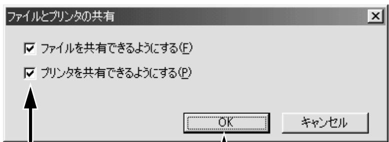
ダブルクリックします

3 **ファイルとプリンタの共有 ボタンをクリックします。**



クリックします

4 **［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、 OK ボタンをクリックします。**



①クリックして　②クリックします

5 OK ボタンをクリックします。



クリックします

> **ポイント**
> - ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows95/98のCD-ROMをコンピュータにセットし、OK ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
> - 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、手順1でコントロールパネルを開いてから、手順6から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

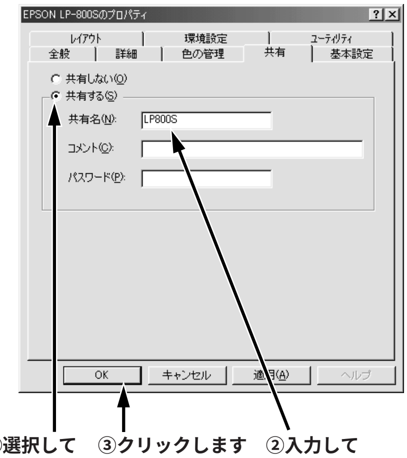
7 LP-800S アイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。



①選択して
②クリックし　③クリックします

8 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。**

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。



ポイント

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリントサーバに接続したプリンタをクライアントから共有できるようになりました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

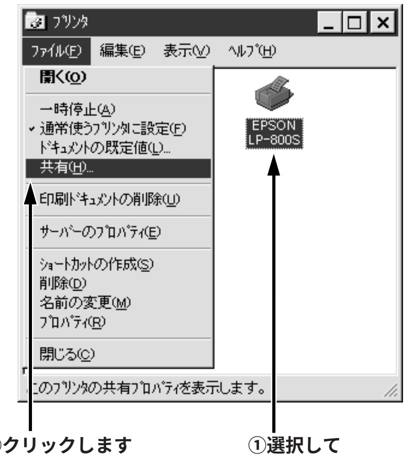
☞「クライアント側の設定（Windows95/98）」96 ページ
「クライアント側の設定（WindowsNT4.0）」98 ページ

プリントサーバ側の設定（WindowsNT4.0）

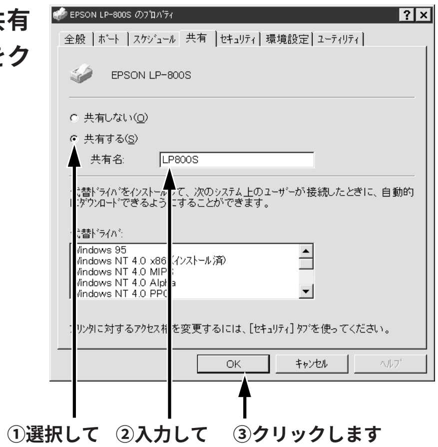
WindowsNT4.0 のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-800S アイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。**



3 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。**



ポイント
- **エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。**
- **［代替ドライバ］は選択しないでください。**

これでプリントサーバに接続したプリンタをクライアントから共有できるようになりました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

☞「クライアント側の設定（Windows95/98）」96 ページ
「クライアント側の設定（WindowsNT4.0）」98 ページ

クライアント側の設定（Windows95/98）

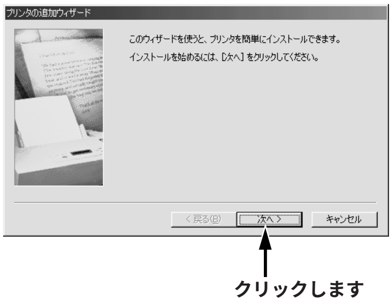
Windows95/98クライアントが共有プリンタを利用するには、以下の手順に従って設定してください。

1. Windowsの スタート ボタンをクリックし、カーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。

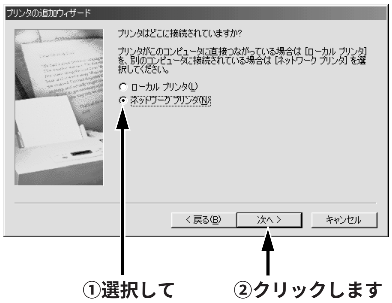
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



3. 次へ ボタンをクリックします。



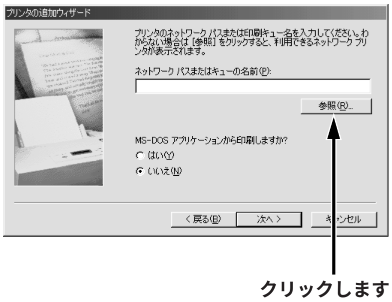
4. ［ネットワークプリンタ］を選択して、次へ ボタンをクリックします。



Win

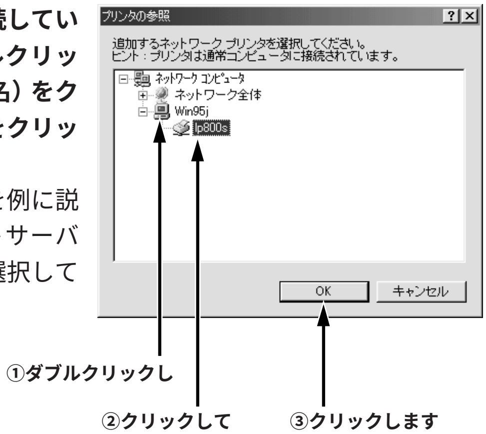
5 **参照** **ボタンをクリックします。**

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。



6 **共有するLP-800Sを接続しているコンピュータをダブルクリックし、［LP800S］（共有名）をクリックして** **OK** **ボタンをクリックします。**

ここでは、［LP800S］を例に説明しています。プリントサーバで設定した［共有名］を選択してください。



7 **次へ** **ボタンをクリックして、この後は画面の指示に従ってください。**

これでWindows95/98クライアントの設定は終了です。プリントサーバに接続した共有プリンタを使って、クライアントから印刷できるようになりました。

クライアント側の設定（WindowsNT4.0）

WindowsNT4.0クライアントが共有プリンタを利用するには、以下の手順に従って設定してください。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、カーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

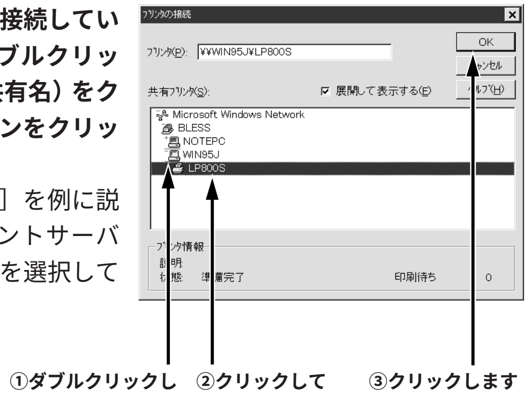
2 **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。**

3 **［ネットワークプリンタサーバー］を選択して、次へ ボタンをクリックします。**



4 **共有するLP-800Sを接続しているコンピュータをダブルクリックし、［LP800S］（共有名）をクリックして OK ボタンをクリックします。**

ここでは、［LP800S］を例に説明しています。プリントサーバで設定した［共有名］を選択してください。



5 **この後は、画面の指示に従ってください。**

これでWindowsNT4.0クライアントの設定は終了です。プリントサーバに接続した共有プリンタを使って、クライアントから印刷できるようになりました。

EPSONバーコードフォント

EPSONバーコードフォントは、本機で印刷できるバーコードフォントです。バーコード印刷する必要がある場合にインストールしてご利用ください。

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B[*1]フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。

*1 OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定された書体の名称。

EPSONバーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成・印刷するためのフォントです。このフォントを使ってデータキャラクタとして必要な文字のみを入力すれば、バーコードに必要なコードやキャラクタは自動的に指定され、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルが簡単に作成・印刷できます。

バーコードフォントについて

EPSONバーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSONバーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

*2 チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	ﾁｪｯｸ[*2]ﾃﾞｼﾞｯﾄ	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）のﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）の､ﾊﾞｰの高さを短くしたﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）のﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）の､ﾊﾞｰの高さを短くしたﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-Aのバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-Eのバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

［基本設定］の［印刷品質］：きれい（600DPI）
［基本設定］-［詳細設定］の［トナーセーブ］：チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］の［拡大 / 縮小］：チェックマークなし（OFF）

文字の装飾／配置について

- 文字の装飾（ボールド／イタリック／アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色について、バーコード部分とのコントラストが低下する色は避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更を行わないでください。
- アプリケーションソフトウェアが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大／縮小しないでください。
- アプリケーションソフトウェアのオートコレクト機能は使用しないでください。
（例＜＝＞ ⇨ ⇔ ）

入力時の注意について

- Code39、Code128 において、一つの行に 2 つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間は TAB で区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示／非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお薦めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7は、バーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるようにサイズを自動調整します。
  このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code128において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含むCode128のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお薦めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞「各バーコードについて」105ページ

ポイント **トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお薦めします。**

システム条件

EPSONバーコードフォントをご利用いただくには、Windowsでのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。
☞「システム条件の確認」22ページ

ハードディスク	：	15〜30KByteの空き容量 （書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

1 **コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。**

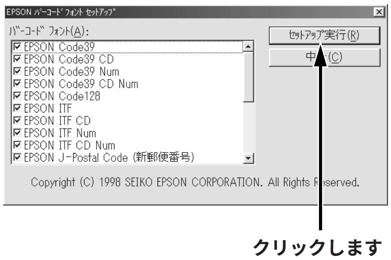
2 **EPSONプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。**

3 **[バーコードフォントのインストール] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。**



上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］をダブルクリックしてCD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 **[セットアップ実行] ボタンをクリックします。**
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。



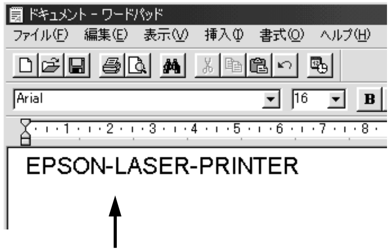
これでEPSON バーコードフォントがWindows のフォントフォルダにインストールされました。EPSON バーコードフォントの詳細、使用方法は、次ページ以降をご覧ください。

バーコードの作成

Win

ここではWindows95/98に添付のワードパッドを例に、EPSONバーコードフォントの印刷手順を説明します。

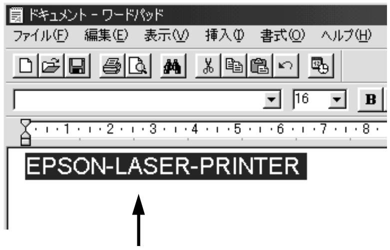
1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。**



入力します

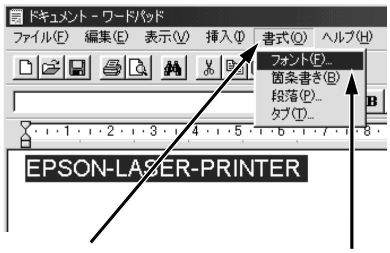
> ポイント
> **文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。**

2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**
選択した範囲が反転表示になります。



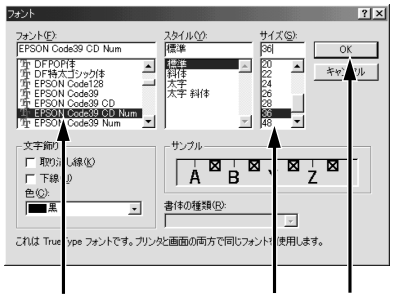
クリックしたまま移動します

3 **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**



①クリックして　②クリックします

4 [フォント] の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し[サイズ] でフォントのサイズを設定し、OK ボタンをクリックします。



WindowsNT4.0 では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。 (ポイント)

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。



6 印刷を実行します。
入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。 (ポイント)

各バーコードについて

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細/構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSONバーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ		数字（0 〜 9）	
入力するキャラクタの桁数		7 桁	
キャラクタのサイズ		52 〜 130pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー • チェックキャラクタ　• OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 Short は JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ		数字（0 〜 9）	
入力するキャラクタの桁数		7 桁	
キャラクタのサイズ		36 〜 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー • チェックキャラクタ　• OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13は「JIS X 0501」として規格化されたJANの標準バージョン（13桁）です。
• EPSONバーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは12桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0～9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60～150pt（WindowsNTは96ptまで）
保証サイズは60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0～9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36～90pt。
保証サイズは36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Shortに変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

UPC-A			
• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual） • Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ		数字（0 ～ 9）	
入力するキャラクタの桁数		11 桁	
キャラクタのサイズ		60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー • チェックデジット　• OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901		

UPC-E			
• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）			
入力可能なキャラクタ		数字（0 ～ 9）	
入力するキャラクタの桁数		6 桁	
キャラクタのサイズ		60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• チェックデジット • OCR-B　• ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456		

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code39は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Code39ではスペースを“ _ ”(アンダーライン)に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“ _ ”(アンダーライン)を入力してください。
• Code39で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">英数字(A～Z、0～9)
記号(－　.　スペース　$　／　＋　%)</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-Bなしの場合:26pt以上
保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-Bありの場合:26pt以上
保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt
(WindowsNTは96ptまで)</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン　• スタート／ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNumに変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
• Code128 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">26 〜 104pt（WindowsNT は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット
• コードセットの変更キャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

Win

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはInterleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5は、キャラクタを2個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（WindowsNT は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入
（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート／ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート／ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート／ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（WindowsNT は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A1234567 4A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）−新郵便番号（4 桁）−住所表示番号（ﾊﾞｰｺｰﾄﾞに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（−）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の−（ハイフォン）の削除
• スタート／ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 − 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

第6章

Macintoshからの印刷

Mac

LP-800S

Printing on Macintosh

ここでは、Macintoshからの印刷方法とユーティリティについて説明します。

印刷の設定と実行

ここでは、Macintoshでの用紙の設定方法や印刷の手順について説明します。

用紙設定の手順

Mac

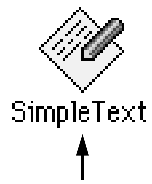
実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

アプリケーションソフトウェアによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

ポイント

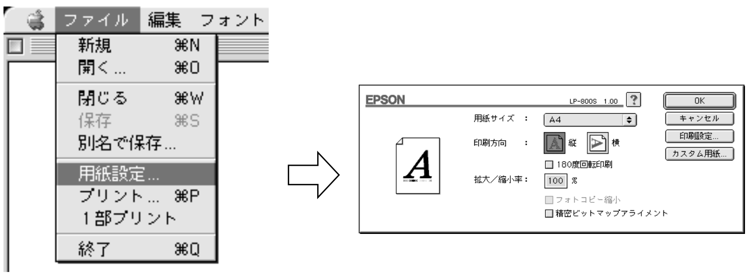
用紙設定をする前にセレクタでLP-800S用のプリンタドライバを選択してください。
☞「プリンタドライバの選択と設定」38 ページ

1 **［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。**



ダブルクリックします

2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。**



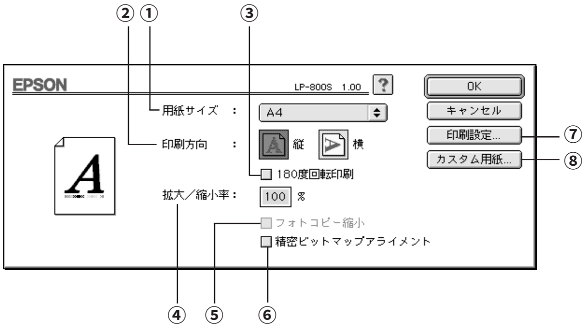
3 **必要な項目を設定します。**
設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
☞「［用紙設定］ダイアログ」115 ページ

4 **OK ボタンをクリックして終了します。**

5 **印刷データを作成します。**

[用紙設定]ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、[縦]、[横] のどちらかをクリックして選択します。

③180度回転印刷

用紙に対する印刷の向きを、上下逆にする場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

④拡大/縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。50%～200%の範囲で、1%単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

[拡大／縮小率] が100%未満の場合にクリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷できます。この場合、次の [精密ビットマップアライメント] は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約4%縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷できます。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

Mac

⑦ 印刷設定 ボタン

印刷に関する各種の設定が行えます。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞「［プリント］ダイアログ」119 ページ

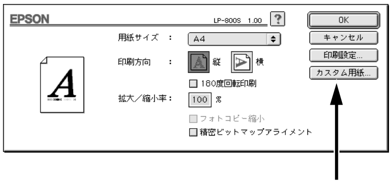
⑧ カスタム用紙 ボタン

クリックすると［カスタム用紙］ダイアログが表示され、用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

［カスタム用紙］ダイアログ

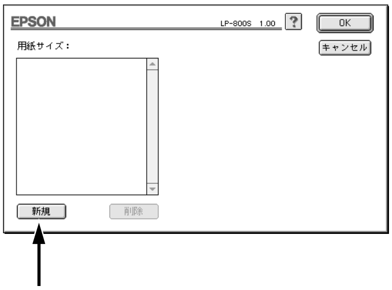
［用紙設定］ダイアログで カスタム用紙 ボタンをクリックすると、［カスタム用紙］ダイアログが表示されます。不定形のカスタム用紙サイズを設定したり変更できます。

1 **［用紙設定］ダイアログで カスタム用紙 ボタンをクリックします。**



クリックします

2 **新規 ボタンをクリックします。**
すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］一覧から変更したい用紙サイズを選択します。



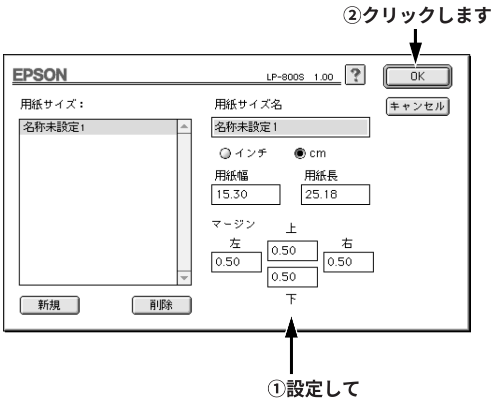
クリックします

ポイント
- **登録できる用紙サイズは、64 までです。**
- **用紙サイズ名をクリックしてから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。**

Mac

3 **用紙サイズ名、用紙サイズ、余白（マージン）を設定し、OKボタンをクリックします。**

- サイズ値を入力する前に、設定単位（[インチ] または [cm]）を選択します。
- 指定できるサイズの範囲は次の通りです。
  用紙幅　：9.01 ～ 21.59 cm（3.55 ～ 8.50 インチ）
  用紙長　：14.80 ～ 35.56cm（5.83 ～ 14.00 インチ）
  マージン：最小 0.50cm（最小 0.20 インチ）

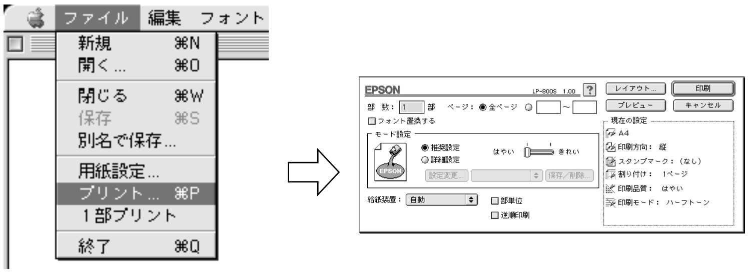


Macintoshでの印刷手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトウェアによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**



2 **印刷に必要な項目を設定します。**

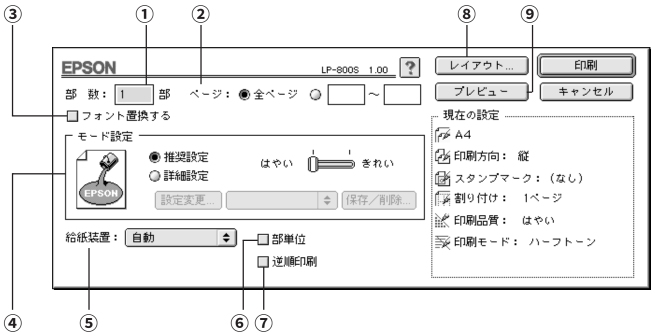
設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞「［プリント］ダイアログ」119 ページ

3 **印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

[プリント]ダイアログ

[プリント] ダイアログでは、印刷処理に関する基本的な項目を設定します。
印刷処理の詳細については、[詳細設定] ダイアログで設定します。
☞「[詳細設定] ダイアログ」122 ページ



①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の [部単位] を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は [全ページ] をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

③フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いの Macintosh に以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OS の CD-ROM よりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

④モード設定

印刷条件として［推奨設定］または［詳細設定］のどちらかを選択できます。

［推奨設定］をクリックしてチェックマークを付けた場合は、［はやい］（300DPI）または［きれい］（600DPI）どちらかの［印刷品質］（解像度）を選択できます。一般的に推奨できる以下の条件で印刷しますので、ほとんどの場合この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。設定の内容については、［詳細設定］ダイアログを参照してください。

［印刷品質］	：はやい（300DPI）、きれい（600DPI）どちらかを選択
［印刷モード］	：ハーフトーン
［RIT］	：オン
［トナーセーブ］	：オフ

［推奨設定］で希望の印刷結果が得られない場合は、［詳細設定］をクリックしてチェックマークを付け、詳細な印刷条件を設定します。設定変更 ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログを開くと、印刷条件を変更できます。

よく使う印刷条件は、保存 / 削除 ボタンをクリックして名前を付けて保存することができます。保存した印刷条件は、メニューから選択します。

☞「［詳細設定］ダイアログ」122 ページ

⑤給紙装置

どの給紙装置から給紙して印刷するかを選択します。本機では通常［用紙トレイ］から給紙します。オプションの給紙装置（ロアーカセット）を装着した場合は、［カセット］から給紙できます。

［自動］を選択した場合は、［用紙設定］ダイアログで設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。

⑥部単位

クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

⑦逆順印刷

クリックしてチェックマークを付けると、後ろのページから逆の順番で印刷します。

⑧ レイアウト ボタン

ボタンをクリックすると［レイアウト設定］ダイアログが表示され、［ページ選択］、［フィットページ］、［スタンプマーク］、［割り付け］が設定できます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞「［レイアウト］ダイアログ」125 ページ

⑨ プレビュー ボタン

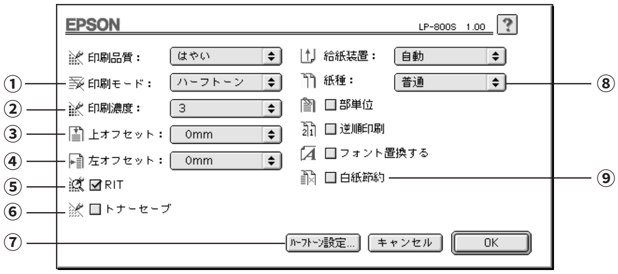
ボタンをクリックすると［プレビュー］ダイアログが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞「［プレビュー］ダイアログ」128 ページ

Mac

[詳細設定]ダイアログ

[プリント] ダイアログの [モード設定] で [詳細設定] をクリックして 設定変更 ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。



[印刷品質]、[給紙装置]、[部単位]、[逆順印刷]、[フォント置換する] は、[プリント] ダイアログでも設定できます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞「[プリント] ダイアログ」119 ページ

①印刷モード

グラフィックスイメージの処理条件を設定します。[ハーフトーン]と[PGI]を選択した場合は、⑦の ハーフトーン設定 / PGI 設定 ボタンをクリックしてさらに細かい印刷条件を設定できます。

白黒：モノクロ印刷を行います。グレイスケールや中間色は再現しません。

ハーフトーン：グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。イメージと図形などを重ねて印刷すると、モニタ表示と同じように印刷されない場合、[ハーフトーン]を選択してください。

PGI：PGI*1(Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGI を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

ポイント

- **プリンタのメモリが少ないと、PGI で印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300DPI) に設定してください。**
- **アプリケーションソフトウェアで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[ハーフトーン] や [PGI] を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は [白黒] に設定して印刷してください。**

② 印刷濃度

印刷濃度を調整できます。［1］に設定すると最も薄く、［5］に設定すると最も濃く印刷します。

③ 上オフセット

印刷開始位置の上オフセット値（垂直位置）を、-8mm（上方向）～8mm（下方向）の範囲で設定できます。

④ 左オフセット

印刷開始位置の左オフセット値（水平位置）を、-8mm（左方向）～8mm（右方向）の範囲で設定できます。

⑤ RIT

クリックしてチェックマークをつけると、RIT[*1](Resolution Improvement Technology)機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

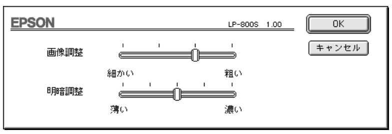
> ポイント
> **RIT機能を有効にしてグラデーション(無段階に階調が変化する画像)を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。**

⑥ トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

⑦ ハーフトーン設定 / PGI設定 ボタン

ボタン名は［印刷モード］の設定によって変わります。［印刷モード］を［ハーフトーン］または［PGI］に設定した場合、ハーフトーン設定 または PGI設定 ボタンをクリックしてさらに細かい印刷条件を設定できます。



画像調整　：画像の粗密を、［細かい］から［粗い］の間で4段階に調整できます。

明暗調整　：画像の明暗を、［薄い］から［濃い］の間で5段階に調整できます。

⑧紙種

厚紙・OHPシートなどへの印刷を行う場合に、用紙の種類を設定します。通常は［普通］を選択してください。

普通	：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。
厚紙（大）	：用紙の横幅が188mm以上の厚紙（A4、レター）を使用する場合に選択します。
厚紙（小）	：用紙の横幅が188mm未満の厚紙（A5、B5、HLT、EXE、封筒、往復ハガキなど）を使用する場合に選択します。
OHPシート	：OHPシートを使用する場合に選択します。

ポイント **［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。**

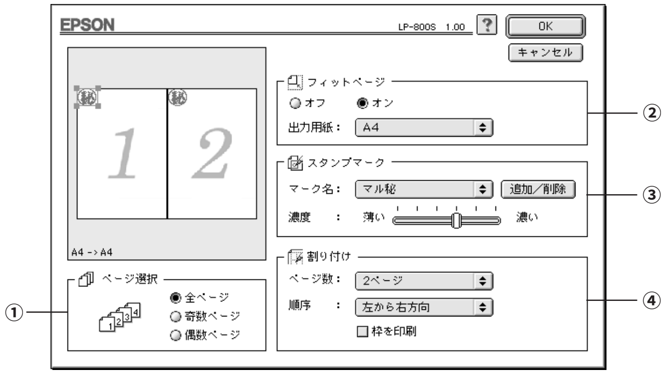
⑨白紙節約

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

Mac

[レイアウト]ダイアログ

[プリント] ダイアログで レイアウト ボタンをクリックすると、[レイアウト] ダイアログが表示されます。



①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小（フィットページ）印刷するには、[オン] をクリックして [出力用紙] メニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択します。印刷を実行すると自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

ポイント

- **[用紙設定] ダイアログで設定した [拡大/縮小率] は、同じ [用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] に対して有効です。**
- **[用紙設定] ダイアログで、A3、B4、Ledgerを選択し、[プリンタ] ダイアログを開くと、強制的に排紙できる用紙サイズにフィットページを行います。**

③スタンプマーク

印刷データに ㊙ などのイメージを重ね合わせて印刷するには、[マーク名] リストからスタンプマークを選択します。スタンプマークを印刷しない場合は、リストから [(なし)] を選択します。

スタンプマークの印刷濃度は、[濃度] バーで調整します。バーを [薄い] 側に移動するとより薄く、[濃い] 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

オリジナルのスタンプマークを追加したり削除するには、追加／削除 ボタンをクリックします。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、PICT[*1]形式で保存しておきます。登録/削除の手順については、以下のページを参照してください。
☞「オリジナルのスタンプマークを登録 / 削除するには」127 ページ

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

④割り付け

2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

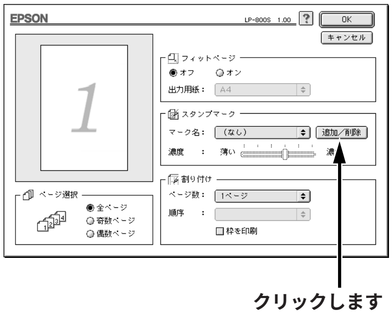
ページ数	：1 ページに割り付けるページ数を選択します。
順序	：割り付けた面(ページ)を、どのような順番で配置するのか選択します。面数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。
枠を印刷	：クリックしてチェックマークを付ける、割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

ポイント **割り付け印刷を行わない場合は、[ページ数] リストから [1ページ] を選択します。**

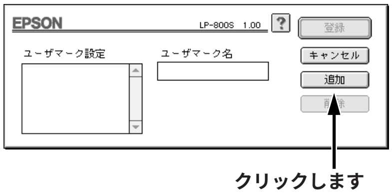
オリジナルのスタンプマークを登録/削除するには

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、追加/削除 ボタンをクリックします。

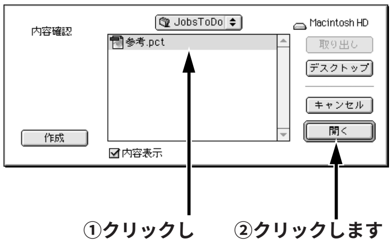


3 追加 ボタンをクリックします。

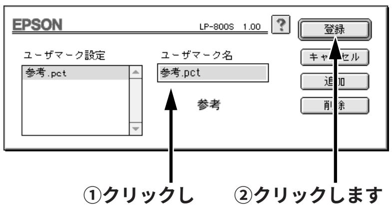


4 保存したPICTファイルを選択し、開く ボタンをクリックします。

作成 ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

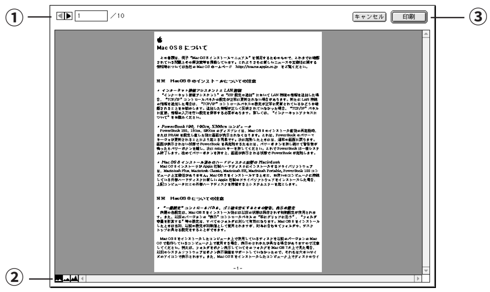


5 ［ユーザーマーク名］を入力して、登録 ボタンをクリックします。



[プレビュー]ダイアログ

［プリント］ダイアログで プレビュー ボタンをクリックすると、［プレビュー］ダイアログが表示されます。



［プレビュー］ダイアログの表示については、次の制限があります。

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180度回転印刷］を設定しても、ページを180度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

①プレビューするページを切り替えるボタン


：表示するページを1ページごとに切り替えるボタンです。

2 ／10 ：表示させるページ番号を直接入力します。

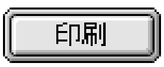
②表示サイズを切り替えるボタン


：印刷データ（1ページ単位）の全体を表示します。


：印刷結果と同等のサイズで表示します。


：印刷データを拡大して表示します。

③その他のボタン



：印刷を開始するボタンです。



：［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。

EPSONプリンタウィンドウ!3

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態を監視（モニタ）するユーティリティで、プリンタドライバと一緒にインストールされます。印刷の状態だけでなく消耗品に関する情報を表示したり、発生したエラーを通知することもできます。

EPSONプリンタウィンドウ!3の起動と終了

特定の状況でEPSON プリンタウィンドウ!3 は自動的に起動して、［詳細表示］ウィンドウを表示します。

> **ポイント** **EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動するには、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。**

また、［アップル］メニューに作成された［EPSON プリンタウィンドウ!3］のエイリアス[*1]を選択して手動で起動し、［詳細表示］ウィンドウを直接開くこともできます。

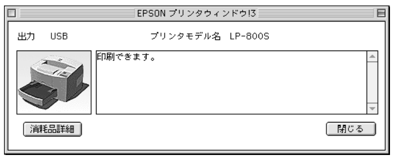
*1 エイリアス：デスクトップ上やメニュー内など好きな場所から、アプリケーションソフトを起動することができるアイコンや機能。Windowsではショートカットと呼ばれる。

1 **［アップル］メニューから［EPSONプリンタウィンドウ!3］をクリックします。**
EPSONプリンタウィンドウ!3が起動し、［詳細表示］ウィンドウが表示されます。

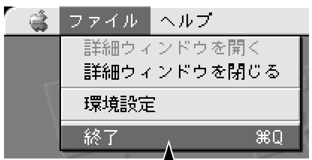


クリックします

2 **プリンタの状況を確認します。**
☞「［詳細表示］ウィンドウ」130 ページ



3 **［ファイル］メニューから［終了］をクリックすると、EPSONプリンタウィンドウ!3が終了します。**



クリックします

> **ポイント** **EPSONプリンタウィンドウ!3の［ファイル］メニューから、［詳細表示］、［環境設定］の各ウィンドウを開いたり閉じたりできます。**

[詳細表示]ウィンドウ

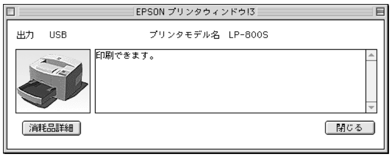
［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ!3］を選択すると、［詳細表示］ウィンドウが開きます。また、EPSONプリンタウィンドウ!3の［ファイル］メニューから［詳細ウィンドウを開く］をクリッして開くこともできます。

［詳細表示］ウィンドウは、現在のプリンタの状態を詳しく表示します。ウィンドウ左側の 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［詳細表示］ウィンドウが伸びて消耗品詳細情報を表示します。

ウィンドウを閉じるには、閉じる ボタンをクリックします。

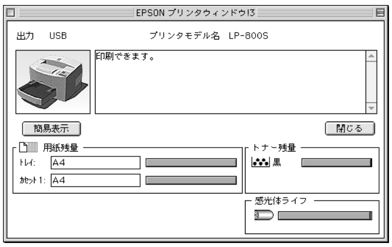
ステータス詳細

［詳細表示］ウィンドウでは、現在のプリンタの状態を詳しく確認できます。



消耗品詳細

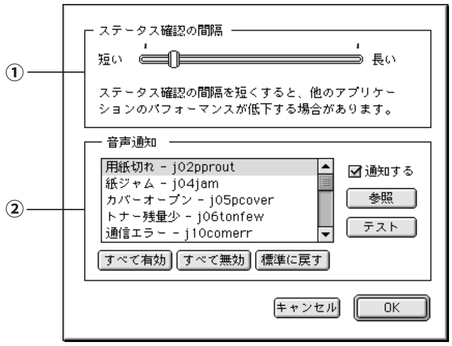
［詳細表示］ウィンドウの 消耗品詳細 ボタンをクリックすると、各給紙装置の用紙残量、ET カートリッジのトナー残量、そして感光体ユニットの寿命（ライフ）の目安を確認できます。



簡易表示 ボタンをクリックすることで、消耗品詳細の表示を終了します。

[環境設定] ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[環境設定] ウィンドウが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。



① ステータス確認の間隔

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、一定の時間（標準では 10 秒）ごとにプリンタの状態（ステータス）を監視します。このステータスを確認する間隔を、[短い]（約 2 秒）から [長い]（約 60 秒）の間で設定します。

> ポイント
> **[ステータス確認の間隔] を [短い] に近く設定すればするほど、EPSON プリンタウィンドウ!3がプリンタの状態を監視する回数がより多くなり、ほかのアプリケーションの動作が遅くなる場合があります。このような場合は、[長い] 側へ設定を変更してください。**

② 音声通知

プリンタの状態に変化があった場合に音声で通知するかどうかを、その状態ごとに設定できます。音声通知は、サウンド機能を持つ Macintosh でのみ利用できます。

リストから状態を選択したら、次のいずれかをクリックします。

通知する	：クリックしてチェックマークを付けると、選択した状態で音声通知を行います。チェックマークを外すと、音声通知を行いません。
参照 ボタン	：音声ファイルを特定できます。
テスト ボタン	：音声を確認できます。

すべて有効 、すべて無効 、標準に戻す ボタンをクリックすると、リストのすべての状態に対して一度に設定を変更できます。

EPSONプリントモニタ!4

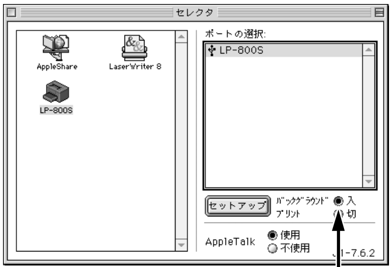
EPSONプリントモニタ!4は、Macintoshでバックグラウンドプリントを行うためのユーティリティです。このユーティリティは、プリンタドライバと同時にインストールされ、バックグラウンドプリントを実行すると自動的に起動します。

Mac

バックグラウンドプリントを行うには

バックグラウンドプリントとは、Macintoshがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。Macintoshツールバー一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

USB ケーブル接続の場合



クリックします

EPSON Link3 接続の場合



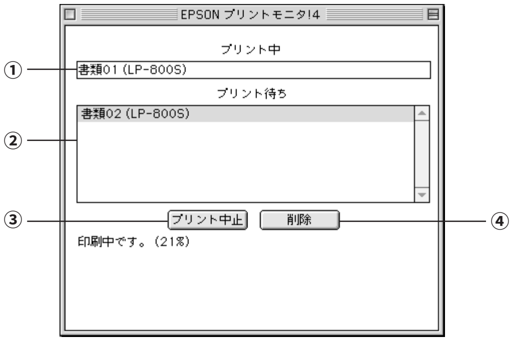
クリックします

> **ポイント** ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もMacintoshで他の作業ができますが、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ!4 が使用できます。

EPSON プリントモニタ!4 は、印刷中にツールバー一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。



①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③ プリント中止 ボタン

進行中の印刷を中止するには、［プリント中］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、プリント中止 ボタンをクリックします。

> ポイント
> **印刷を一時停止したり再開するには、EPSONプリントモニタ!4の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。**

④ 削除 ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、削除 ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

Mac

コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。

1 **コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（ .）キーを押して、進行中の印刷を強制的に終了します。**

アプリケーションソフトによっては印刷中に［印刷］ダイアログを表示するものもあります。キャンセル ボタンをクリックして印刷を強制的に終了できます。

2 **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSONプリントモニタ!4 を開いて印刷状況を確かめます。**

☞「EPSON プリントモニタ!4」132 ページ

3 **EPSONプリントモニタ!4で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。**

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

プリンタドライバの削除

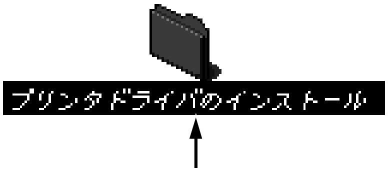
何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバをまず削除（アンインストール）する必要があります。

Mac

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了します。**

2 **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをMacintoshにセットします。**

3 **[プリンタドライバのインストール] フォルダをダブルクリックして開きます。**



ダブルクリックします

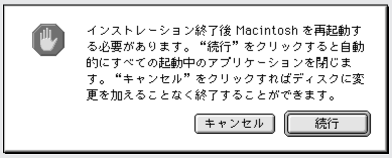
4 **[LP-800Sインストーラ]アイコンをダブルクリックします。**



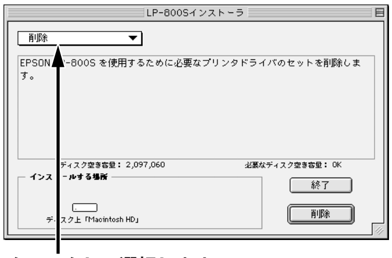
ダブルクリックします

ポイント

- **以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して[続行]ボタンをクリックします。**
- **アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、[キャンセル]ボタンをクリックして作業を中断し、アプリケーションソフトを終了してから、作業をやり直します。**

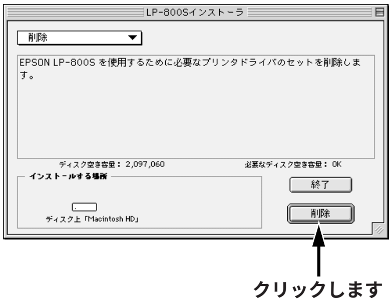


5 **インストーラの画面左上にあるメニューから [削除] を選択します。**

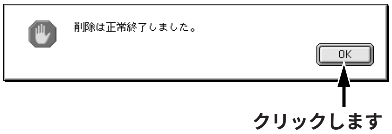


クリックして選択します

6 **削除 ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの削除が始まります。



7 **OK ボタンをクリックします。**



8 **終了 ボタンをクリックします。**
これでプリンタドライバの削除は終了です。



第7章

オプションと消耗品について

LP-800S

Options & Consumables

ここでは、オプションと消耗品について説明しています。

オプションと消耗品の紹介

本機でご利用できるオプションと消耗品を紹介します。

接続ケーブルについては、以下のページを参照してください。
☞「コンピュータとの接続」14 ページ
使用できる用紙については、以下のページを参照してくだい。
☞「用紙について」43 ページ

EPSON Link3

プリンタのパラレルインターフェイスコネクタと Macintosh のシリアルインターフェイスコネクタを接続するオプションです。

型番	名称	解説
ELINK3	EPSON Link3	シリアル / パラレル交換アダプタ

ロアーカセット

プリンタの下に取り付けるオプションの用紙カセットユニットです。A4 サイズ専用で最大 500 枚セットできます。

型番	商品名	備考
LPA4LC3	ロアーカセット	使用できる用紙サイズ： A4

フェイスアップトレイ

本機の背面に装着して、プリンタ上面後部の排紙経路から排紙された用紙を上向きの状態で保持するためのトレイです。20 枚（普通紙）保持できます。

型　番	商品名
LPA4FUT1	フェイスアップトレイ

ETカートリッジ

印刷用トナーが入ったカートリッジです。
☞「ET カートリッジの交換」148 ページ

型　番	商品名
LPA4ETC3	ET カートリッジ

感光体ユニット

ドラムの感光部分にトナーを付着させ、印刷情報を形成するユニットです。
☞「感光体ユニットの交換」152 ページ

型　番	商品名
LPA4KUT3	感光体ユニット

増設メモリ

本機は、市販のSIMM を使用することにより、最大13MByteまで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、ホストコンピュータを早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。
☞「増設メモリの取り付け」141 ページ

使用できる SIMM の種類は以下の通りです。

- EDO モードタイプ（高速ページモードタイプは使用できません）
- 4、8、16、32MByte
  （16MByte以上のメモリを増設しても、使用できるのは13MByteまでです）
- 72 ピンで 60ns 以下のもの

ポイント

- **増設できる SIMM は 1 枚のみです。**
- **使用できるSIMM の詳細については、エプソンインフォメーションセンターに必ずお問い合わせください。**

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

お申し込み方法

巻末の「FAX注文書」をコピーし、必要事項をご記入のうえＦＡＸにてご注文ください。また、お電話・インターネット・ニフティでのご注文もお受けしております。

エプソンOAサプライ株式会社
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-5-12 タカラビル2F

ファックス番号	：0120-55-7765（フリーダイヤルFAX）
	：03-3258-7690
ご注文電話番号	：0120-25-1528（フリーダイヤル）
	：03-3255-1528
インターネットURLアドレス	：http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home
NIFTY-SERVE GOコマンド	：EPSONOAS

※電話番号のお間違いにご注意ください。また、消耗品、オプション、マニュアル以外のお問い合わせにはお答えしかねる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

お届け方法

宅配便の代金引き換えにてお届けしております。
※商品がお手元に配達された時、その配達員にお代金を現金にてお支払いいただくシステムです。

お支払い方法

代金引き換え（商品引き換え払い）でお願いいたします。
※一部地域によって代金引き換えが不可能な場合等は、別途ご相談させていただきます。

料金システム

- 商品合計金額が１万円未満の場合………商品代金＋消費税＋送料

※送料は代引手数料、消費税を含み、全国一律1050円です。

- 商品合計金額が１万円以上の場合………商品代金＋消費税のみ

※配送は国内に限らせていただきます。

なお、ご注文いただいた商品の在庫が無い場合は、メーカーよりの取り寄せとなり、納品までにお時間がかかる場合がございます。
また、メーカーにて完売となりました商品につきましては、お取り寄せができませんので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

増設メモリの取り付け

ここでは、増設メモリの取り付け方法について説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

> **注意**
> **増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。**

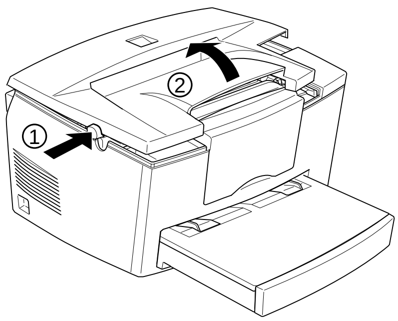
本機にメモリを増設した場合の最大有効メモリ容量は、13MByte です。

1 プリンタの電源をオフにします。

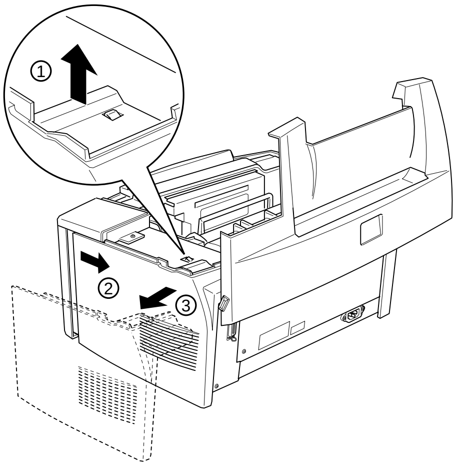
電源ケーブルとインターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。

> **⚠ 注意**
> - **作業の際には、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを必ずプリンタから取り外してください。**
> - **インターフェイスケーブルをプリンタから取り外す際には、必ずコンピュータの電源もオフにしてから取り外してください。**

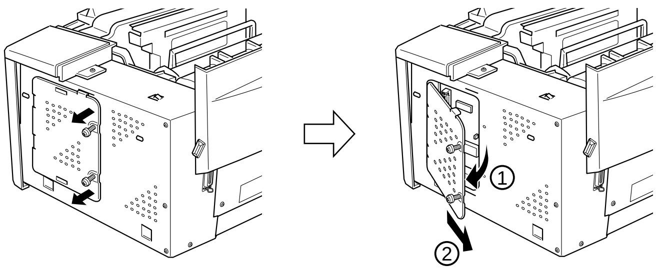
2 ラッチを押して、上カバーを開けます。



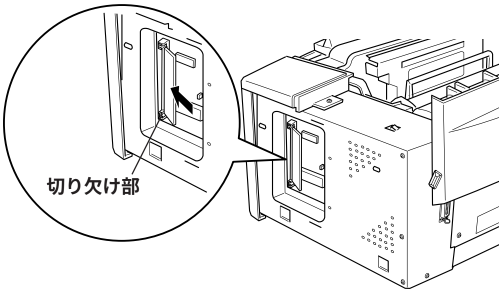
3 **プリンタ背面から見て左側のカバーを外します。**
下図①のつまみを引き上げ、②の方向にスライドさせた後、③の方向に倒すと、カバーが外れます。



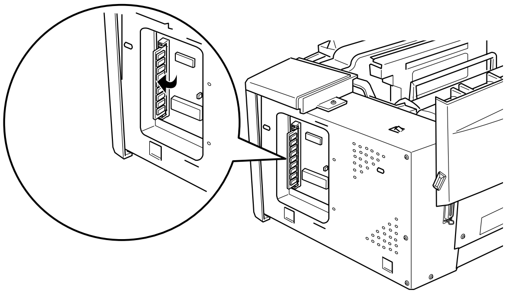
4 **金属のカバーを取り外します。**
プラスドライバを使用して止めネジ（2 本）を外し、カバーを手前に外します。



5 **増設メモリの隅が欠けている部分を下に向け、右方向から傾けてソケットに差し込みます。**

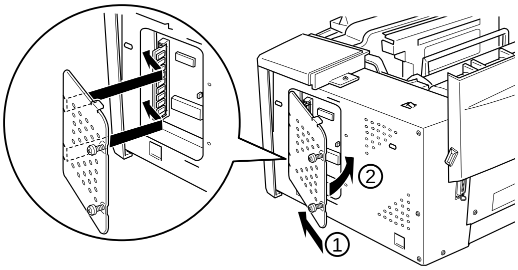


6 増設メモリの両端を持ち、図の矢印の方向に起こして固定します。



7 金属のカバーを取り付け、ネジで固定します。

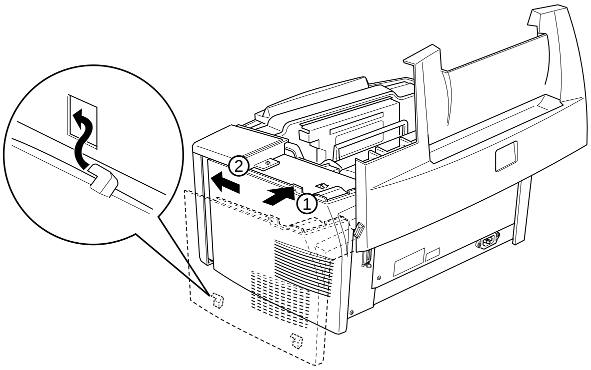
カバー左側のつめを本体部分に引っかけてから､カバーを取り付けます。
2 本のネジでカバーを固定します。



> 注意
> **増設メモリは確実にセットしてください。装着が不完全な場合、電源スイッチをオンにしても電源が入らないなどの不具合の原因となります。**

8 プリンタ左側のカバーを取り付けます。

①左カバー下側のつめを、図のように穴に差し込みます。
②左カバーを図の方向にスライドさせ、左カバー上側の四角い穴に本体のボタンをはめ込むと同時に､左カバーを前面カバーに差し込みます。



9 **上カバーを閉じます。**
カチッと音がするまで押し込みます。

10 **インターフェイスケーブルと電源ケーブルをプリンタに取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。**

ポイント

- **WIndowsの場合は、プリンタドライバでオプションを認識させてください。**
  ☞「オプション装着後の設定（Windows）」145 ページ
- **プリンタが増設メモリを正しく認識しているか確認するため、ステータスシートを印刷して確かめることもできます。**
  ☞Windows 「ステータスシートの印刷」34 ページ
  Macintosh「ステータスシートの印刷」42 ページ

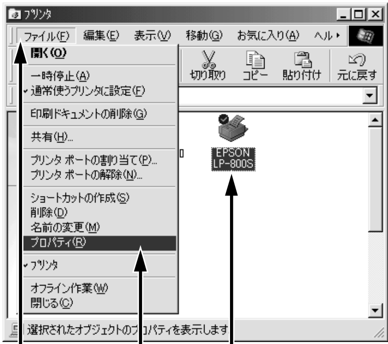
オプション装着後の設定（Windows）

メモリや給紙装置などのオプションを新たに装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。オプションを装着していない場合や Macintosh をお使いの場合は、設定の必要はありません。

> **ポイント**
> - **WindowsNT4.0 の場合、管理者権限（Administrator）のあるユーザでログオンする必要があります。**
> - **プリンタの電源がオンになっていることを確認して起動してください。プリンタのオプションやセットされている用紙などの情報を自動的に取得します。**

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-800Sのアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。



②クリックして　③クリックします　①クリックし

3 **［環境設定］タブをクリックし、プリンタオプション情報欄に装着したオプションが表示されていること確認して OK ボタンをクリックします。**



①クリックして　②確認して　③クリックします

第8章
メンテナンスの仕方

LP-800S
Maintenance

ここでは、メンテナンス方法について説明しています。

ETカートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ETカートリッジの交換時期

1つのETカートリッジで約3,000枚（A4、画占率5%）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお薦めします。

EPSONプリンタウィンドウ!3は、トナー残量の目安を表示できます。あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお薦めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージを表示しますので、新しいETカートリッジと交換することをお薦めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しいETカートリッジと交換してください。

☞ Windows　「EPSON プリンタウィンドウ!3」73 ページ
Macintosh 「EPSON プリンタウィンドウ!3」129 ページ

ETカートリッジ交換時のご注意

- 本機専用の純正ETカートリッジ（型番：LPA4ETC3）を使用してください。
- 交換後は必ずトナー残量カウンタをリセットしてください。トナー残量カウンタをリセットしない場合、正確なトナー残量の検出ができないため、エラーが発生する場合があります。

注意
寒い場所から暖かい場所にETカートリッジを移動した場合は、室温に慣らすため1時間以上待ってから作業を行ってください。

⚠注意

- **トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。**
- **交換作業中は、プリンタ内部のETカートリッジ以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こる恐れがあります。**
- **使用済みのETカートリッジは、火の中に入れないでください。トナーが飛散って発火し、火傷をする恐れがあります。**

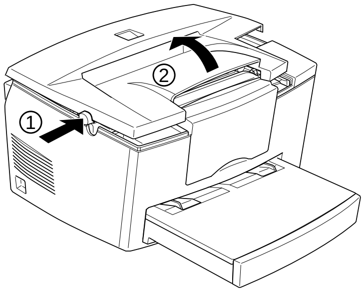
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力いただきますようお願い申しあげます。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

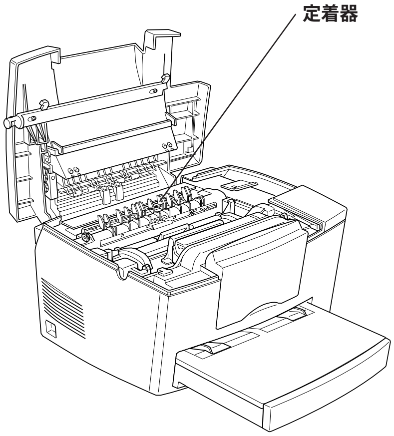
ETカートリッジの交換方法

1 **プリンタの電源をオフにしてから、ラッチを押して上カバーを持ち上げます。**



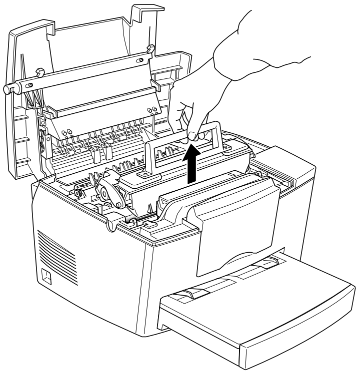
⚠ 注意

プリンタ内部の定着器部分には絶対に手を触れないようご注意ください。高温のため火傷をするおそれがあります。



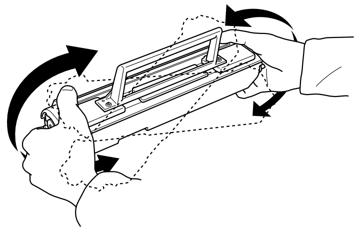
2 **使用済みのETカートリッジを取り外します。**

取っ手を持ち、使用済みのＥＴカートリッジを引き上げます。

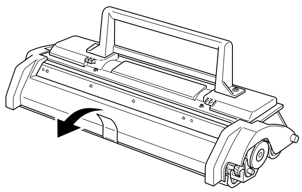


3 **新しいETカートリッジをよく振ります。**

ETカートリッジの箱を開け、梱包袋から取り出します。取り出したカートリッジを図の向きに7～8回振ります。



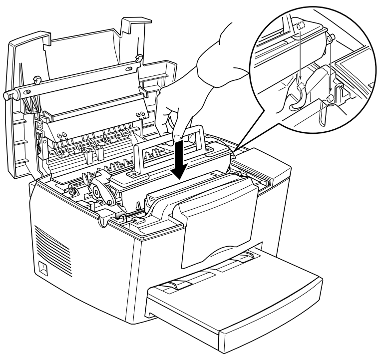
4 **テープをはがします。**



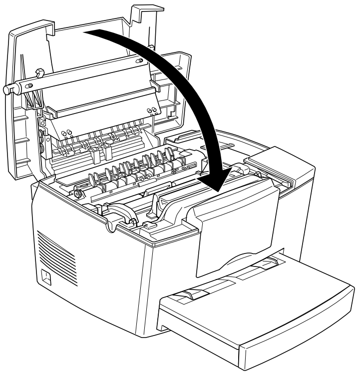
5 **ETカートリッジをセットします。**

①カートリッジ上面のラベルの色とプリンタに貼られているラベルの色を合わせます。

②両側のガイドを合わせせながら底に突き当たるまで確実にセットします。



6 **上カバーを閉じます。**
上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。



7 **プリンタの電源をオンにし、トナー残量カウンタをリセットします。**

- Windowsの場合は、次のどちらかの方法でカウンタをリセットします。

[方法 1]

EPSONプリンタウィンドウ!3がワーニングメッセージを表示した場合は、[プリンタ詳細] ウィンドウの トナー残量リセット ボタンをクリックします。

☞「EPSON プリンタウィンドウ!3」73 ページ

[方法 2]

プリンタドライバからリセットするには、次の手順に従います。

☞「[プリンタ設定] ダイアログ」67 ページ

> **WindowsNT4.0 の場合は、管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンする必要があります。**

① プリンタの [環境設定] プロパティを開き、プリンタ設定 ボタンをクリックします。
② [プリンタ設定]ダイアログが現れたら、トナー残量リセット ボタンをクリックします。

- Macintoshの場合は、次のどちらかの方法でカウンタをリセットします。

[方法 1]

EPSONプリンタウィンドウ!3がワーニングメッセージを表示した場合は、[消耗品詳細] ウィンドウの トナー残量リセット ボタンをクリックします。

☞「EPSON プリンタウィンドウ!3」129 ページ

[方法 2]

☞「プリンタドライバの選択と設定」38 ページ

① [アップル] メニューの [セレクタ] を開きます。
② プリンタを選択して セットアップ ボタンをクリックします。
③ プリンタ設定 ボタンをクリックしてダイアログを開きます。
④ トナー残量リセット ボタンをクリックします。

感光体ユニットの交換

感光体ユニットの寿命（感光体ライフ）について

1つの感光体ユニットで、通常の使用状況なら約20,000枚（A4）まで印刷できます。ただし、使用状況により感光体ライフ（寿命）は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお薦めします。

EPSONプリンタウィンドウ!3は、感光体ライフの目安を表示できます。あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお薦めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しい感光体ユニットと交換してください。

☞ Windows 「EPSONプリンタウィンドウ!3」73ページ
Macintosh 「EPSONプリンタウィンドウ!3」129ページ

感光体ユニットを交換する前に

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、ETカートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の2点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

- ETカートリッジのトナー残量をEPSONプリンタウィンドウ!3で確認します。トナーが十分残っているか確かめてください。
  ☞ Windows 「EPSONプリンタウィンドウ!3」73ページ
  Macintosh 「EPSONプリンタウィンドウ!3」129ページ
- 印刷が薄い場合は、印刷濃度を高めに調整してみてください。
  ☞ Windows 「［拡張設定］ダイアログ」69ページ
  Macintosh 「［詳細設定］ダイアログ」122ページ

感光体ユニット交換時のご注意

- 本機専用の純正感光体ユニット（型番：LPA4KUT3）を使用してください。
- 交換後は必ず感光体ライフカウンタをリセットしてください。感光体ライフカウンタをリセットしない場合、正確な感光体ライフ残量の検出ができません。

注意

- **寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため 1 時間以上待ってから作業を行ってください。**
- **感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。**
- **感光体ユニットのドラム保護シャッタには触らないでください。また、ドラム保護シャッタ内部の感光ドラム（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。**

⚠ 注意

- **交換作業中は、プリンタ内部のETカートリッジと感光体ユニット以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。**
- **感光体ユニット交換時に取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。**

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

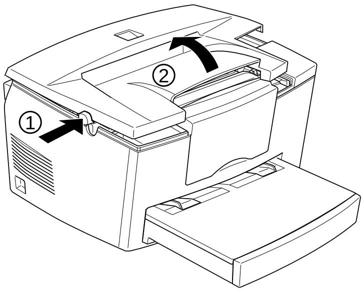
資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力いただきますようお願い申しあげます。使用済み感光体ユニットの回収方法については、新しい感光体ユニットに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

感光体ユニットの交換方法

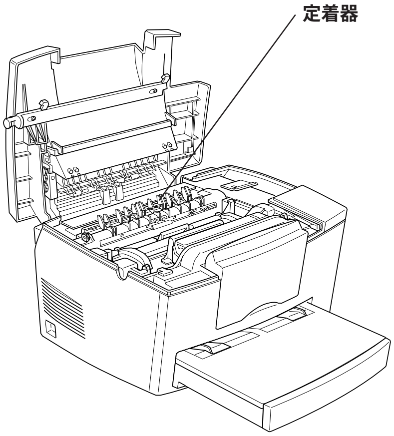
注意
感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。

1 プリンタの電源をオフにしてから、ラッチを押して上カバーを持ち上げます。



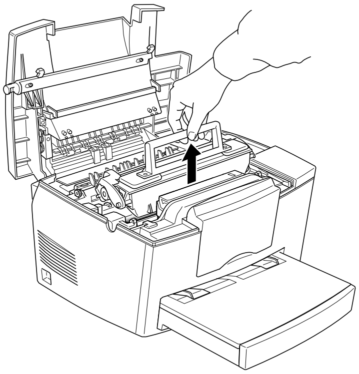
⚠ 注意

- プリンタ内部の定着器部分には絶対に手を触れないようにご注意ください。高温のため火傷をするおそれがあります。
- プリンタ内部の定着器以外の部分にも手を触れないようにご注意ください。印刷品質が劣化するおそれがあります。



2 **ETカートリッジを取り外します。**

取っ手を持って、ET カートリッジを引き上げます。

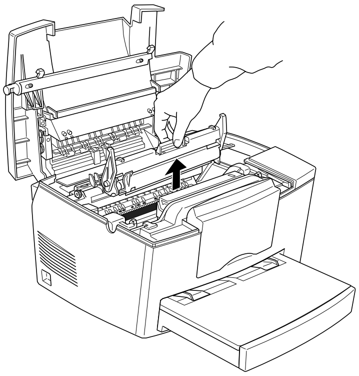


注 意

取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

3 **使用済みの感光体ユニットを取り外します。**

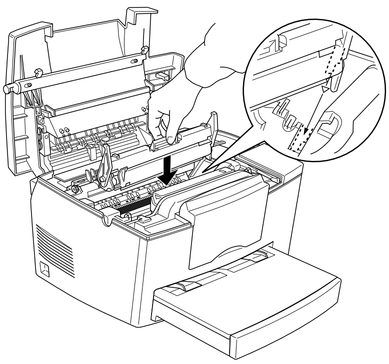
取っ手を持ち、感光体ユニットを引き上げます。



4 **新しい感光体ユニットをパッケージから取り出し、プリンタにセットします。**

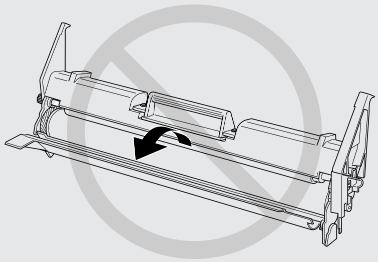
①ユニット上面のラベルの色とプリンタに貼られているラベルの色を合わせます。

②感光体ユニットの両側にある突起を、プリンタの溝に合わせて、一番奥まで押し込みます。



注意

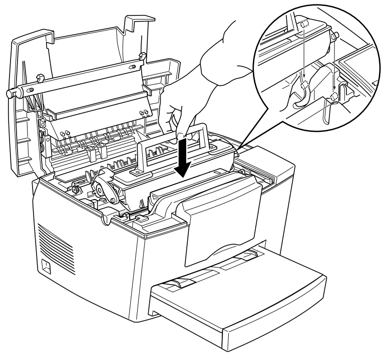
感光体ユニットのドラム保護シャッタには触らないでください。また、ドラム保護シャッタ内部の感光ドラム（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。



5 **ETカートリッジをセットします。**

①カートリッジ上面のラベルの色とプリンタに貼られているラベルの色を合わせます。

②両側のガイドを合わせながら底に当たるまで確実にセットします。



6 **上カバーを閉じます。**

上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。

7 **プリンタの電源をオンにし、感光体ライフのカウンタをリセットします。**

- Windows の場合は、プリンタドライバからカウンタをリセットします。
  ☞「［プリンタ設定］ダイアログ」67 ページ

WindowsNT4.0 の場合は、管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンする必要があります。

① プリンタの［環境設定］プロパティを開き、プリンタ設定 ボタンをクリックします。

② ［プリンタ設定］ダイアログが現れたら、感光体ライフリセット ボタンをクリックします。

- Macintoshの場合は、プリンタドライバからカウンタをリセットします。
  ☞「プリンタドライバの選択と設定」38 ページ

① ［アップル］メニューの［セレクタ］を開きます。

② プリンタを選択して セットアップ ボタンをクリックします。

③ プリンタ設定 ボタンをクリックしてダイアログを開きます。

④ 感光体ライフリセット ボタンをクリックします。

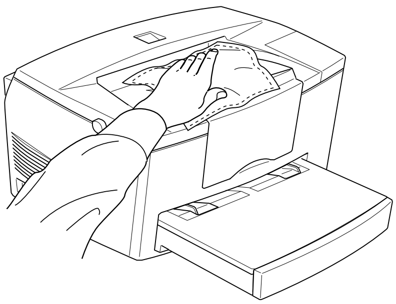
プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

ポイント

- プリンタの清掃は、電源をオフにしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

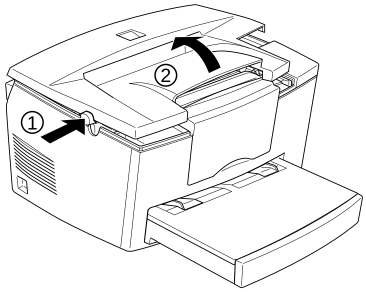
プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。



給紙ローラのクリーニング

絵入りハガキなどに使用されている絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し、給紙できなくなることがあります。用紙トレイから給紙できなくなった場合は、以下の手順に従って水を含ませて固くしぼった布で給紙ローラをていねいに拭いてください。

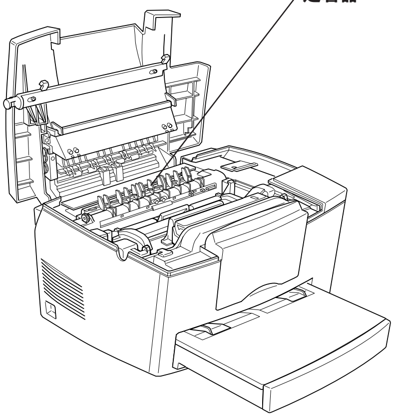
1 **プリンタの電源をオフにしてから、ラッチを押して上カバーを持ち上げます。**



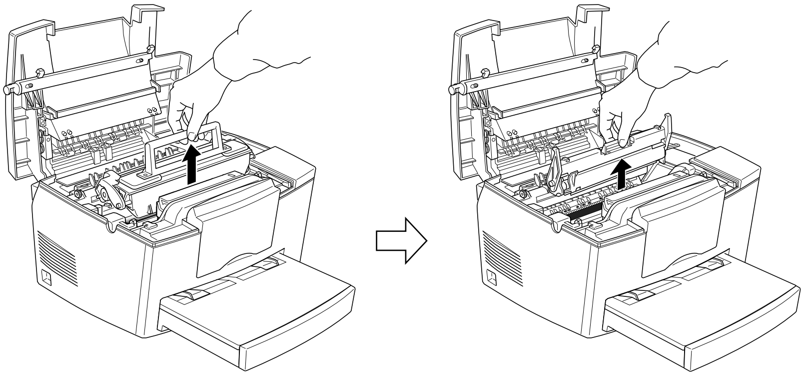
ポイント **電源をオフにした直後は、プリンタ内部の定着器が高温の場合があります。しばらく待ってから手順 2 に進んでください。**

注意

- **プリンタ内部の定着器部分には絶対に手を触れないようにご注意ください。高温のため火傷をするおそれがあります。**
- **プリンタ内部の定着器以外の部分にも手を触れないようにご注意ください。印刷品質が劣化するおそれがあります。**



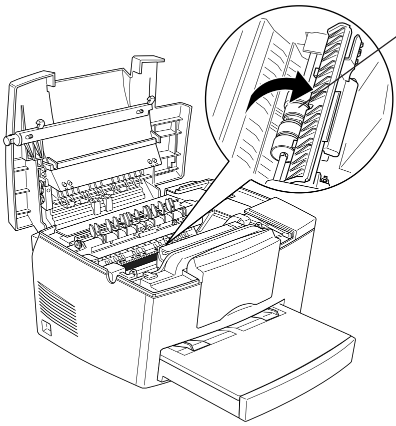
2 **ETカートリッジと感光体ユニットを取り出します。**



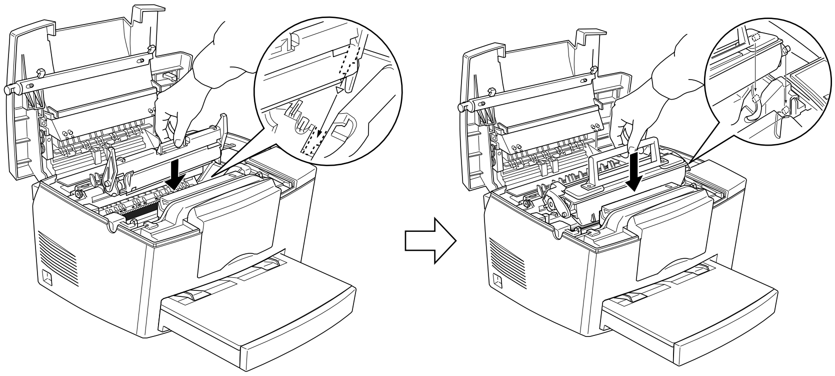
注 意

取り出したETカートリッジは、トナーがこぼれないように水平に置いてください。

3 **給紙ローラのカバーを持ち上げ、水を含ませて固くしぼった布で給紙ローラをていねいに拭きます。**



4 感光体ユニットと ET カートリッジを取り付けます。



5 上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。

プリンタの運搬

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

> **⚠ 注意**
>
> **プリンタの正面から見て右側のカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。右側のカバーは取り外しができる構造となっているため、確実に取り付けられていないと、持ち上げ時に外れてプリンタ本体が落下し、けがなどの原因となります。**

近くへ移動するときは

プリンタを設置していた机を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、付属品をすべて取り外す必要はありません。以下の部品のみを取り外して、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

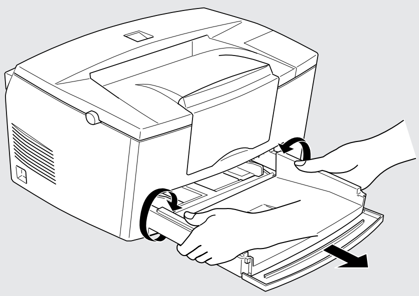
- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- オプションのロアーカセット（装着時のみ）

遠くへ運搬するときは

プリンタを遠くへ運搬するときは、取り付けてある付属品などをすべて外し、もう一度梱包してください。以下のものが取り付けられている場合は、取り外してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ
- オプションのロアーカセット（装着時のみ）

> ポイント
>
> **用紙トレイを取り外す場合は、以下の手順に従ってください。**
> **①用紙トレイカバーを取り外し、手前のカバーを開けます。**
> **②用紙トレイの両側をしっかりと持ちます。**
> **③内側にねじるようにして、手前に引き抜きます。**



輸送上の注意

ページプリンタは精密機械です。プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 使用中 / 使用済みの ET カートリッジは、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
- ET カートリッジは斜めや逆さまにして置かないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用してください。

第9章

困ったときは

LP-800S Troubleshooting

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらまず、以下の項目をチェックしてください。それでも症状が改善されない場合は、それぞれのお問い合せ先へご連絡ください。

チェック項目

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選びそれぞれのページをご覧ください。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

ステータス情報を画面表示します。
プリンタのステータス（状態）が取得されているかを画面に表示させて確認します。
☞ Windows 「環境設定」66 ページ
Macintosh「［詳細表示］ウィンドウ」130 ページ

画面表示できない

以下の項目をチェックしてください。
- コンピュータ：双方向通信に対応していますか？
- 接続ケーブル：仕様に合ったケーブルですか？
  ☞「コンピュータとの接続」14 ページ
- システム条件：条件を満たしていますか？
  ☞ Windows 「システム条件の確認」22 ページ
  Macintosh「システム条件の確認」35 ページ
- プリンタドライバの設定（Windows）：
  双方向通信が可能な状態に設定されていますか？
  ☞「スプールの設定」33 ページ

問題あり

仕様に適合した環境に設定してください。

問題なし

以下のページを参照して、いずれかの方法でステータス情報が取得できるかを確認してください。
☞「ステータス情報が取得できない」172 ページ

取得できない → プリンタ本体のトラブルです。

取得できる → ステータスシートを印刷します。

画面表示できる

ステータスシートを印刷します。
☞ Windows「ステータスシートの印刷」34 ページ
Macintosh「ステータスシートの印刷」42 ページ

印刷できない

プリンタ本体のトラブルです。

↓

お買求めいただいた販売店、またはお近くの EPSON フィールドセンターへご相談ください。ご相談先は、裏表紙に記載されています。

印刷できる

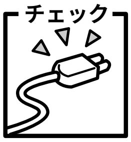
正常に印刷できた場合は、お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。

↓

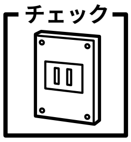
EPSON インフォメーションセンターへご相談ください。ご相談先は、裏表紙に記載されています。

ポイント **お問い合せの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。**

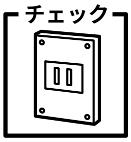
電源が入らない



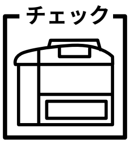
電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？
電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。



電源コンセントに問題があることがあります。
コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。



正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。



増設メモリを正しく装着しましたか？
増設メモリが正しく装着されていないと電源が入らないことがあります。装着状態を確認してください。

以上の4点を確認の上で電源スイッチをオンにしても電源ランプが点灯しない場合は、お買求めいただいた販売店、またはお近くのエプソンフィールドセンターへご相談ください。
＊フィールドセンターへのご相談先は裏表紙にあります。



USBケーブル接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

チェック

お使いのコンピュータはWindows98 プレインストールマシンですか？

Windows95 から 98 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

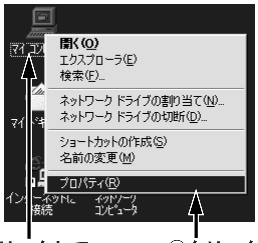
☞「OS およびコンピュータの条件」16 ページ

チェック

［デバイスマネージャ］に［不明なデバイス］として本機のドライバが登録されていませんか？

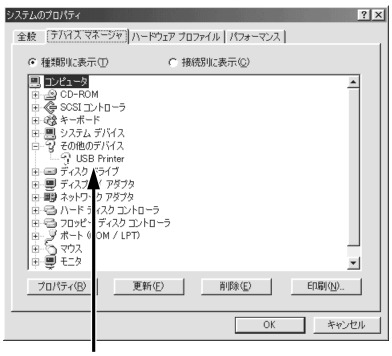
プラグアンドプレイによるインストールを実行中に、キャンセルをするなどの原因でインストールが不完全なまま終了してしまうことがあります。以下の手順で［デバイスマネージャ］の状態を確認します。

1. プリンタの電源をオンにして、プリンタとコンピュータそれぞれに USB ケーブルを接続します。
2. 画面上の［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックしてから、［プロパティ］を左ボタンでクリックします。

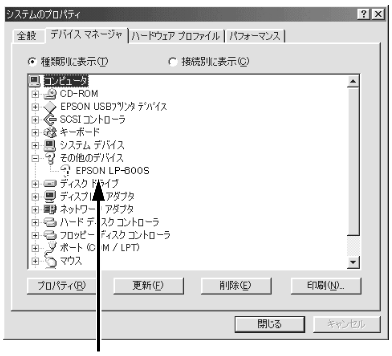


①右クリックして　②クリックします

3. ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、以下の画面を確認します。
以下の表示のように［その他のデバイス］として［USB Printer］または［EPSON LP-800S］と登録されている場合は、正しくインストールされていません。ドライバの再インストールが必要です。



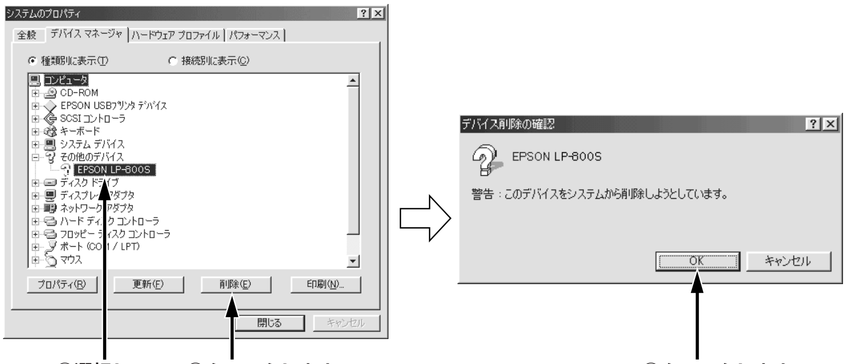
確認します



確認します

> **ポイント**
> **前ページの表示がない場合は、更新ボタンをクリックしてみてください。それでも前記の画面にならない、インストールできない場合は、インフォメーションセンターへお問い合せください。インフォメーションセンターのお問い合せ先は本書巻末に記載されています。**

4 ［USB Printer］または［EPSON LP-800S］を選択して削除ボタンをクリックします。

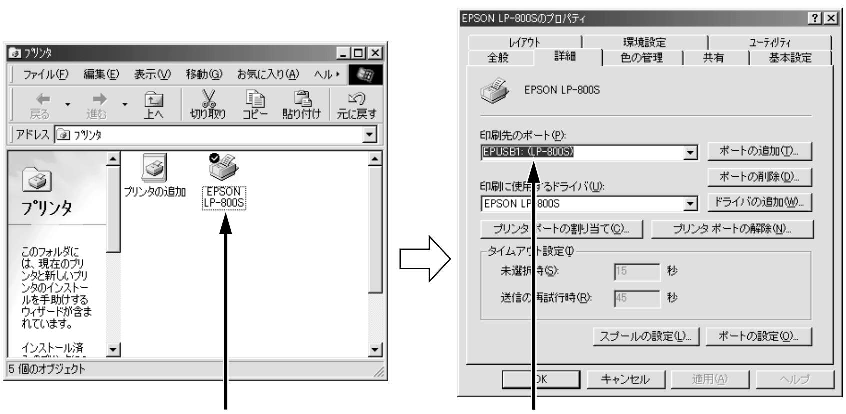


①選択して　②クリックします　③クリックします

5 プリンタ側のUSBケーブルを一旦外してから、再度接続します。

6 ドライバをインストールする場合（プラグアンドプレイ）が表示されますので再度インストールを実行してください。
☞「USBケーブル接続でのインストール」25ページ

コントロールパネルの［プリンタ］フォルダにプリンタのアイコンが登録され、［詳細］タブの［印刷先のポート］が［EPUSBX:(LP-800S)］と表示されれば正しくインストールされています。印刷先のポートについては、以下のページを参照してください。
☞「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」30ページ



確認します　確認します

印刷できない（Windows）

チェック

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たにUSB対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1. スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。
2. LP-800Sアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



3. ［詳細］タブをクリックして印刷先のポートを確認します。
   USB接続で本機をご利用の場合は［EPUSBX: (LP-800S)］と表示されていることを確認します。この表示があれば、USBプリンタとしてのプリンタドライバが正常に組み込まれています。



- **パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスからLPT1を選択します。**
- **上記の表示がない場合は、USBデバイスドライバがインストールされていません。USB デバイスドライバをインストールしてください。**

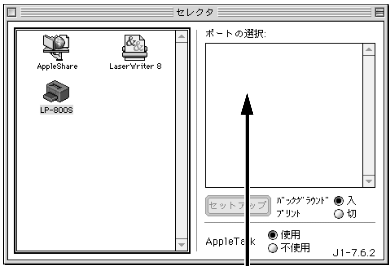
印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

チェック

プリンタの電源がオンになっていますか？
プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。



LPT1 ポートになっている



プリンタ名が表示されていない

USBハブに接続すると正常に動作しない

チェック

本機を USB ハブの１段目以外に接続していますか？
USBは仕様上、USBハブを5段まで縦列接続できます。コンピュータに直接接続された１段目以外のUSBハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの１段目に接続してお使いください。

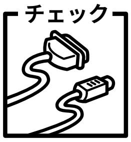
チェック

USB ハブが正しく認識されていますか？
Windows の［デバイスマネージャ］の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

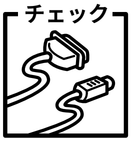
正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USBハブをすべて外してから、本機のUSBコネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。

USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

印刷しない



インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。



インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。
☞「コンピュータとの接続」14 ページ



プリンタがデータを処理できません。
扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタにメモリを増設するか、コンピュータのハードディスクの容量を増やしてください。

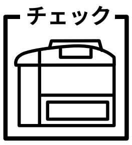


コンピュータが画像を処理できません。
コンピュータのCPUやメモリによっては画像のデータを処理できない場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、解像度を下げてください。



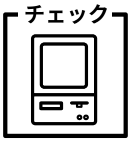
エラーが発生していませんか？
パネルのエラーランプ（赤）が点滅または点灯している場合はエラーが発生しています。エラーを解除してください。

点滅	復帰可能なエラー（用紙なしなど、エラー状態を解除して正常な状態に復帰させることができます。
点灯	サービスコールエラー（電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。正常な状態に復帰できない場合は、エプソンフィールドセンターまで連絡ください。）



ステータス情報は取得できますか？
通信機能が正常に機能していないと印刷できません。プリンタの状態（ステータス）が画面に表示できることを確認してください。
☞ Windows 「[環境設定]」66 ページ
Macintosh「[詳細表示] ウィンドウ」130 ページ
ステータス情報が取得できない場合は、次ページを参照してください。

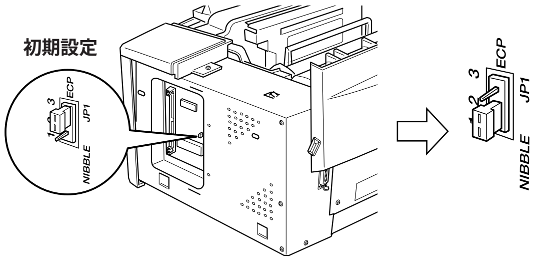
ステータス情報が取得できない

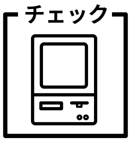


コンピュータの ECP 機能は正常に機能していますか？

ホスト側のECP機能に不具合があるとステータス情報は取得できません。
プリンタのジャンパスイッチの設定を変更することにより、ステータス情報が取得できることもありますので確認してください。

プリンタ本体右側にあるジャンパスイッチの設定をECP（初期設定）からNIBBLE（ニブル）の設定に変更してください。





DMA 転送の設定になっていますか？

コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（または ENHANCED）以外にして、DMA 転送の設定を解除して確認してください。
☞「DMA 転送を設定する前に」84 ページ



双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか？

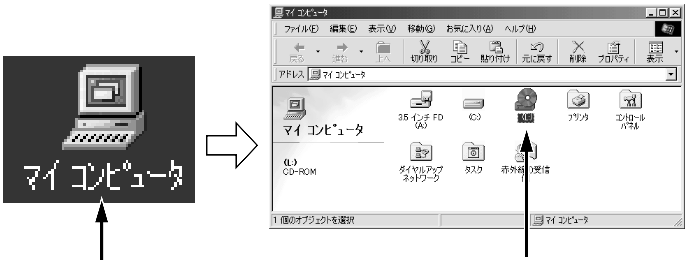
本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。
プリンタスプールの設定で［このプリンタの双方向通信をサポートする］を選択してください。
☞「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」30 ページ

印刷しない (Windows)

チェック

LP-800S用のプリンタドライバはインストールされていますか？
プリンタドライバをインストールしないと、印刷できません。ご利用のコンピュータのCD-ROMやフロッピーディスクのドライブ名がわからないためにインストールできないとき、以下の手順でご確認いただけます。

■マイコンピュータが表示されている場合
画面上にマイコンピュータが表示されている場合は、以下の手順でご確認いただけます。



ダブルクリックします。

CD-ROM のアイコンに割り振られたアルファベットがドライブ名です。
この場合は L がドライブ名になります。

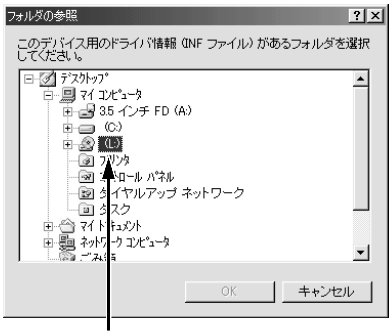
■マイコンピュータが表示されていない場合
プラグアンドプレイの場合などはマイコンピュータが表示されていないことがあります。その場合は以下の手順に従ってください。

1. 以下のような入力画面が表示されたら[参照]ボタンをクリックします。
入力欄に文字が入力されている場合は、削除してください。



①入力されていない状態で　②クリックします

2 マイコンピュータ内のCD-ROMのアイコンに割り振られているアルファベットを確認します。



この場合は L がドライブ名になります。

> **ポイント** **Windows98 で USB 接続をご利用の場合、手順 2 の画面で［Win98］のディレクトリを選択して OK ボタンをクリックすると入力する必要がなくなります。**

チェック Win

LP-800S 用のプリンタドライバが「通常使うプリンタ」として選択されていますか？

LP-800S 用の Windows プリンタドライバが、コントロールパネルやアプリケーションで、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

1 スタート ボタンをクリックしカーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 EPSON LP-800S を選択し［ファイル］メニューを確認します。

3 選択されていない場合は、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックマークを付けます。

画面は Windows98 の場合です。



［通常使うプリンタ］にチェックマークを付けます。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

☞「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」30 ページ

プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

1. スタート ボタンをクリックし［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
2. 「LP-800S」をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］にチェックがついている場合はクリックして外します。

画面は Windows98 の場合です。



［一時停止］のチェックマークを外します。

双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか？

プリンタスプールの設定で［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択して印刷するとエラーが発生します。必ず［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］の設定でお使いください。

☞「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」30 ページ

チェック

インターフェイスケーブルを交換しましたか？

パラレルケーブルとUSBケーブルでは、印刷のために必要なドライバや印刷先の設定が異なります。ケーブルを交換して印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

■パラレルケーブルから USB ケーブルに交換する場合

1. アプリケーションを起動している場合は終了させます。
2. LP-800Sプリンタドライバを削除します。ドライバの削除方法については以下のページを参照してください。
☞「ドライバの削除」81 ページ
3. プリンタの電源がオンになっていることを確認して、プリンタ、コンピュータそれぞれにUSBケーブルを接続します。
4. 下の画面が表示されますのでUSBデバイスドライバ、プリンタドライバのインストールを実行します。



インストールの方法は以下のページを参照してください。
☞「USB ケーブル接続でのインストール」25 ページ

ポイント

パラレルケーブルを外すときは、プリンタ、コンピュータそれぞれの電源をオフにしてから外してください。

■ USB ケーブルからパラレルケーブルに交換する場合

印刷先のポートを［EPUSBX: (LP-800S)］から［LPT1］に変更します。

選択します



印刷先のポートについては以下のページを参照してください。
☞「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」30 ページ

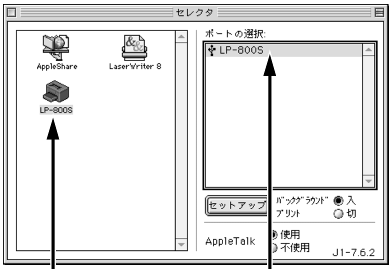
印刷しない (Macintosh)

チェック

LP-800S用のプリンタドライバがセレクタで選択されていますか？

LP-800S用のMacintoshプリンタドライバがセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続してポートと合っているかを確認してください。

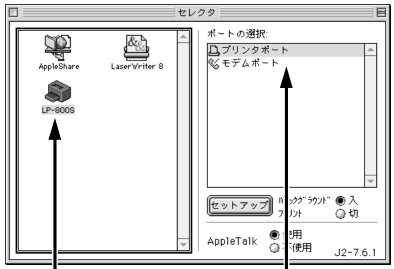
USB ケーブル接続の場合



①プリンタドライバが選択されているか確認します。

②プリンタ名が表示されているか確認します。

EPSON Link3 接続の場合



①プリンタドライバが選択されているか確認します。

②プリンタを接続したポートが選択されているか確認します。

チェック

正しいプリンタドライバと正しい接続ポートが設定されていますか？

お使いの環境に合ったプリンタドライバと実際に接続したポートを選択してください。

☞「プリンタドライバの選択と設定」38 ページ

セレクタに使用するプリンタドライバが表示されない

チェック

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。漢字 Talk7.5 以上をお使いの場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞「システム条件の確認」35 ページ

エラーが発生する

正しいバージョンのシステム（漢字Talk または Mac OS）を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、使用する接続ケーブルによって異なります。

- USB ケーブル接続の場合は、Mac OS 8.1 以降のシステムが必要です。
- EPSON Link3（オプション）接続の場合は、漢字 Talk7.5.1 または Mac OS 7.6 以降のシステムが必要です。（ただし、漢字 Talk7.5 以降の QuickDraw GX には対応していません。）

☞「システム条件の確認」35 ページ

印刷ダイアログの印刷モードの設定が「きれい」になっていませんか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を「はやい」にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

用紙に関するトラブル

用紙が詰まる／給排紙されない

用紙が詰まったら以下のページを参照して、まず詰まった用紙を取り除いてください。
☞「用紙が詰まったときは」187 ページ
用紙を取り除いてから以下の項目をチェックしてください。

プリンタより小さな台の上にプリンタを設置していませんか？
プリンタより小さな台の上に設置すると、正常な動作ができない場合があります。プリンタより大きな安定した場所に設置してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下にははさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で使用可能な用紙を使用していますか？
使用可能な用紙を使用してください。
☞「印刷可能な用紙」44 ページ

用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙を正しくセットしてください。
☞「用紙トレイへの用紙のセット」10 ページ

ロアーカセット（オプション）の用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
用紙カセットを正しくセットしてください。セット方法については、オプションの取扱説明書を参照してください。

給紙ローラが汚れていませんか？
用紙を給紙しない場合は、給紙ローラを拭いてください。
☞「給紙ローラのクリーニング」158 ページ

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、給紙装置の設定を確認してください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、手差しガイドから１枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が反っていませんか？
反りを修正してからセットしてください。

裏面に印刷された用紙を使用していませんか？
両面に印刷の無い新しい用紙を使用してください。

印刷結果に関するトラブル

画面と異なる位置に印刷される

チェック

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows　「[基本設定]」57 ページ
Macintosh　「[用紙設定］ダイアログ」115 ページ

チェック

アプリケーションソフトによっては、給紙位置の設定が必要になる場合があります。

「オフセット」の調整をしてください。

☞ Windows　「[拡張設定］ダイアログ」69 ページ
Macintosh　「[詳細設定］ダイアログ」122 ページ

罫線が切れたり、文字の位置がずれる

チェック

アプリケーションソフトで「LP-800S」を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタを「LP-800S」に設定してください。

設定と異なる印刷をする

チェック

アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

ハーフトーンの印刷が画面と異なる

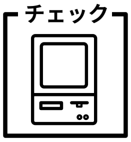
チェック

「PGI」機能を使用していませんか？

アプリケーションが独自のハーフトーン処理を行っている場合、「PGI」機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。「PGI」機能を使用しないで印刷してください。

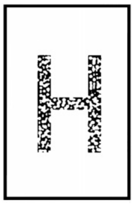
☞ Windows　「[詳細設定］ダイアログ」59 ページ
Macintosh　「[詳細設定］ダイアログ」122 ページ

印刷品質に関するトラブル



「紙種」の設定は合っていますか？
厚紙や封筒、往復ハガキ、OHP シートなどへ印刷する場合は［紙種］の設定を変更してください。
☞Windows　「［拡張設定］ダイアログ」69 ページ
Macintosh　「［詳細設定］ダイアログ」122 ページ

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

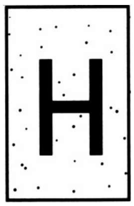
トナーセーブ機能を使用しています。
トナーセーブ機能を使用しないでください。
☞Windows　「［詳細設定］ダイアログ」59 ページ
Macintosh　「［詳細設定］ダイアログ」122 ページ

印刷濃度の設定が正しくありません。
プリンタドライバで適正な値に調整してください。
☞Windows　「［拡張設定］ダイアログ」69 ページ
Macintosh　「［詳細設定］ダイアログ」122 ページ

ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

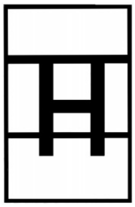
黒点が印刷される



使用中の用紙が適切ではありません。
印刷できる用紙を使用してください。
☞「印刷可能な用紙」44 ページ

ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しい ET カートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

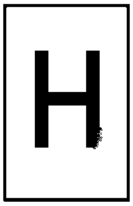
周期的に汚れがある



プリンタ内の用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

指でこするとにじむ



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

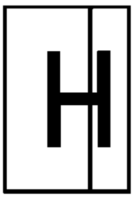
使用中の用紙が適切ではありません。
印刷できる用紙を使用してください。
☞「印刷可能な用紙」44 ページ

用紙全体が黒く印刷されてしまう



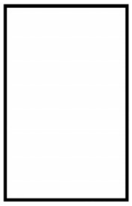
ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

黒線が印刷される



ETカートリッジまたは感光体ユニットが損傷または劣化しています。
新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

何も印刷されない

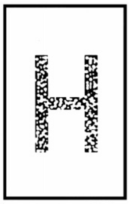


一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

白抜けがおこる（黒い部分に白点がある）



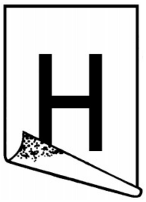
用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
印刷できる用紙を使用してください。
☞「印刷可能な用紙」44 ページ

感光体ユニットまたはETカートリッジが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットまたはETカートリッジに交換してください。

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
表面（印刷面）を上に向けてください。

裏面が汚れる



用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

きれいに印刷できない

RIT機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合はRIT機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、「RIT」機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

☞ Windows　「[詳細設定]ダイアログ」59ページ
Macintosh　「[詳細設定]ダイアログ」122ページ

[印刷品質]（解像度）が[はやい]（300DPI）に設定されていませんか？

[きれい]（600DPI」に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、[はやい（300DPI）に戻すか、メモリを増設してください。

☞ Windows　「[基本設定]」57ページ
Macintosh　「[プリント]ダイアログ」119ページ

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認等印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows　「[詳細設定]ダイアログ」59ページ
Macintosh　「[詳細設定]ダイアログ」122ページ

プリンタドライバの「明暗（調整）」または「印刷濃度」の設定を確認してください。

「明暗」（Macintoshの場合は[明暗調整]）と「印刷濃度」の設定を調整してください。

☞ Windows　「[詳細設定]ダイアログ」59ページ
「[拡張設定]ダイアログ」69ページ
Macintosh　「[詳細設定]ダイアログ」122ページ

その他のトラブル

印刷に時間がかかる



節電機能を使用していませんか？
節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。不要な場合は、節電機能を使用しないでください。

☞ Windows　「[プリンタ設定]ダイアログ」67 ページ
Macintosh　「[プリンタセットアップ］ダイアログの設定」40 ページ



アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？
アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

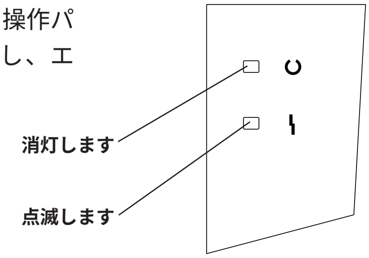


バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？
ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞「EPSON プリントモニタ!4」132 ページ

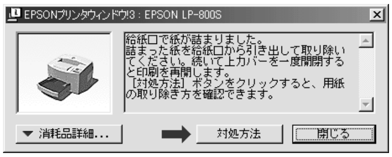
用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプが点滅します。



また、EPSONプリンタウィンドウ!3が紙詰まりをお知らせします。対処方法ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従ってください。

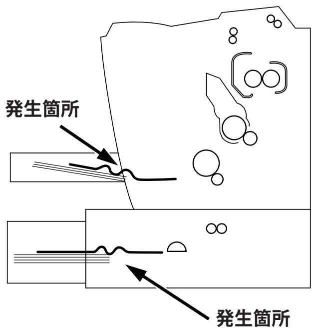
☞Windows　「EPSONプリンタウィンドウ!3」73ページ
　Macintosh　「EPSONプリンタウィンドウ!3」129ページ



給紙部で用紙が詰まった場合は

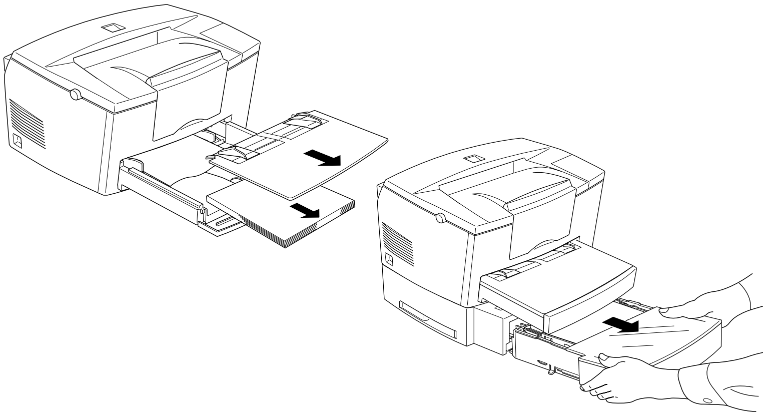
●給紙不良による紙詰まり

- 用紙を入れすぎていませんか？
- 仕様外の用紙を使用していませんか？
  ☞「印刷可能な用紙」44ページ
- 給紙ローラが汚れていませんか？
  ☞「給紙ローラのクリーニング」158ページ

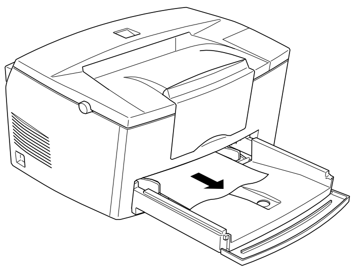


用紙を取り除いてもエラーが解除しませんので、上カバーを必ず一度開閉してください。

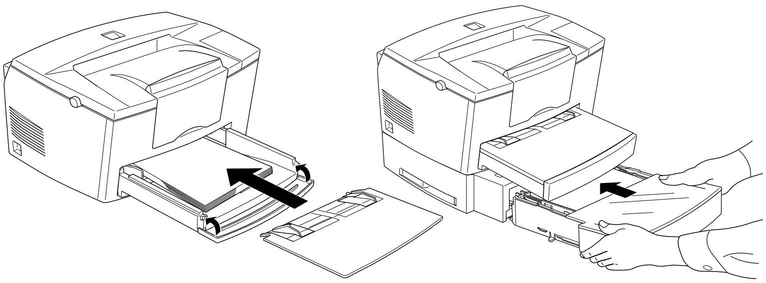
1 **用紙トレイカバーと用紙トレイにセットされている用紙を取り除きます。**
ロアーカセット（オプション）の場合は、用紙カセットを取り外します。



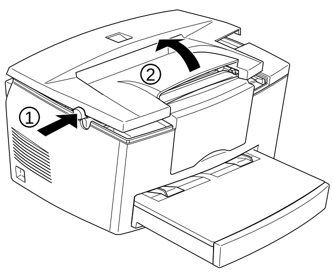
2 **詰まっている用紙をゆっくり引きぬきます。**
ロアーカセット（オプション）の場合は、挿入口の奥も確認してください。



3 **用紙をセットして用紙トレイカバーを取り付けます。**
ロアーカセット（オプション）の場合は、用紙カセットをセットします。



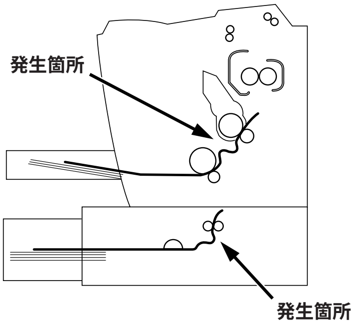
4 **ラッチを押して上カバーを開閉します。**
必ず上カバーを開閉してください。



プリンタ内部で用紙が詰まった場合は

●感光体ユニットでの紙詰まり

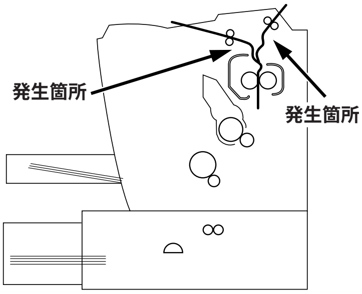
- 用紙が正しくセットされていますか？
  ☞「用紙トレイへの用紙のセット」10 ページ



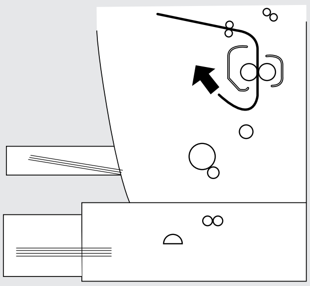
用紙は必ず上カバーを開け、ETカートリッジと感光体ユニットを取り外して引き抜いてください。

●定着器部分での紙詰まり

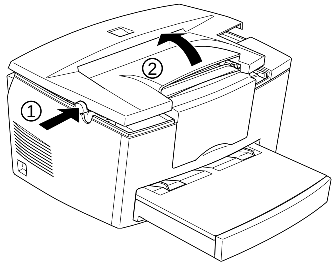
- 仕様外の用紙を使用していませんか？
  ☞「印刷可能な用紙」44 ページ



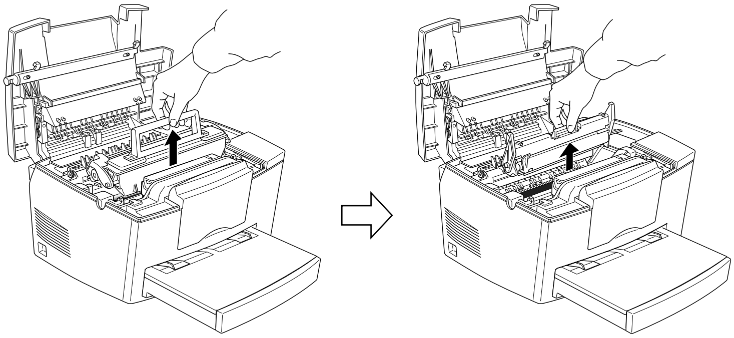
用紙は必ず上カバーを開け、ETカートリッジと感光体ユニットを取り外して下図のように下から引き抜いてください。上から引き抜くと印刷品質が劣化します。



1 ラッチを押して、上カバーを持ち上げます。

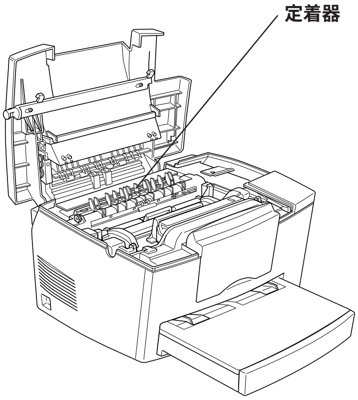


2 ET カートリッジと感光体ユニットを取り外します。

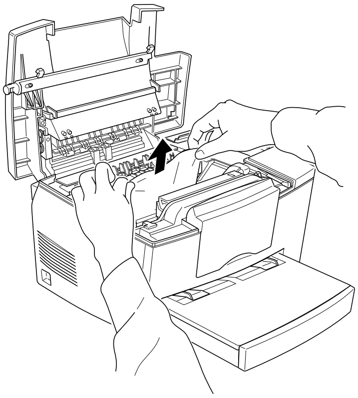


⚠ 注意

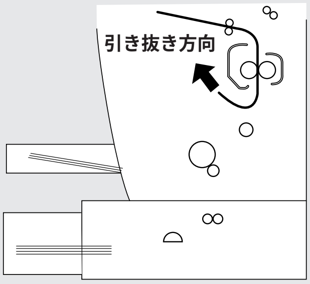
- プリンタ内部の定着器部分には絶対に手を触れないようにご注意ください。高温のため火傷をするおそれがあります。
- プリンタ内部の定着器以外の部分にも手を触れないようにご注意ください。印刷品質が劣化するおそれがあります。



3 用紙をゆっくりと引き抜きます。



定着器部分で紙が詰まった場合は、右図のように用紙の下部を持って引き抜きます。



注 意

- 用紙はゆっくりと引きぬいてください。紙片がプリンタ内に残り故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。

ポイント

詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンフィールドセンターにご連絡ください。フィールドセンターの連絡先は裏表紙に記載されています。

付録

LP-800S
Appendix

フロッピーディスクをご希望のお客様へ

本機に同梱のEPSONプリンタドライバのメディアはCD-ROMです。3.5インチフロッピーディスクをご希望のお客様は、実費にて対応させていただきますので、お手数ですが以下の方法にてお申し込みください。

申込手順

1 **エプソンFAXインフォメーションで、LPシリーズの最新ドライバのご案内に関する資料をご覧ください。**
エプソンFAXインフォメーションのお問い合わせ先は、巻末を参照してください。

2 **郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。**
（お振り込みの際の振込手数料は、別途お客様ご負担でお願いいたします）

3 **手順１の資料の中にある申込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼布し、エプソンディスクサービスにＦＡＸまたは郵送にて送付してください。**
（払込受領証の原本はお客様にて保管してください）

申込用紙をご送付いただきましてから、約１週間程でお客様のお手元に、郵送にてお届けいたします。

領収書につきましては、振込の際に郵便局から受け取る払込受領証をもって、これにかえさせていただきます。

エプソンディスクサービス

郵便口座番号　：00170-2-971687
加入者名　：エプソン販売株式会社
ファックス申込の場合　：03-5778-6320
郵送申込の場合　：〒150-0002　東京都渋谷区渋谷2-16-1
日石渋谷ビル8F
エプソンディスクサービス係

フロッピーディスクについてのご入金（お振込）・発送のお問合せ
エプソンディスクサービス　TEL. 03-5469-7350
【受付時間】9:00～12:00、13:00～17:00（土日祝祭日を除く）

技術的なお問い合わせ

プリンタ、ドライバに関する技術的なお問い合わせは、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ディスクサービス係では、技術的な質問にはお答えできかねますので、あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。

エプソンインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、巻末を参照してください。

ご注意

- 提供するメディアは、3.5 インチのみとなりますのでご了承ください。
- 提供するソフトウェアは、エプソン製品と共に使用する場合に限って複製、頒布を許可します。
- 内容を変更すること、利益を得るために再販することは、禁止いたします。
- その他、使用契約については、本機に添付されている使用約款に準じます。
- 一度申し込まれた代金の返金につきましては、場合によっては応じかねますのでご了承ください。
- お申し込みは必ず郵便振込をご利用ください。それ以外の送金はご遠慮ください。

お知らせ

エプソンディスクサービスにて提供しておりますソフトウェアは、下記のパソコン通信サービスでも入手することができます。（ただし、一部のソフトを除く）

- NIFTY-Serve　EPSON Information Forum
  コマンド：GO□FEPSONI（□は半角スペース）

- インターネット　エプソン販売ホームページ
  http://www.i-love-epson.co.jp

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間、FAXでお引き出しいただけます。FAX付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号　：☞本書巻末の一覧表をご覧ください。
情報内容　：製品情報（カタログ、機能概要）
　　　　　　技術情報（Q&A など）
　　　　　　パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間　：☞本書巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号　：☞本書巻末の一覧表をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。
また、プリンタドライバは、エプソン販売（株）WWW サーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXE を実行してインストールしてください。

■インターネット
　エプソン販売 WWW SERVER　：http://www.i-love-epson.co.jp
　（ソフトウェアダウンロードサービス）

■パソコン通信名
　NIFTY SERVE：EPSON information Forum（コマンド：GO□FEPSONI）
　□は、半角スペースです。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

■東京　：午前 10:00 ～午後 6:00
　　　　（土・日・祝日もオープン、指定休館日あり）
■大阪　：午前 10:00 ～午後 6:00
　　　　（土・日・祝日もオープン、※水曜休館、指定休館日あり）
所在地　：☞本書巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書巻末の一覧をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、慌てずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
■お買い求めいただいた販売店
■エプソンサービス認定店
■エプソンフィールドセンター
　電話番号 ：　☞本書巻末の一覧表をご覧ください。
　受付時間 ：　午前 9:00 〜午後 5:30
　　　　　　　月曜日〜金曜日（祝日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の 3 種類の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

<table>
<tr><th rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>年間保守契約</td><td>製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。また、定期点検（別料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金
一括前払いでお支払いいただきます。
*消耗品（ETカートリッジ、用紙など）は保守料金に含まれておりません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スポット出張修理</td><td rowspan="2">お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。故障の発生した製品をお持ち込みできない場合にご利用ください。</td><td>出張費用のみ</td><td>出張費用＋修理費用</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理完了後、そのつどお支払いください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">持ち込み修理</td><td rowspan="2">故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みいただき、一旦お預りして修理いたします。お持ち込みいただくときは、必ず巻末の「修理依頼票」を製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。持ち込み修理の場合は、「年間保守契約」や「スポット出張修理」よりも、多少お時間をいただきます。</td><td>無料</td><td>修理費用のみ</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理完了品をお届けしたときにお支払いください。</td></tr>
</table>

* 製品によっては、上記保守サービスの一部あるいは全部が実施できない場合がございますので、詳細については、最寄りのエプソンフィールドセンターまでお問い合わせください。

持ち込み修理をされる方へ

「持ち込み修理」をされる場合は、巻末の「修理依頼票」をコピーして、必要事項をご記入のうえ必ず製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。

プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分非磁性トナー電子写真方式
解像度	600DPI [DPI：25.4mm ｛1 インチ｝あたりのドット数 (Dot Per Inch)]
プリント速度	： 8PPM（A4）（PPM ＝枚／分）
ウォームアップ時間	20 秒以内（23℃、定格電圧にて）
ファーストプリント	用紙トレイ ： 19 秒（A4）
稼働音	待機時 ： 約 30dB(A) 稼働時 ： 約 47dB(A)

用紙仕様

給紙方法	用紙トレイによる自動給紙
用紙容量（用紙トレイ）	普通紙（75g/m²） ： 150 枚 ラベル紙、OHP シート ： 10 枚 官製ハガキ（190g/m²）： 50 枚 封筒 ： 10 枚
ロアーカセット （オプション）	500 枚（普通紙 75g/m²）
排紙	フェイスダウン、フェイスアップ（オプションのフェイスアップトレイ装着時）
排紙容量	フェイスダウン ： 最大 100 枚（75g/m²） フェイスアップ ： 最大 20 枚（75g/m²）（オプションのフェイスアップトレイ装着時）

用紙の種類

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙チェックをしてください。

普通紙	• 60 ～ 90g/m² • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙
特殊紙	• ラベル紙 • 官製ハガキ • 封筒 • OHP シート • 厚紙（90 ～ 157g/m²） • 不定形紙

用紙サイズと給紙方法

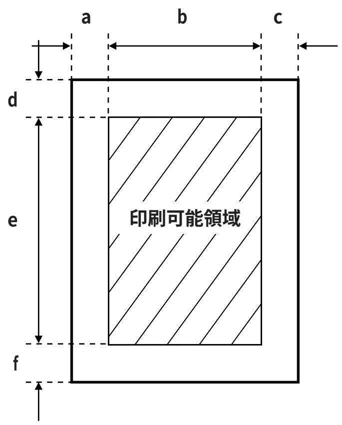
用紙サイズ		用紙トレイ	用紙カセット*1
A4	210mm × 297mm	○	○
A5	148mm × 210mm	○	−
B5	182mm × 257mm	○	−
Letter（LT）	215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 279.4mm{11ｲﾝﾁ}	○	−
Half-Letter（HLT）	139.7mm{5.5ｲﾝﾁ}× 215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}	○	−
Legal（LGL）	215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 355.6mm{14ｲﾝﾁ}	○	−
Executive（EXE）	184.15mm{7.25ｲﾝﾁ}× 266.7mm{10.5ｲﾝﾁ}	○	−
Government Legal（GLG）	215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 330.2mm{13ｲﾝﾁ}	○	−
Government Letter（GLT）	203.2mm{8ｲﾝﾁ}× 266.7mm{10.5ｲﾝﾁ}	○	−
F4	210mm × 330mm	○	−
不定形紙	90mm × 148mm ～ 216mm × 356mm	○*2	−
官製ハガキ	100mm × 148mm	○	−
封筒 Monarch（MON）	98.43mm{3 7/8ｲﾝﾁ}× 190.5mm{7 1/2ｲﾝﾁ}	○	−
封筒 Commercial-10（C10）	104.78mm{4 1/8ｲﾝﾁ}× 241.3mm{9 1/2ｲﾝﾁ}	○	−
封筒 DL	110mm × 220mm	○	−
封筒 C5	162mm × 229mm	○	−

*1 ： オプションのロアーカセットに添付の用紙カセットです。

*2 ： アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを設定できない場合は印刷できません。

印刷可能領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能



定形紙　(単位：ドット、600dpi)

名　称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter (LT)		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter (HLT)		120	3060	120	120	4860	120
Legal (LGL)		120	4860	120	120	8160	120
Executive (EXE)		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal (GLG)		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter (GLT)		120	4560	120	120	6060	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
封筒	Monarch (MON)	120	2084	120	120	4260	120
	Commercial-10 (C10)	120	2234	120	120	5460	120
	DL	120	2358	120	120	4956	120
	C5	120	3586	120	120	5168	120

不定形紙

名　称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	6776	120	120	21020	120

アプリケーションソフトウェアで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気仕様

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	6.3A	
周波数	50 ～ 60Hz ± 3Hz（国内向）	
消費電力	最大	： 580W 以下
	連続プリント時	： 200W 以下
	節電時	： 15W 以下

環境使用条件

動作時	温度	： 10 ～ 35℃
	湿度	： 15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	： 760 hPa 以上（2500m 以下）
	水平度	： 傾き 1 ° 以下
	照度	： 3000lux 以下
	周囲スペース	： 左側方 100mm、右側方 100mm、後方 100mm、上方 300mm、前方 300mm
保存・輸送時	温度	： 0 ～ 35℃
	湿度	： 30 ～ 85%

コントローラ基本仕様

RAM	標準	： 2MByte
	オプション増設時	： 最大 13MByte（1 ソケット）
インターフェイス	セントロニクス	： 双方向パラレル（IEEE 1284　ニブルモード、ECP モード）
	USB	： Universal Serial Bus

外観仕様

外形寸法	幅 397mm ×奥行き 463mm ×高さ 251mm
重量	約 7.5kg （消耗品、オプション類は含まない）

オプションと消耗品仕様

ET カートリッジ	型番	： LPA4ETC3
	トナー寿命	： 約 3,000 枚（A4 画占率 5% 印刷時）使用状況によって変化します。
	保存環境温度	： 0 ～ 35℃
	保存環境湿度	： 30 ～ 85%（ただし結露しないこと）
感光体ユニット	型番	： LPA4KUT3
	感光体寿命	： 約 20,000 枚（A4 画占率 5% 印刷時）使用状況によって変化します。
	保存環境温度	： 0 ～ 35℃
	保存環境湿度	： 30 ～ 85%（ただし結露しないこと）
ロアーカセット	型番	： LPA4LC3
	給紙スピード	： 8PPM
	用紙サイズ	： A4
	用紙容量	： 500 枚（普通紙 75g/m^2）
	重量	： フィーダ部 2.3kg 用紙カセット部 1.9kg
	外形寸法	： 380 (W)mm × 472 (D)mm × 127 (H)mm
フェイスアップトレイ	型番	： LPA4FUT1
	排紙容量	： 20 枚（普通紙 75g/m^2）
	重量	： 0.3kg
	外形寸法	： 238 (W)mm × 252.5 (D)mm × 24.3 (H)mm

用語の説明

つぎに説明している用語には、エプソンページプリンタ独自の用語が含まれており、一般的に使われている語意とは異なる場合があります。

アルファベット

Ⓑ **Byte（バイト）** コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応しています。

Ⓒ **CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）**
25.4mm｛1インチ｝の横幅に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

CPU（Central Processing Unit/シーピーユー）
プログラムを解読し、演算を行う中枢部のことです。

CR（Carriage Return/キャリッジリターン）
1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コードです。ASCIIまたはJISコードの0DH（10進数の13）です。

Ⓓ **DMA（Direct Memory Access／ダイレクトメモリアクセス）**
コンピュータのCPUを経由しないで、データを転送する方式。印刷データを高速にプリンタへ転送できます。

DPI（Dots Per Inch/ディーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

Ⓔ **E^2PROM（Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム）**
電気的に内容を消去することができるPROMのこと。PROMを参照。

ECP（Extended Capability Port/イーシーピー）
パラレルインターフェイスポートの拡張仕様。ECPコントローラチップを搭載したコンピュータは、データのDMA転送が行えます。

ETカートリッジ 印刷用トナーが収められたカートリッジ。

Ⓘ **IEEEインターフェイス（IEEE-488）**
IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB（General Purpose Interface Bus）やHP-IB（Hewlett-Packard Interface Bus）などがあります。

Ⓙ **JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）**
日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称です。

Ⓚ **KByte（kilobyte/キロバイト）**
データ量やメモリ容量の単位です。1KByteは1024バイトになります。

Ⓜ **MByte（megabyte/メガバイト）**
データ量やメモリ容量の単位です。1MByteは1024×1024バイト（＝1024KByte）になります。

Ⓞ **OHPシート** オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

P **PGI** Photo and Graphics Improvement の略。写真など、無段階に階調が変化するイメージデータを、より階調性豊かに表現する技術です。

PPM（Pages Per Minute/ピーピーエム）
1 分間に印刷できる用紙の枚数。

PROM（Programmable ROM/ピーロム）
プログラムなどを書き込むことができる ROM のこと。ROM を参照。

R **RAM（Random Access Memory/ラム）**
データなどを読み書きできるメモリです。

RIT（Resolution Improvement Technology/リット）
斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。

ROM（Read Only Memory/ロム）
データなどの読み出し専用のメモリです。

U **USB（Universal Serial Bus/ユーエスビー）**
比較的低速・中速な周辺機器とコンピュータを接続するシリアルインターフェイス規格です。複数の USB 機器をつなげることができます。

USB ハブ 複数の USB 機器を接続するための中継器です。

V **VGA（Video Graphics Array/ブイジーエイ）**
640x480 ドット 16 色の表示が可能なビデオグラフィックス仕様です。

アイウエオ

ア **アウトラインフォント**
数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができます。

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフトウェア。通常の印刷は、アプリケーションソフトウェアを使用して行います。

イ **インターフェイス** コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを 1 文字、あるいは一度にデータを 1 コード（8 ビット）ずつ送信します。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信します。

インターフェイスケーブル
コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

エ **エラーランプ** エラー発生時に点滅または点灯します。

オ **オプション** 利用者が自由に選択して購入できる部品のことです。

オフセット 印字位置を上下左右に移動させる量。

カ **感光体ユニット** ドラムの感光体部分（緑色の部分）にトナーを付着させ、印刷情報を形成する装置。

キ **キャッシュ** フォントキャッシュを参照してください。

給紙 用紙をプリンタに供給すること。

ク **クリック** マウスのボタンを 1 回押してすぐ離すこと。

シ	**初期設定**	プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じです。
	書体	明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。
ス	**ステータスシート**	プリンタの設定状態を印刷した用紙です。
タ	**ダウンロード**	ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。
	ダブルクリック	マウスのボタンを 2 回連続して素早く押して離すこと。
チ	**チェックボックス**	機能のオン・オフなどを設定するダイアログ上の矩形のボタン。マウスでクリックしてチェック［×］マークを付けると、その機能がオン（有効）となります。複数の選択肢がある場合は、どれも組み合わせて選択できます。
ツ	**坪量**	用紙の厚さを表す単位です（1 平方メートル / グラム）。
テ	**定形用紙**	JIS などの規格で定められた大きさの用紙（A4、B5 など）。
	定着器	用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。
	ディレクトリ	ファイルを管理する方法。ハードディスクやフロッピーディスクなどの記憶媒体に、どのようにファイルが保存されているかを決めるファイル管理システム。現在はほとんどが階層構造になっています。
	デバイスドライバ	デバイスとは、コンピュータシステムを機能させるための、独立した個々の装置（ハードウェア）です。そのデバイスを動作させるためのソフトウェアを、デバイスドライバと呼びます。
ト	**トナー**	印刷のために用紙に定着させる炭素粉末。
	ドライブ	ファイルを保存するハードディスクやフロッピーディスクを駆動する装置。
	ドラッグ	アイコンなどモニタ上のオブジェクトの上でマウスのボタンを押したまま、別の場所へ移動すること。
ハ	**排紙**	用紙をプリンタから排出することです。
	排紙トレイ	プリンタから排出された用紙を受けるところ。
	バッファ	一時的にデータを記憶させておくメモリ。
	パラレルインターフェイス	コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式です。
ヒ	**ビット**	1バイナリディジット（0または1）。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位のことです。
	ビットマップフォント	ドット（点）の集合体として記憶されているフォント。アウトラインフォント参照。
フ	**フォント**	書体のこと。
	フォントキャッシュ	プリンタで内部的に生成した文字（フォント）をプリンタのメモリに記憶する機能。
	プラグアンドプレイ	コンピュータに機器（デバイス）を接続すると、システムが自動的に認識して、使用できるように設定を助けるシステム上の工夫。
	プリセットメニュー	あらかじめ用意されているメニュー。
	プリンタドライバ	アプリケーションソフトウェアのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。
ヘ	**ページプリンタ**	ページ単位で印刷する方式のプリンタ。

ホ **ホストコンピュータ** ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。

マ **マージン** 用紙の上下左右で、印刷しない領域。

メ **メモリ** 情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり（この情報の変更はできません）、コンピュータからプリンタに送られるデータ（例えばダウンロードフォントやグラフィックス）を一時的に保存するために使用されます。E2PROM、RAM および ROM 参照。

メンテナンス 管理や保守のことです。

ラ **ラジオボタン** 機能のオン・オフなどを設定するダイアログ上の円形のボタン。マウスでクリックして●マークを付けると、その機能がオン（有効）となります。複数の選択肢の中から 1 つだけ選択できます。

リ **リストボックスト** 複数の選択肢を表示する一覧。マウスでクリックすると、その機能がオン（有効）となります。複数の選択肢の中から 1 つだけ選択できます。

索引

記号 / 数字

アルファベット

アイウエオ

お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。

電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

* 印については次のページを参照してください。

プリンタ機種名	LP-800S
コンピュータメーカー名	
コンピュータ OS	□ Windows95[*1]　Ver.
	□ Windows98[*1]　Ver.
	□ WindowsNT4.0　Ver.
	□漢字 Talk/MacOS[*2]　Ver.
	□その他　Ver.
接続ケーブル	EPSON 製　□ PRCB4N　□ PRCB5N □ USBCB1　□ EPSON Link3
	その他　□メーカー名　型番
	バッファ、切替機など　□有り　□無し
ステータスシート印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン[*3]　Ver.
	CD-ROM（または FD）のリビジョン[*4]　Rev.
	TestPage の印刷（Windows95/98/NT4.0 のみ） □正常　□正常でない
	プリンタドライバの再インストール □行った　□行っていない
アプリケーションソフト	メーカー名
	ソフト名
	バージョン　Ver.
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる　□正常に印刷できない
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ □正常に印刷できる　□正常に印刷できない
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？	□以前からあった　□以前はなかった
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？	□毎回必ず発生する　□ほとんどの場合に発生する □発生したりしなかったり
お客様 ID コード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号[*5]

お問い合せ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン(Ver.)の確認方法

スタート から［設定］－［コントロールパネル］を開きます。
［システム］のアイコンをダブルクリックして開き、［情報］(［全般］のタブの画面の［システム］の部分で［Windows95/98］の次に記載されている部分が該当します。

*2 漢字Talk(Mac OS)バージョン(Ver.)の確認方法

［アップルメニュー］から［この Macintosh について］(Mac OS の場合は［このコンピュータについて］)を選択します。開いたウィンドウの［システムソフトウエア］の既裁部分が該当します。
(Mac OS の場合は、ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。)

*3 プリンタドライバのバージョン(Ver.)の確認方法

Windows95/98/NT4.0 の場合

プリンタドライバのプロパテイのウィンドウで「基本設定」タブを選択し、右下の バージョン情報 ボタンをクリックします。開いたウィンドウの中にバージョン番号の記載があります。

Macintosh の場合

［印刷ダイアログ］や［用紙設定ダイアログ］の上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン(Rev.)の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROM(もしくはフロッピーディスク)に記載の「Rev.」が該当します。

*5 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。

FAX注文書

この FAX 注文書は、代引き専用です。コピーしてお使いください。

エプソンOAサプライ株式会社 行

ファックス番号： 0120-55-7765（フリーダイヤル FAX）
：03-3258-7690

発注日　　　年　　月　　日

* 空欄にご希望の商品名、金額など必要事項をご記入ください。お客様の電話番号は、弊社管理上の必要項目となっておりますので、必ずご記入ください。

電話番号　　（　　　）	
会社名／お名前	
住所　〒　　ー	

品名・型番	数量	単価	金額
	商品金額合計		

送料	
消費税	
お支払い金額合計	

修理依頼票

コピーしてお使いください。

機 種 名	LP-800S	製造番号	
お買上店名		お買上日	年 月 日
修理品への添付	□ 保証書 □ケーブル（種類： ） □（ ） □（ ）		

発生の日時／頻度について、ご記入ください	
初めて故障した日時	年 月 日
故障が発生する時	電源ON時・使用開始直後・使用開始後 分/時間してから・電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（ 時間/ 日に 回）・まれ（ 週間に 回）
自己診断（動作確認）での結果について、ご記入ください	
動作確認結果	良好 ・ 異常（ ）
故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください	
お願い： 印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、フロッピーディスクにて添付してください。	
お客様のコンピュータについて、ご記入ください	
コンピュータ	メーカー名 機種
メモリ	標準 MByte＋増設 MByte（メーカー 型番 ）＝合計 MByte
インターフェイス	パラレル・双方向パラレル・USB・SCSI・シリアル・その他（ ）
接続ケーブル	メーカー名：
故障発生時のソフトウェアをご記入ください	
OS	□Windows 95 （メーカー. Ver. ） □Windows 98 （メーカー. Ver. ） □Windows NT4.0 （メーカー. Ver. ） □Mac OS（漢字Talk） （メーカー. Ver. ） □その他 （メーカー. Ver. ）
ドライバ	メーカー ドライバ名 Ver.
アプリケーション	メーカー Ver. メーカー Ver.
一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数	時間／ 枚（用紙サイズ ）

フリガナ お名前	電話番号 TEL FAX
ご住所 〒 －	お客様IDコード（取得済みの方のみ）

＊保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

MEMO

MEMO

MEMO

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合修理等は有償で行います。